

健幸おおの21アンケート 調査結果報告書

令和8年3月

大 野 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	標本誤差について.....	2
II	調査結果.....	3
1	回答者属性.....	3
2	運動やスポーツについて.....	10
3	食事について.....	32
4	たばこ・アルコールについて.....	42
5	睡眠・疲労などについて.....	56
6	歯や歯ぐきについて.....	64
7	その他、健康感や健診等について.....	73

I 調査の概要

1 調査の目的

現行の「第4次健幸おおの21」の評価を行い、令和8年度に次期計画としての『健幸おおの21』を策定するにあたり、今後の参考とすることを目的として調査を実施しました。

2 調査対象

市内在住の20歳代から70歳代の男女を対象とし、地区別および年代別の人口構成比を考慮した割当抽出法により抽出

3 調査期間

令和7年9月1日～令和7年9月30日

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000件	453件	45.3%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

7 標本誤差について

調査を実施する場合、本来は全市民を対象とすることが望ましいですが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになります。

今回の調査結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート調査結果に対する標本誤差を算定し、検証します。

標本誤差“ δ ”は次の式で算定されます。

$$\delta = \kappa \sqrt{\frac{M-N}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{N}}$$

記号の説明

記号	項目	内容
δ	標本誤差	上記による
M	母集団	20歳以上の人口数：20,474 (令和7年7月1日現在)
N	有効回収数	453通
κ	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

標本誤差算定結果

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
標本誤差 (δ)	±4.55%	±4.46%	±4.17%	±3.64%	±2.73%

標本誤差の算定結果は、最もバラツキが大きくなる回答比率の50% : 50%で±4.55%でした。この結果、今回の調査結果は、95%の確率で50±4.55%の範囲内（信頼度95%）となります。

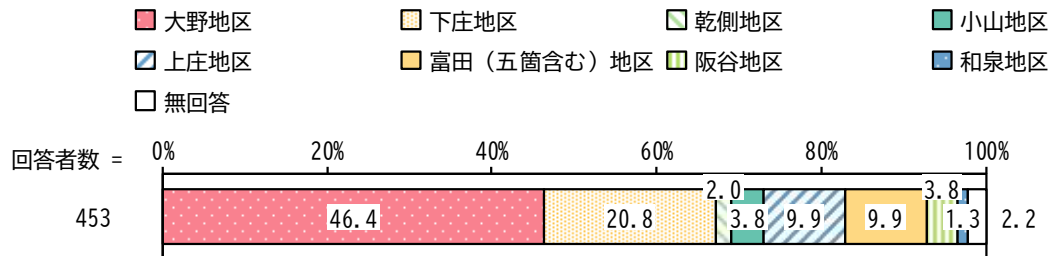
※統計学的には、標本誤差が5%以下であれば精度の高い調査結果であるとされています。標本誤差が5%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）で±5%の範囲にあるということです。

II 調査結果

1 回答者属性

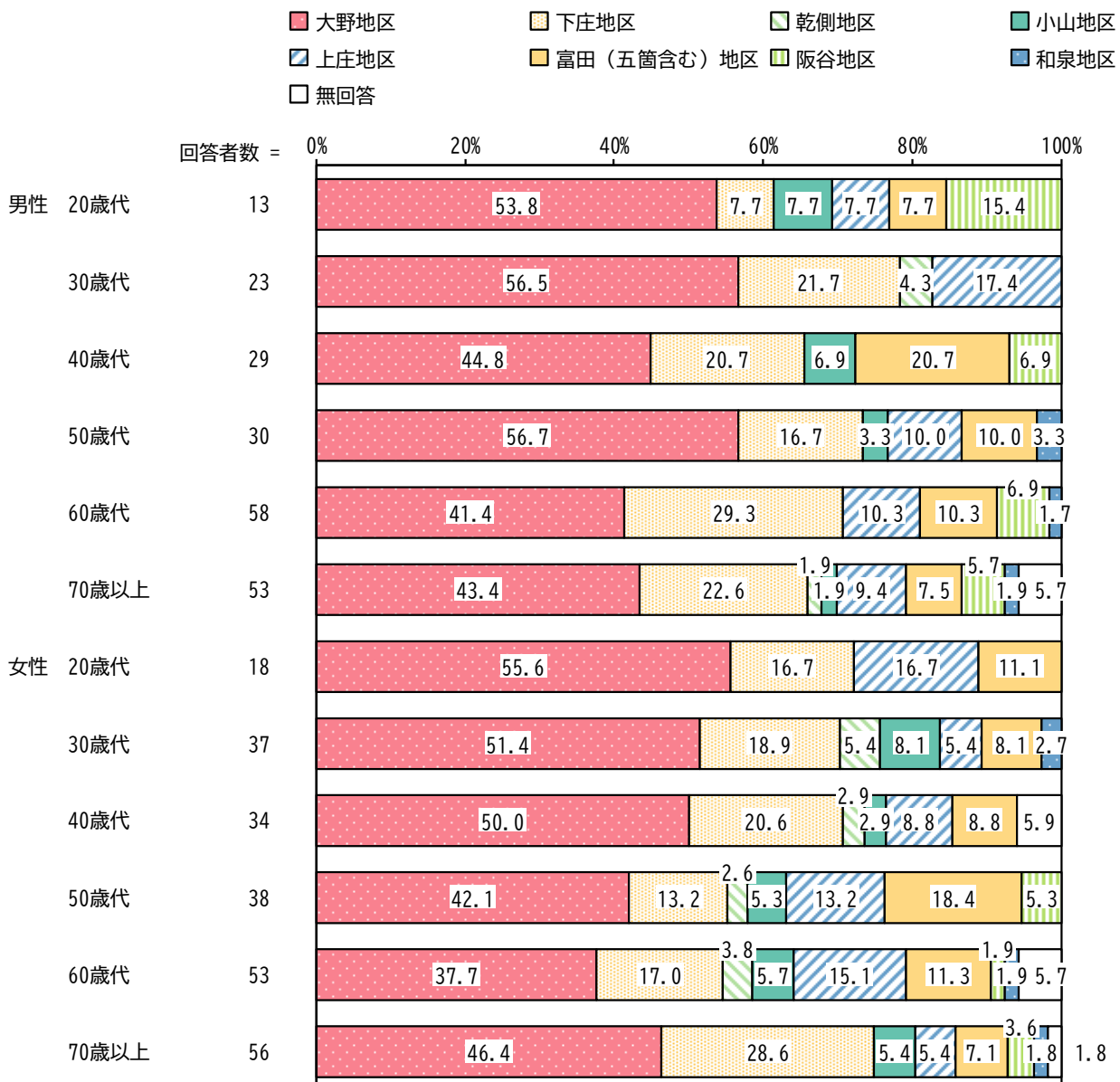
① 居住地区

「大野地区」の割合が46.4%と最も高く、次いで「下庄地区」の割合が20.8%となっています。



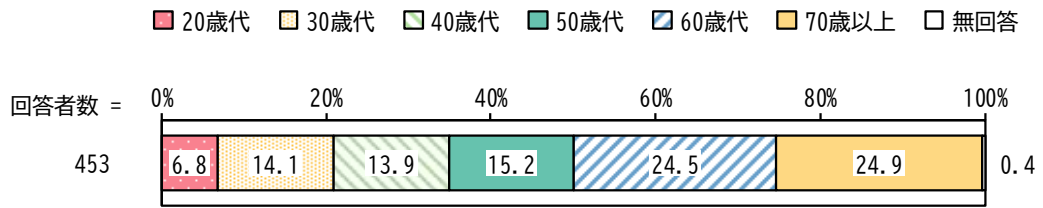
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性30歳代、50歳代、女性20歳代で「大野地区」、男性40歳代で「富田（五箇含む）地区」、男性20歳代で「阪谷地区」の割合が高く、男性20歳代で「下庄地区」の割合が低くなっています。



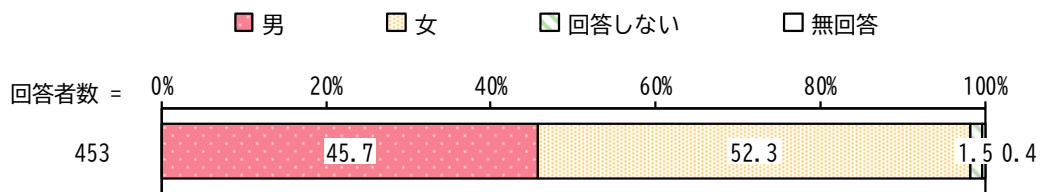
② 年齢（満年齢）

「70歳以上」の割合が24.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が24.5%、「50歳代」の割合が15.2%となっています。



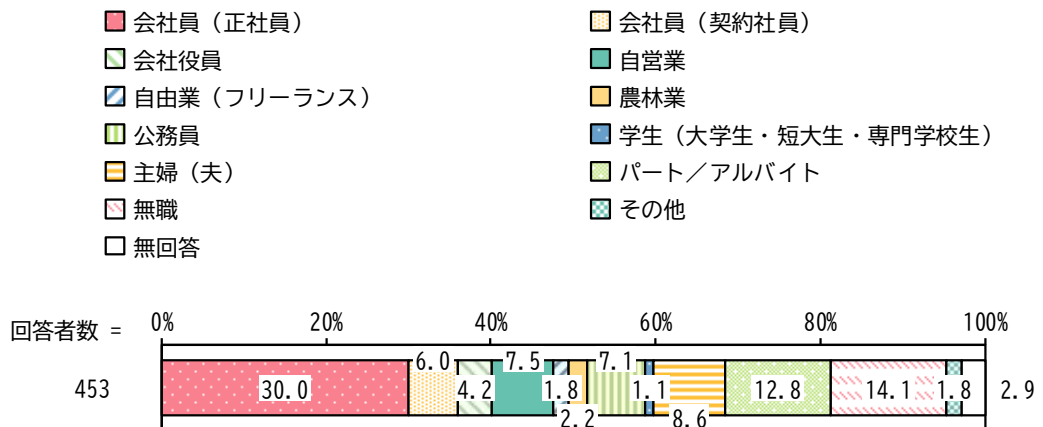
③ 性別

「男」の割合が45.7%、「女」の割合が52.3%となっています。



④ 職業

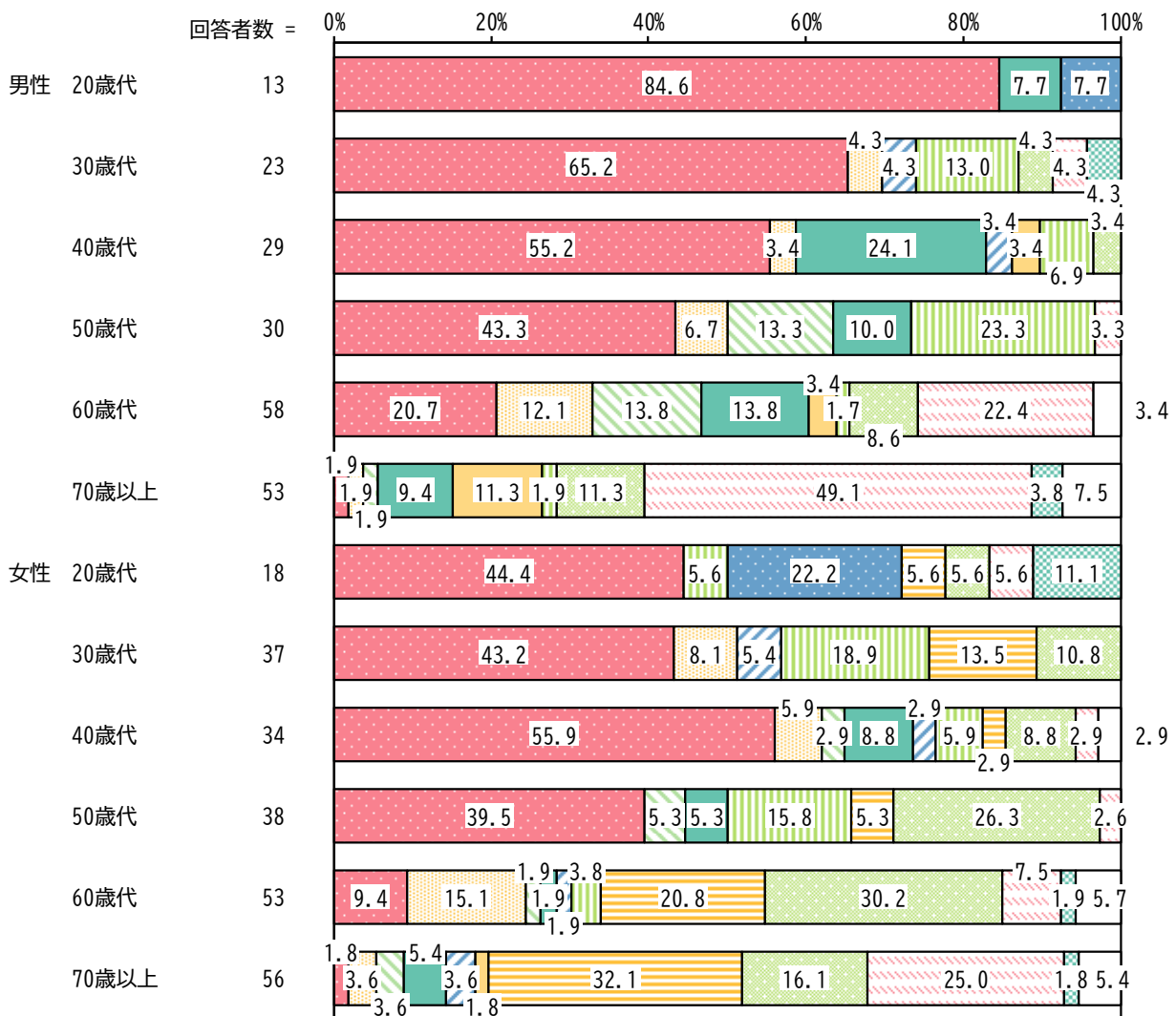
「会社員（正社員）」の割合が30.0%と最も高く、次いで「無職」の割合が14.1%、「パート／アルバイト」の割合が12.8%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 20 歳代、30 歳代で「会社員（正社員）」、40 歳代で「自営業」、50 歳代で「公務員」、60 歳代、70 歳以上で「無職」、女性 20 歳代で「学生（大学生・短大生・専門学校生）」、30 歳代、40 歳代で「会社員（正社員）」、50 歳代、60 歳代で「パート／アルバイト」、70 歳以上で「主婦（夫）」「無職」の割合が高くなっています。

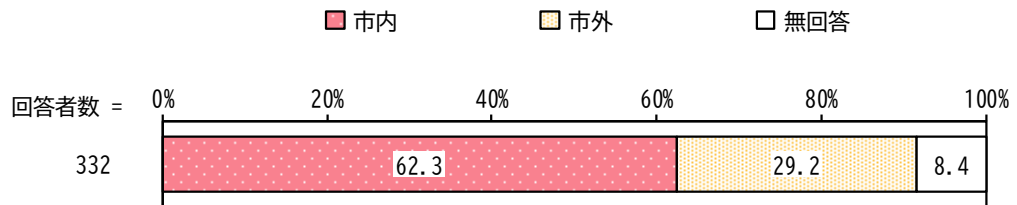
- 会社員（正社員）
- 会社員（契約社員）
- 会社役員
- 自営業
- 自由業（フリーランス）
- 農林業
- 公務員
- 学生（大学生・短大生・専門学校生）
- 主婦（夫）
- パート／アルバイト
- 無職
- その他
- 無回答



⑤ 就業先・形態・帰宅時間

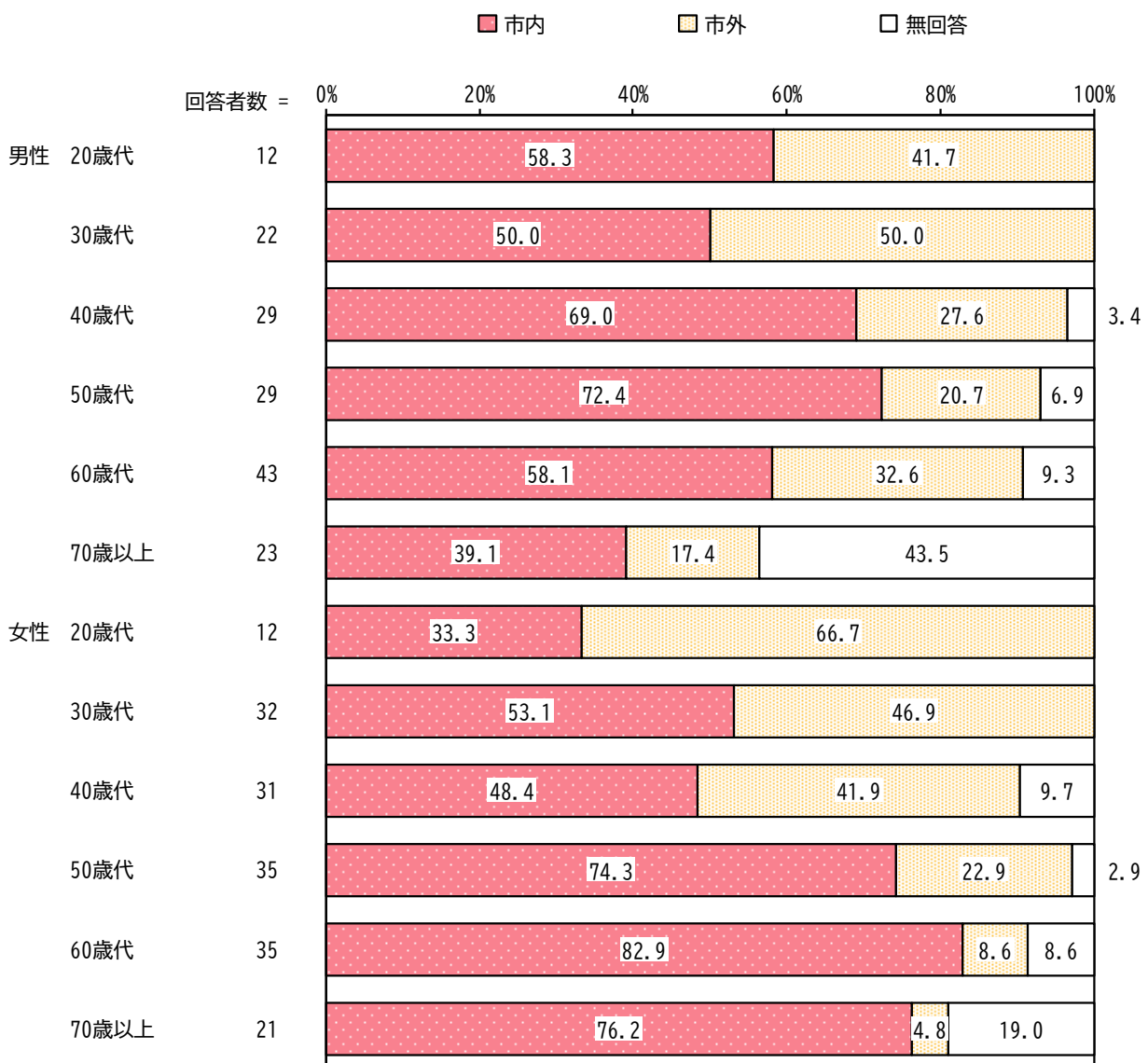
1) 勤務先

「市内」の割合が 62.3%、「市外」の割合が 29.2%となっています。



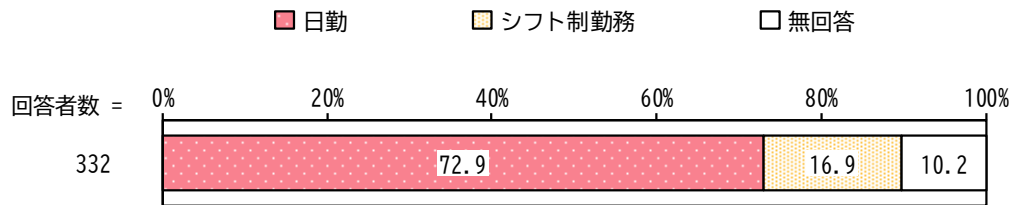
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 60 歳代で「市内」、女性 20 歳代で「市外」の割合が高くなっています。



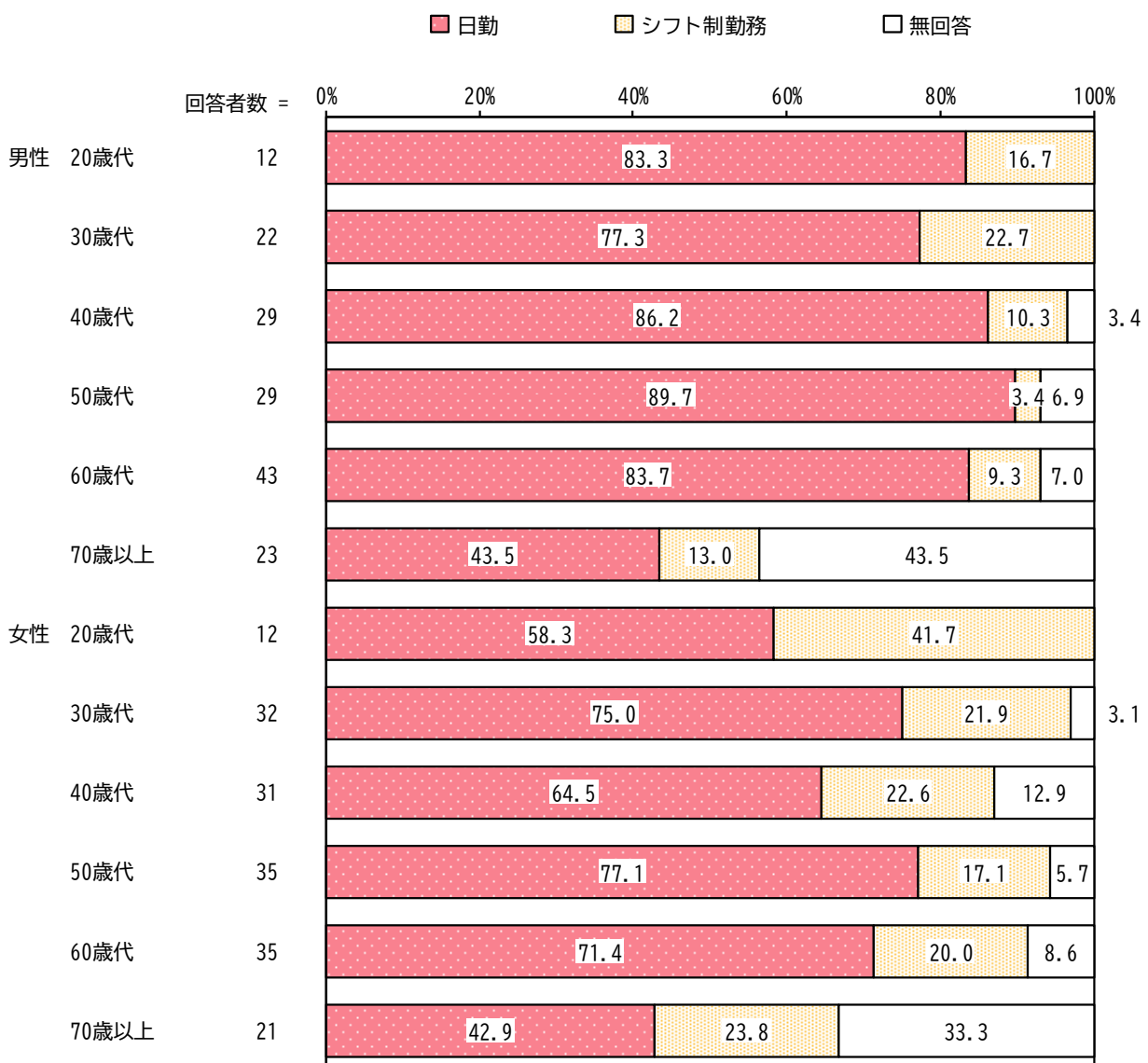
2) 勤務形態

「日勤」の割合が72.9%、「シフト制勤務」の割合が16.9%となっています。



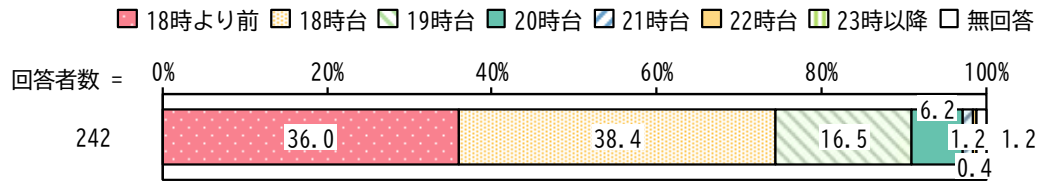
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性50歳代で「日勤」、女性20歳代で「シフト制勤務」の割合が高くなっています。



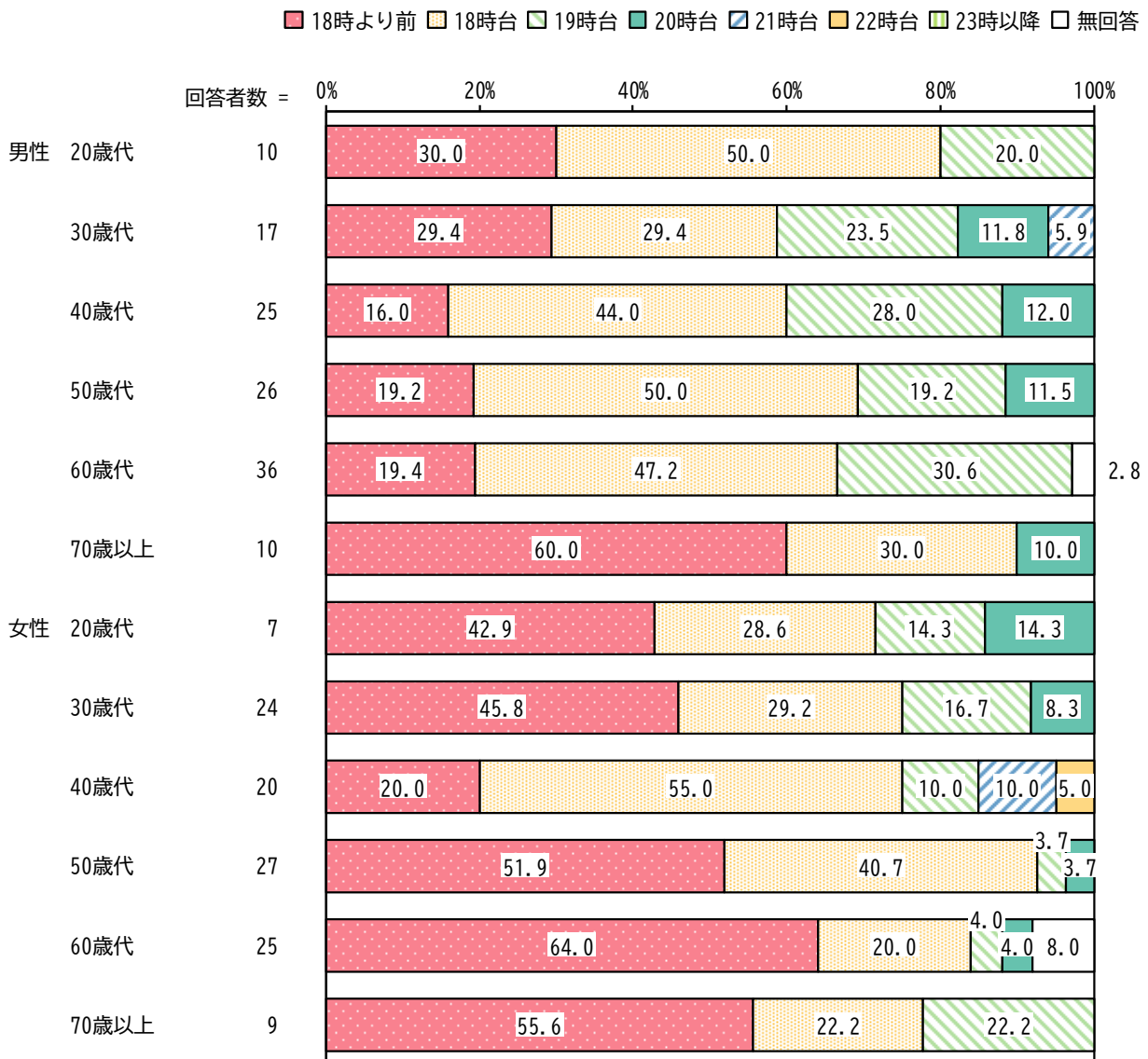
3) 帰宅時間

「18時台」の割合が38.4%と最も高く、次いで「18時より前」の割合が36.0%、「19時台」の割合が16.5%となっています。



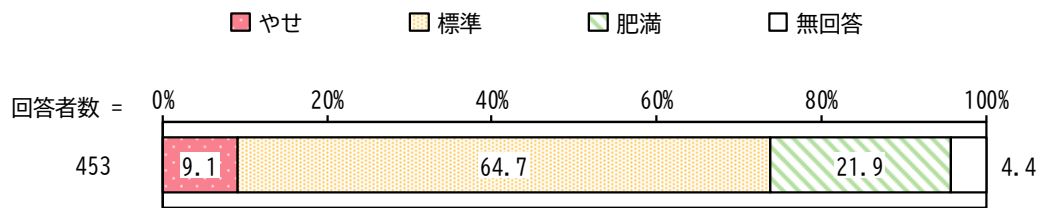
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性70歳以上、女性50歳代、60歳代、70歳以上で「18時より前」、男性20歳代、50歳代、女性40歳代で「19時台」の割合が高くなっています。



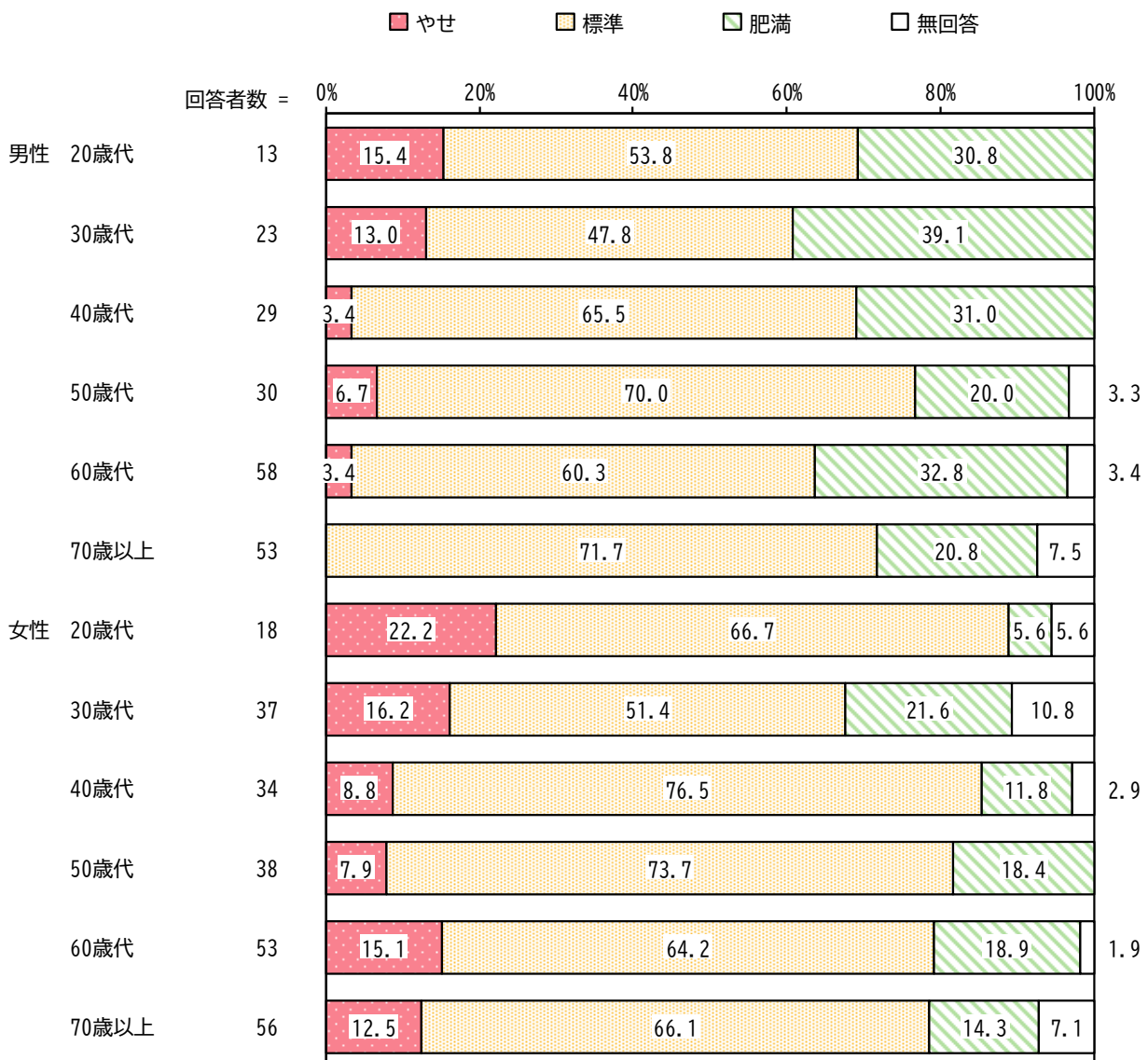
⑥ BMI

「やせ」の割合が9.1%、「標準」の割合が64.7%、「肥満」の割合が21.9%となっています。



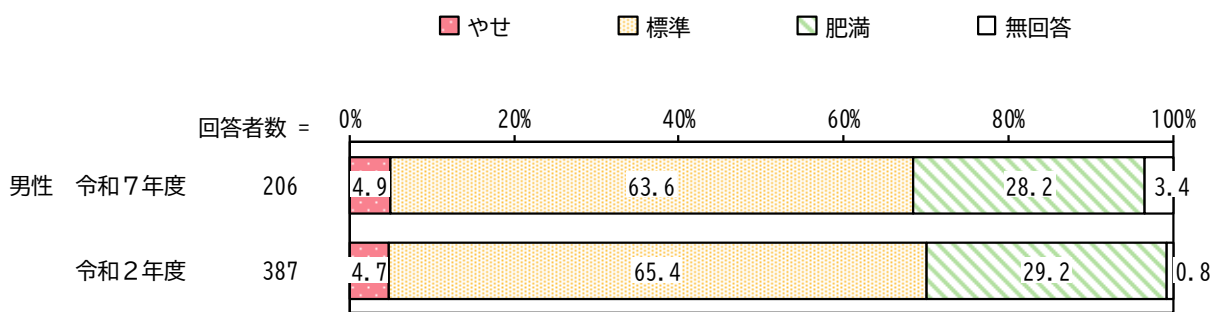
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性20歳代で「やせ」、女性40歳代で「標準」、男性30歳代で「肥満」の割合が高くなっています。



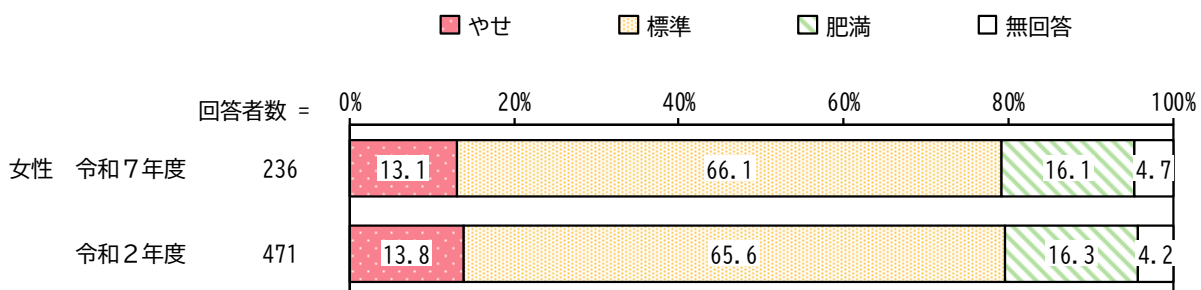
男性

令和2年度調査と比較すると、大きな差は見られません。



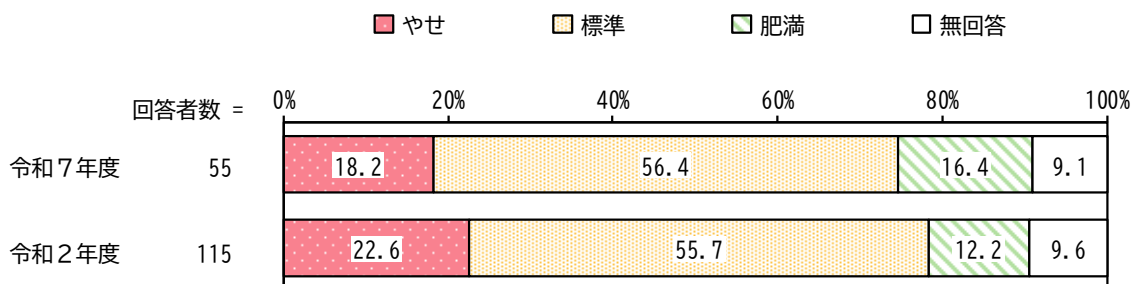
女性

令和2年度調査と比較すると、大きな差は見られません。



20歳代～30歳代の女性

令和2年度調査と比較すると、「やせ」の割合（BMIが18.5以下の人の割合）は減少しています。

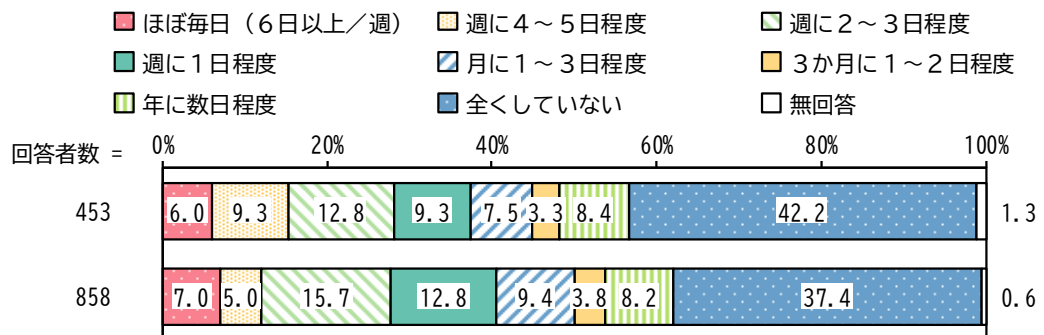


2 運動やスポーツについて

問1 運動やスポーツをどの程度行っていますか。

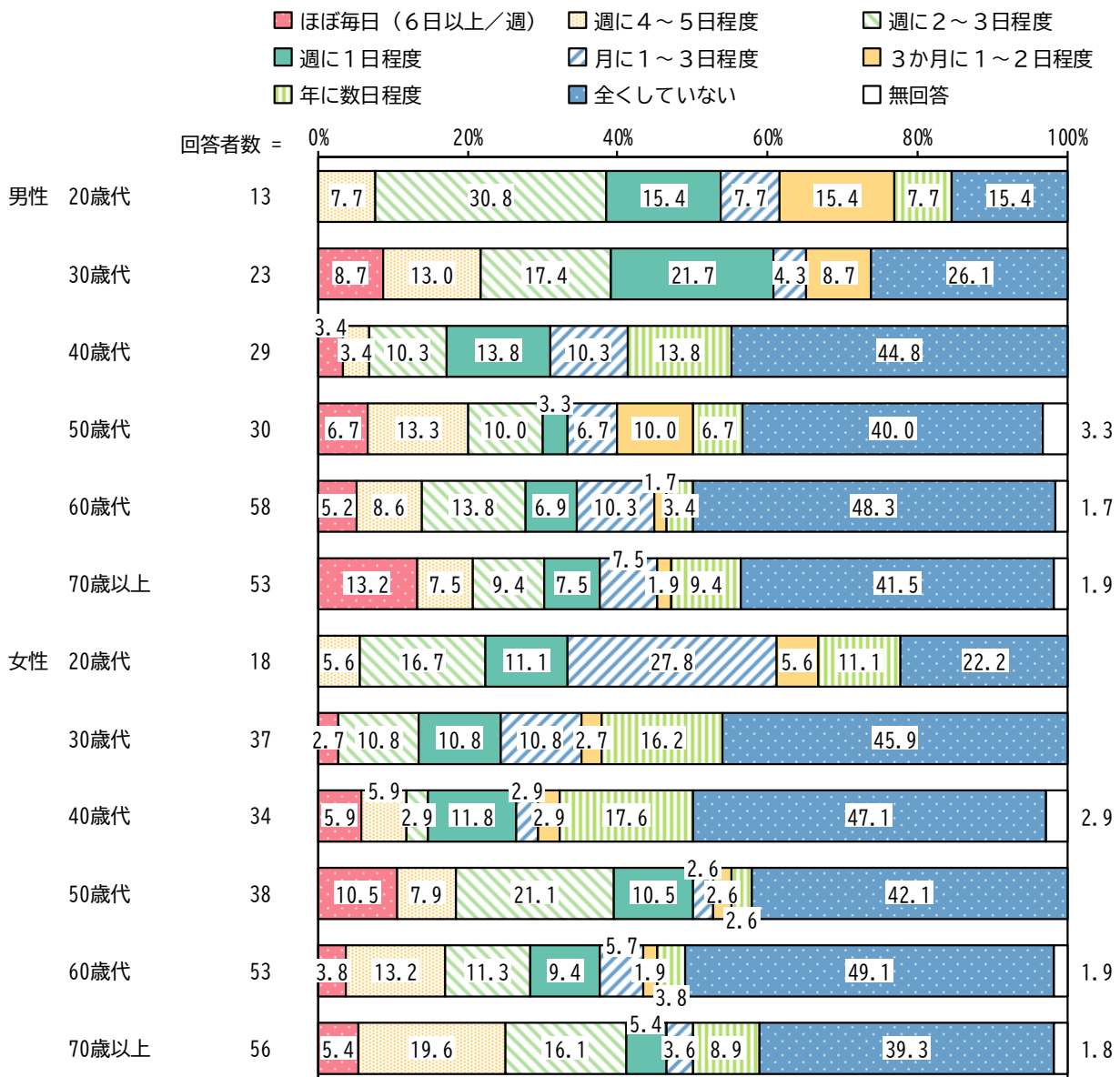
「全くしていない」の割合が42.2%と最も高く、次いで「週に2～3日程度」の割合が12.8%となっています。

令和2年度調査と比較すると、週1回以上運動している人の割合は減少しています。



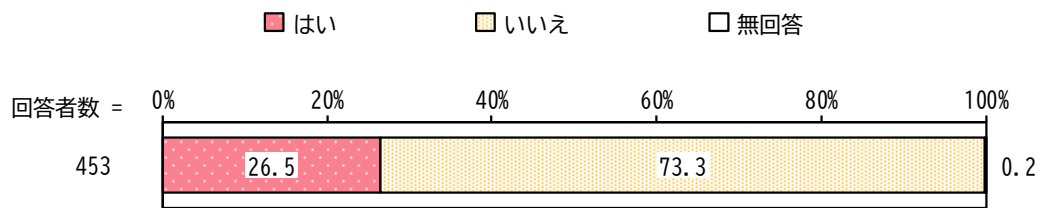
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性20歳代で「週に2～3日程度」「3か月に1～2日程度」の割合が高くなっています。また、男性40歳代から70歳代、女性30歳代から60歳代で「全くしていない」の割合が4割を超え高くなっています。



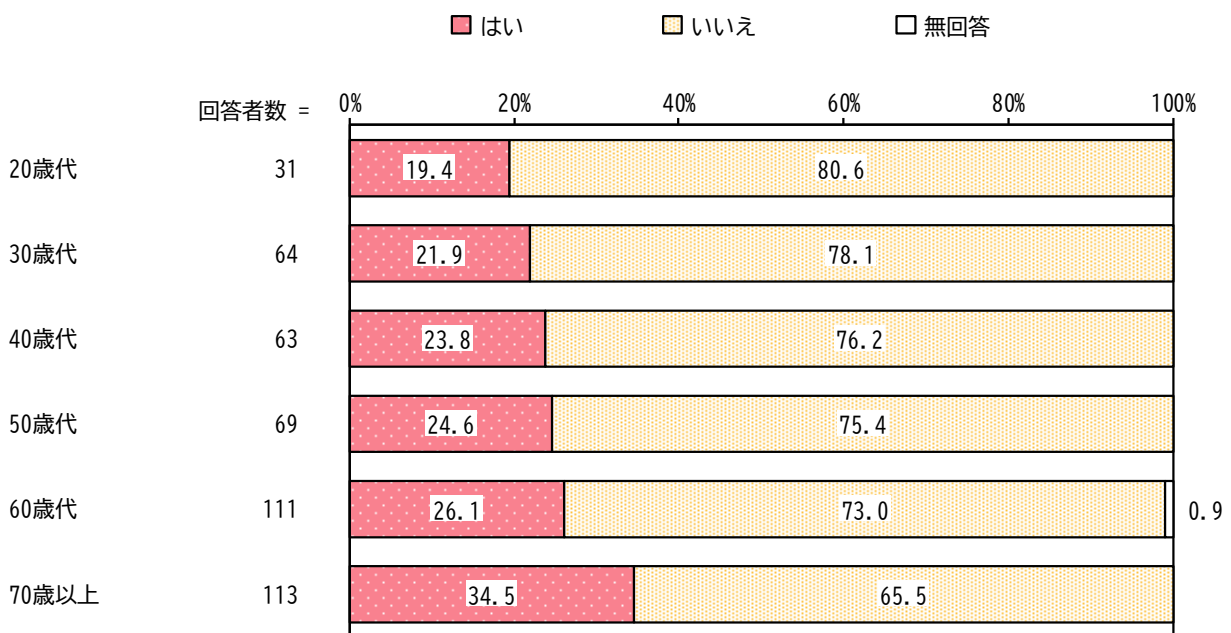
問2 あなたは運動習慣がありますか。(運動習慣がある：1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上続けている場合を示す)

「はい」の割合が26.5%、「いいえ」の割合が73.3%となっています。



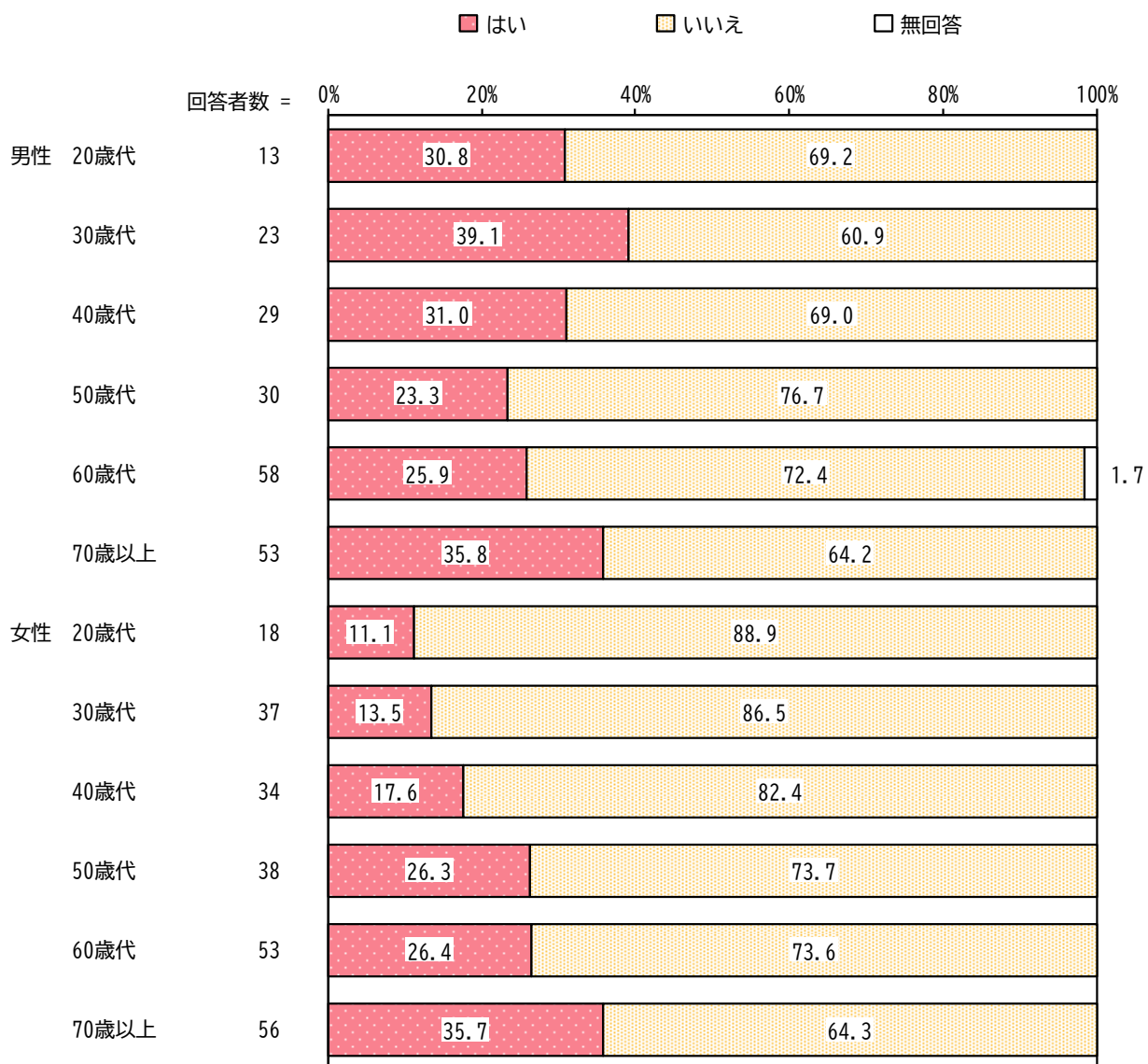
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



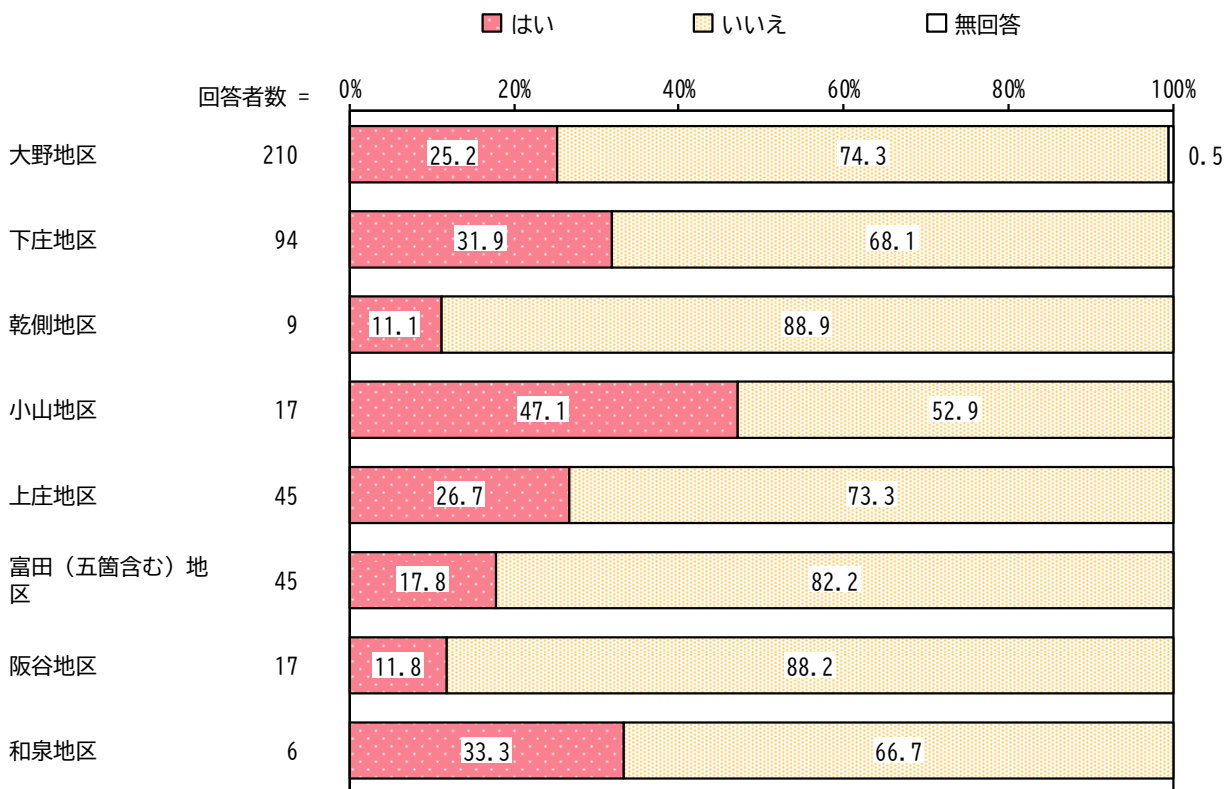
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 30 歳代で「はい」、女性 20 歳代、30 歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【地区別】

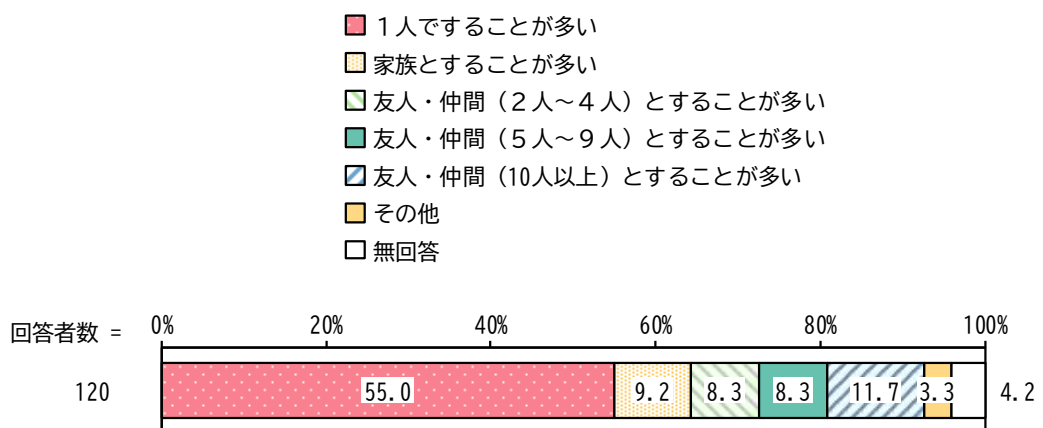
地区別にみると、小山地区で「はい」、阪谷地区で「いいえ」の割合が高くなっています。



◆問2で「はい」と回答された方にお聞きします。

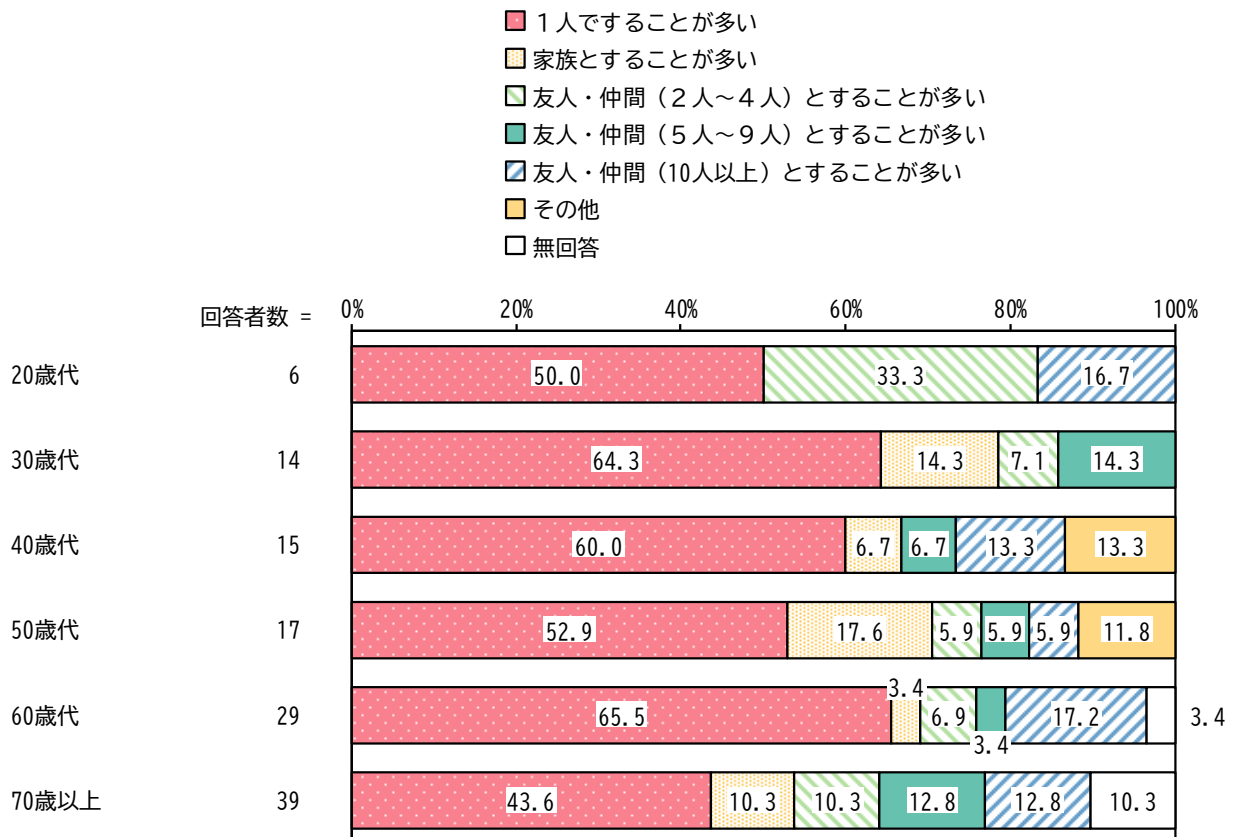
運動やスポーツは誰と一緒にしますか。

「1人ですることが多い」の割合が55.0%と最も高く、次いで「友人・仲間（10人以上）とすることが多い」の割合が11.7%となっています。



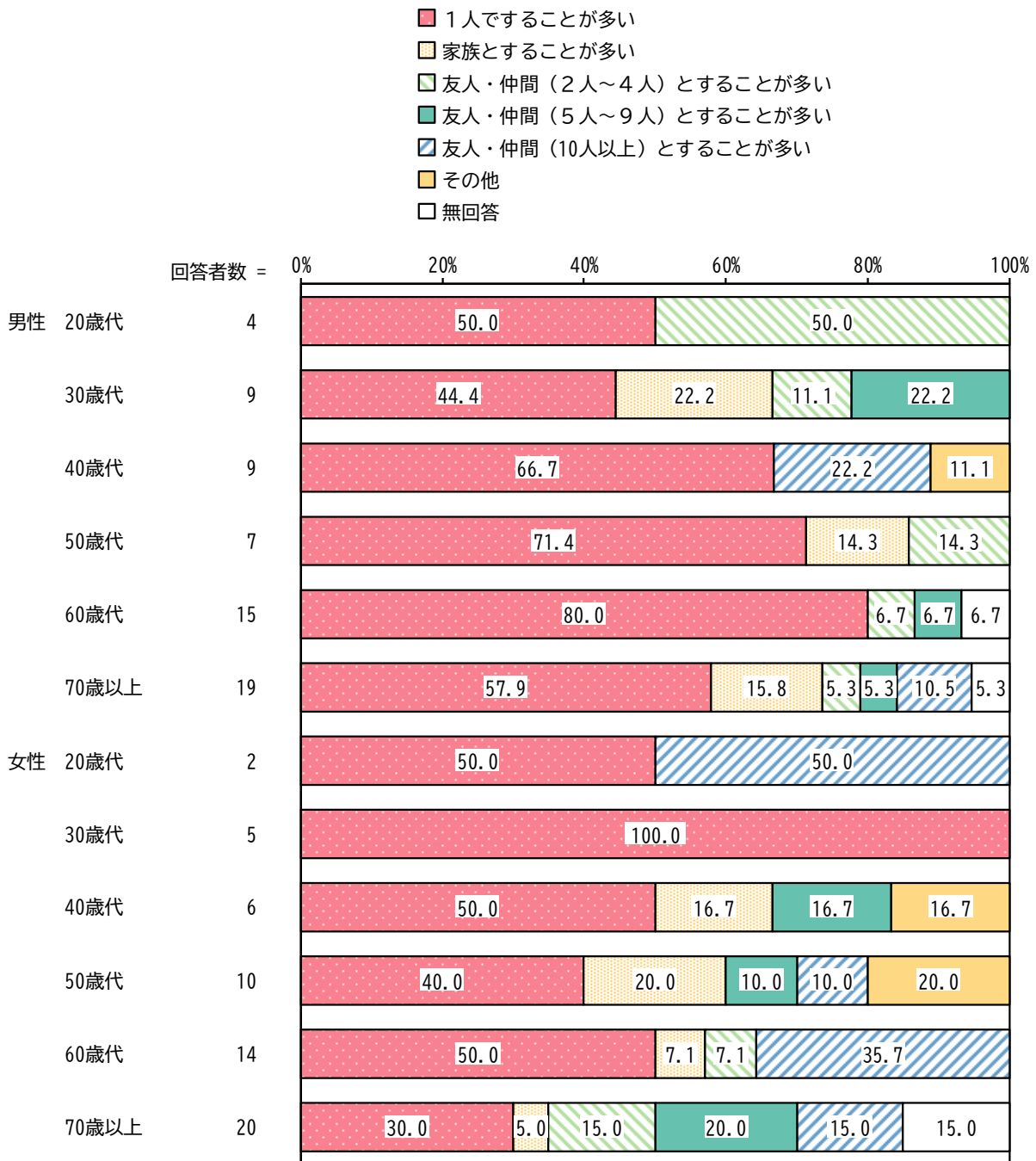
【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「1人ですることが多い」の割合が高くなっています。このほかでは、50歳代で「家族とすることが多い」、60歳代で「友人・仲間（10人以上）とすることが多い」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

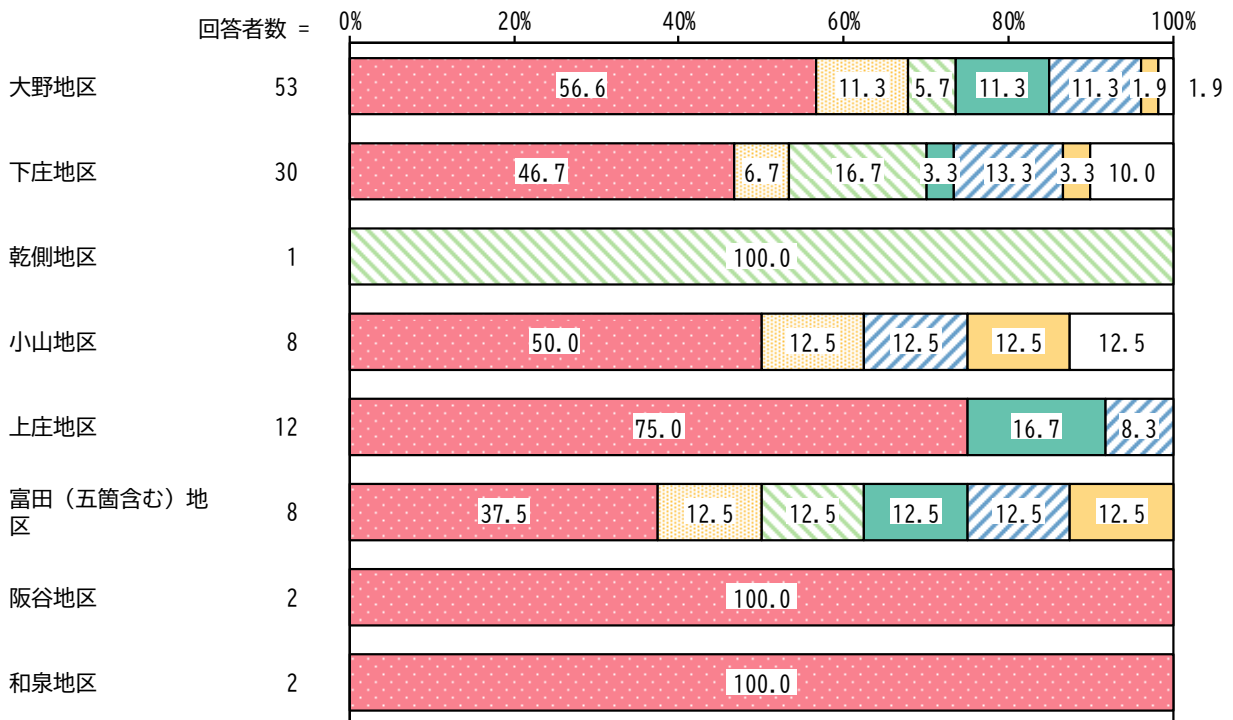
性・年齢別にみると、男性 60 歳代で「1 人ですることが多い」、女性 60 歳代で「友人・仲間（10 人以上）とすることが多い」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、上庄地区で「1人ですることが多い」「友人・仲間（5人～9人）とすることが多い」、下庄地区で「友人・仲間（2人～4人）とすることが多い」の割合が高くなっています。

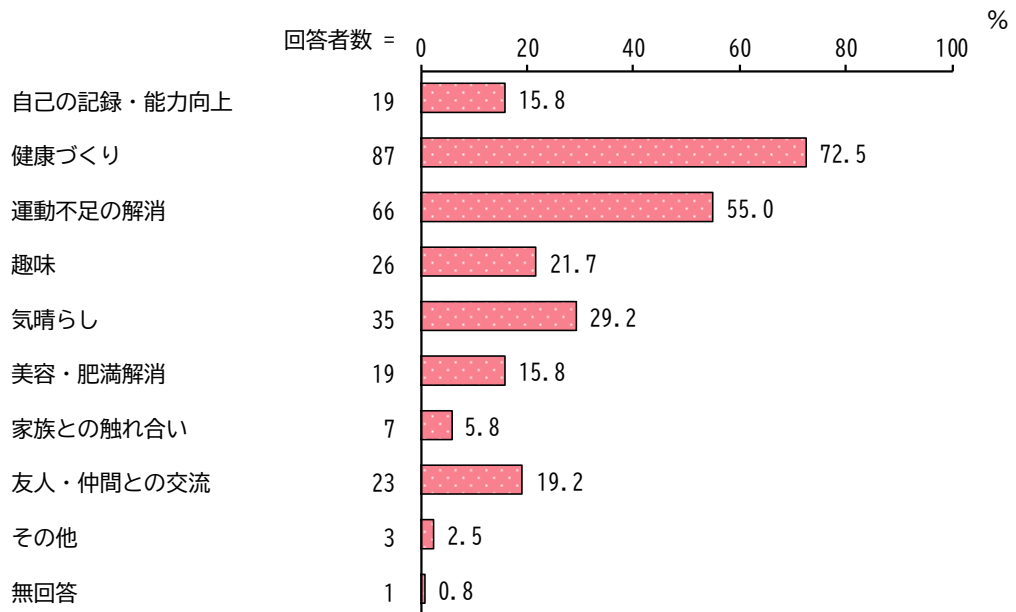
- 1人ですることが多い
- 家族とすることが多い
- 友人・仲間（2人～4人）とすることが多い
- 友人・仲間（5人～9人）とすることが多い
- 友人・仲間（10人以上）とすることが多い
- その他
- 無回答



運動やスポーツを何のため（目的）に行っていますか。（〇はいくつでも可）

「健康づくり」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「運動不足の解消」の割合が 55.0%、「気晴らし」の割合が 29.2%となっています。

回答者数 = 120



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「趣味」の割合が高い傾向にあります。また、70歳以上で「健康づくり」「運動不足の解消」「友人・仲間との交流」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自己の記録・能力向上	健康づくり	運動不足の解消	趣味	気晴らし	美容・肥満解消	家族との触れ合い	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	120	15.8	72.5	55.0	21.7	29.2	15.8	5.8	19.2	2.5	0.8
20歳代	6	16.7	66.7	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
30歳代	14	21.4	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	7.1	0.0
40歳代	15	20.0	53.3	46.7	26.7	33.3	20.0	6.7	13.3	13.3	0.0
50歳代	17	17.6	64.7	52.9	29.4	35.3	11.8	17.6	11.8	0.0	0.0
60歳代	29	20.7	75.9	55.2	24.1	17.2	13.8	0.0	3.4	0.0	3.4
70歳以上	39	7.7	84.6	66.7	7.7	33.3	10.3	2.6	35.9	0.0	0.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに70歳以上で「健康づくり」「運動不足の解消」「友人・仲間との交流」、女性50歳代で「家族との触れ合い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	上 自己の記録・能力向	健康づくり	運動不足の解消	趣味	気晴らし	美容・肥満解消	家族との触れ合い	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	120	15.8	72.5	55.0	21.7	29.2	15.8	5.8	19.2	2.5	0.8
男性 20歳代	4	25.0	75.0	25.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30歳代	9	22.2	66.7	55.6	22.2	22.2	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0
40歳代	9	33.3	55.6	44.4	44.4	33.3	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0
50歳代	7	42.9	100.0	57.1	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
60歳代	15	20.0	73.3	53.3	26.7	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
70歳以上	19	0.0	78.9	63.2	5.3	31.6	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0
女性 20歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
30歳代	5	20.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
40歳代	6	0.0	50.0	50.0	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
50歳代	10	0.0	40.0	50.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0
60歳代	14	21.4	78.6	57.1	21.4	14.3	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0
70歳以上	20	15.0	90.0	70.0	10.0	35.0	15.0	5.0	55.0	0.0	0.0

【地区別】

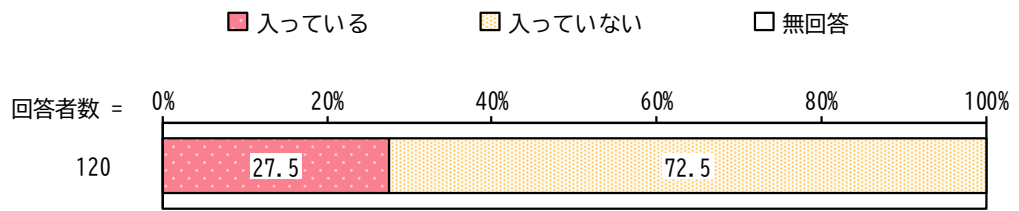
地区別にみると、大野地区で「健康づくり」、下庄地区で「運動不足の解消」「気晴らし」「友人・仲間との交流」、上庄地区で「趣味」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	上 自己の記録・能力向	健康づくり	運動不足の解消	趣味	気晴らし	美容・肥満解消	家族との触れ合い	友人・仲間との交流	その他	無回答
全体	120	15.8	72.5	55.0	21.7	29.2	15.8	5.8	19.2	2.5	0.8
大野地区	53	13.2	81.1	49.1	17.0	22.6	17.0	5.7	15.1	1.9	0.0
下庄地区	30	16.7	66.7	60.0	20.0	40.0	13.3	6.7	33.3	0.0	3.3
乾側地区	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
小山地区	8	0.0	75.0	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0
上庄地区	12	16.7	58.3	58.3	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0
富田（五箇含む）地区	8	25.0	62.5	75.0	50.0	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0
阪谷地区	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和泉地区	2	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

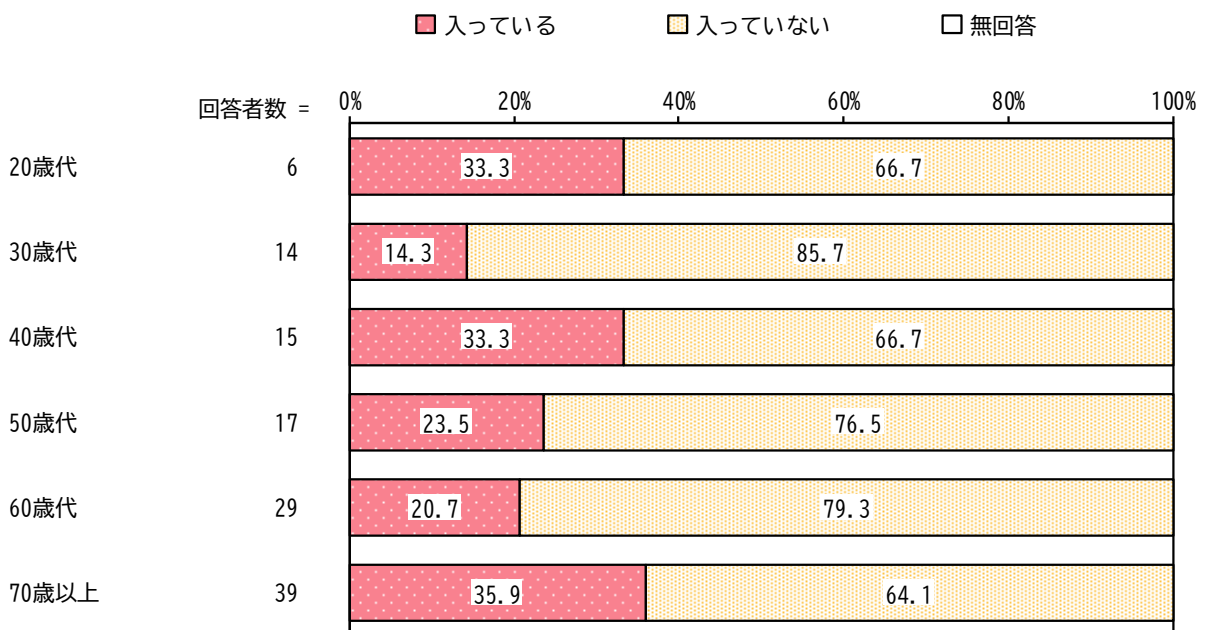
現在、運動やスポーツのチームやサークルに入っていますか。

「入っている」の割合が27.5%、「入っていない」の割合が72.5%となっています。



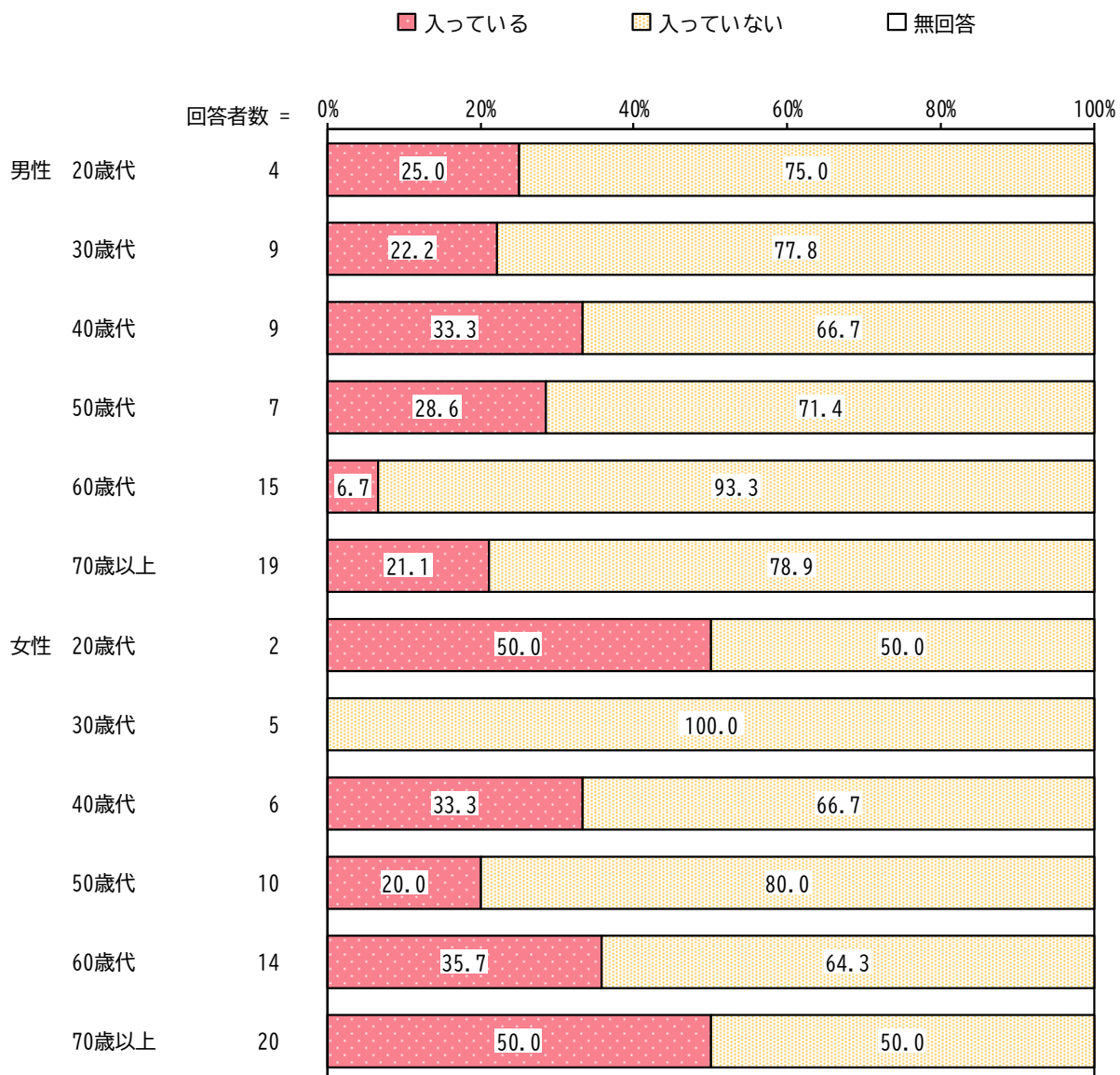
【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「入っていない」の割合が高くなっています。



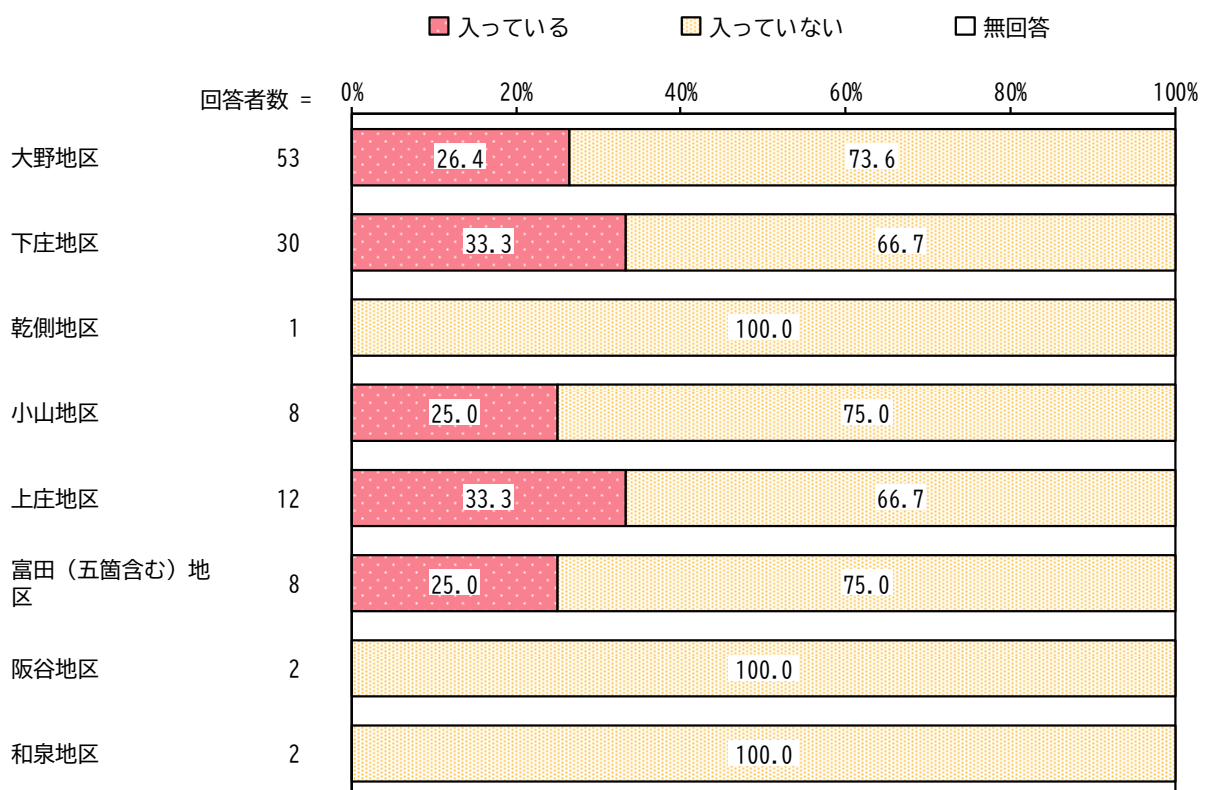
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 60 歳代で「入っていない」、女性 70 歳以上で「入っている」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、下庄地区、上庄地区で「入っている」の割合が高くなっています。

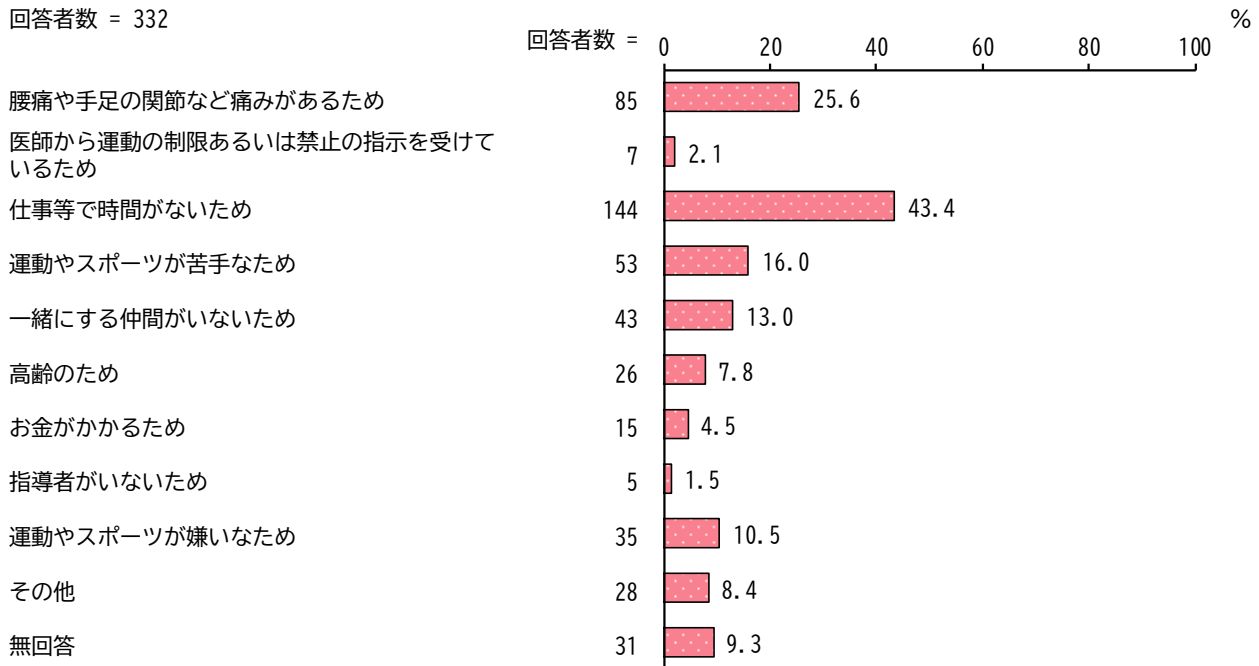


◆問2で「いいえ」と回答された方にお聞きします。

運動習慣がない理由はなぜですか。(〇はいくつでも可)

「仕事等で時間がないため」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「腰痛や手足の関節など痛みがあるため」の割合が 25.6%、「運動やスポーツが苦手なため」の割合が 16.0%となっています。

回答者数 = 332



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「一緒にする仲間がないため」「お金がかかるため」の割合が高い傾向にあり、20歳代から60歳代まで年齢が上がるほど「腰痛や手足の関節など痛みがあるため」の割合が高くなっています。また、30歳代、40歳代で「仕事等で時間がないため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	腰痛や手足の関節など痛みがあるため	医師から運動の制限あるいは禁止の指示を受けているため	仕事等で時間がないため	運動やスポーツが苦手なため	一緒にする仲間がないため	高齢のため	お金がかかるため	指導者がいないため	運動やスポーツが嫌いなため	その他	無回答
全体	332	25.6	2.1	43.4	16.0	13.0	7.8	4.5	1.5	10.5	8.4	9.3
20歳代	25	0.0	4.0	60.0	20.0	24.0	0.0	12.0	8.0	4.0	4.0	4.0
30歳代	50	6.0	2.0	64.0	16.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	14.0	2.0
40歳代	48	16.7	0.0	64.6	22.9	12.5	0.0	4.2	2.1	12.5	8.3	4.2
50歳代	52	28.8	0.0	48.1	15.4	13.5	0.0	3.8	0.0	15.4	11.5	5.8
60歳代	81	40.7	2.5	33.3	11.1	11.1	7.4	3.7	1.2	7.4	6.2	13.6
70歳以上	74	35.1	4.1	17.6	16.2	6.8	27.0	0.0	1.4	10.8	6.8	17.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに 60 歳代で「腰痛や手足の関節など痛みがあるため」、70 歳以上で「高齢のため」、男性 30 歳代、女性 40 歳代で「仕事等で時間がないため」、女性 20 歳代、40 歳代、50 歳代で「運動やスポーツが苦手なため」、男性 30 歳代で「一緒にする仲間がないため」「お金がかかるため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	腰痛や手足の関節など痛みがあるため	医師から運動の制限あるいは禁止の指示を受けているため	仕事等で時間がないため	運動やスポーツが苦手なため	一緒にする仲間がないため	高齢のため	お金がかかるため	指導者がいないため	運動やスポーツが嫌いなため	その他	無回答
全体	332	25.6	2.1	43.4	16.0	13.0	7.8	4.5	1.5	10.5	8.4	9.3
男性 20歳代	9	0.0	0.0	77.8	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
30歳代	14	14.3	0.0	64.3	14.3	50.0	0.0	21.4	0.0	7.1	14.3	7.1
40歳代	20	25.0	0.0	45.0	15.0	25.0	0.0	10.0	0.0	15.0	10.0	5.0
50歳代	23	26.1	0.0	47.8	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	13.0	4.3	8.7
60歳代	42	40.5	2.4	21.4	9.5	9.5	11.9	0.0	2.4	11.9	11.9	14.3
70歳以上	34	35.3	0.0	14.7	14.7	2.9	26.5	0.0	0.0	17.6	8.8	14.7
女性 20歳代	16	0.0	6.3	50.0	31.3	31.3	0.0	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0
30歳代	32	0.0	3.1	62.5	18.8	9.4	0.0	3.1	0.0	12.5	12.5	0.0
40歳代	28	10.7	0.0	78.6	28.6	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	7.1	3.6
50歳代	28	32.1	0.0	46.4	28.6	10.7	0.0	7.1	0.0	17.9	14.3	3.6
60歳代	39	41.0	2.6	46.2	12.8	12.8	2.6	7.7	0.0	2.6	0.0	12.8
70歳以上	36	36.1	8.3	19.4	16.7	11.1	22.2	0.0	2.8	5.6	5.6	22.2

【地区別】

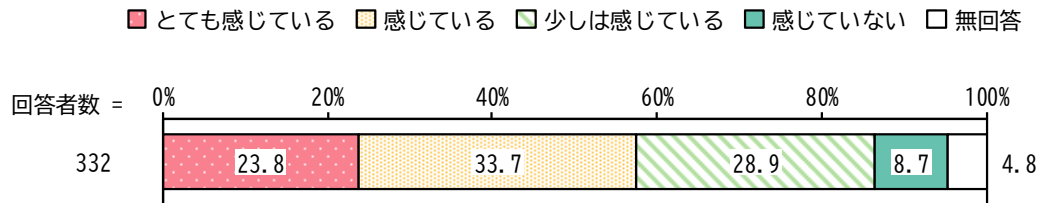
地区別にみると、下庄地区で「腰痛や手足の関節など痛みがあるため」、富田（五箇含む）地区で「運動やスポーツが苦手なため」、上庄地区で「一緒にする仲間がないため」「お金がかかるため」、阪谷地区で「指導者がいないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	腰痛や手足の関節など痛みがあるため	医師から運動の制限あるいは禁止の指示を受けているため	仕事等で時間がないため	運動やスポーツが苦手なため	一緒にする仲間がないため	高齢のため	お金がかかるため	指導者がいないため	運動やスポーツが嫌いなため	その他	無回答
全体	332	25.6	2.1	43.4	16.0	13.0	7.8	4.5	1.5	10.5	8.4	9.3
大野地区	156	23.1	1.9	47.4	15.4	14.1	6.4	3.8	1.9	9.6	9.6	7.7
下庄地区	64	39.1	4.7	35.9	10.9	15.6	10.9	3.1	0.0	7.8	9.4	7.8
乾側地区	8	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
小山地区	9	22.2	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0
上庄地区	33	21.2	3.0	45.5	18.2	21.2	3.0	12.1	3.0	15.2	6.1	9.1
富田（五箇含む）地区	37	24.3	0.0	43.2	27.0	2.7	8.1	2.7	0.0	10.8	0.0	16.2
阪谷地区	15	13.3	0.0	26.7	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	13.3	20.0	20.0
和泉地区	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

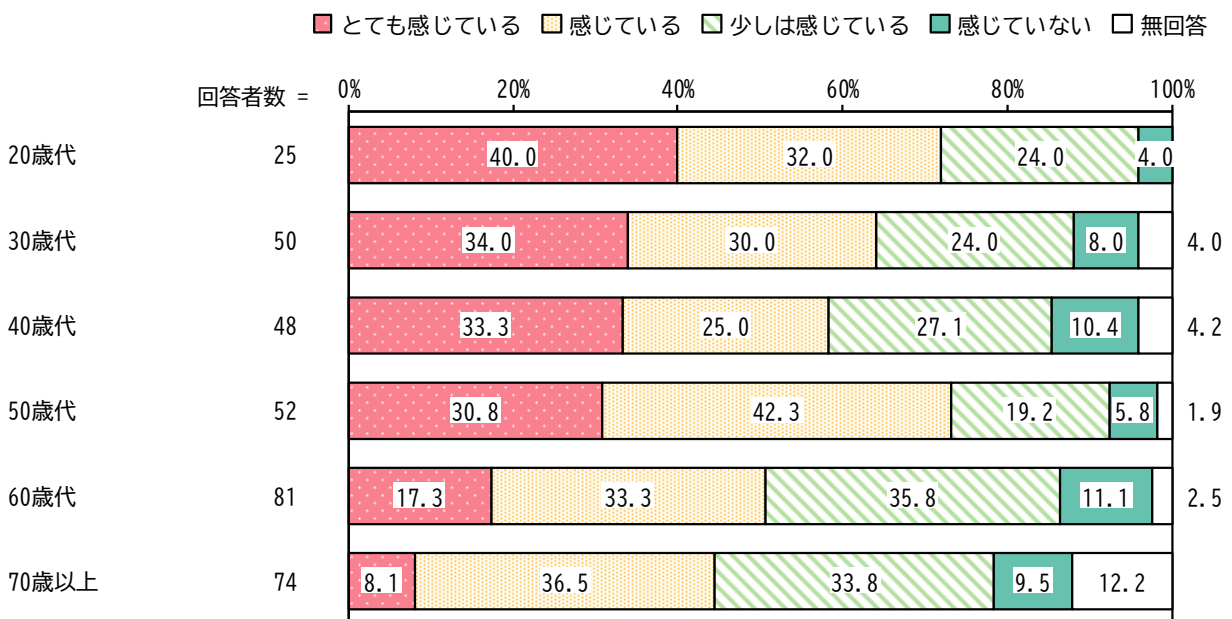
自分自身に運動やスポーツの必要性を感じていますか。

「とても感じている」「感じている」「少しは感じている」を合わせた“感じている”の割合が86.4%、「感じていない」の割合が8.7%となっています。



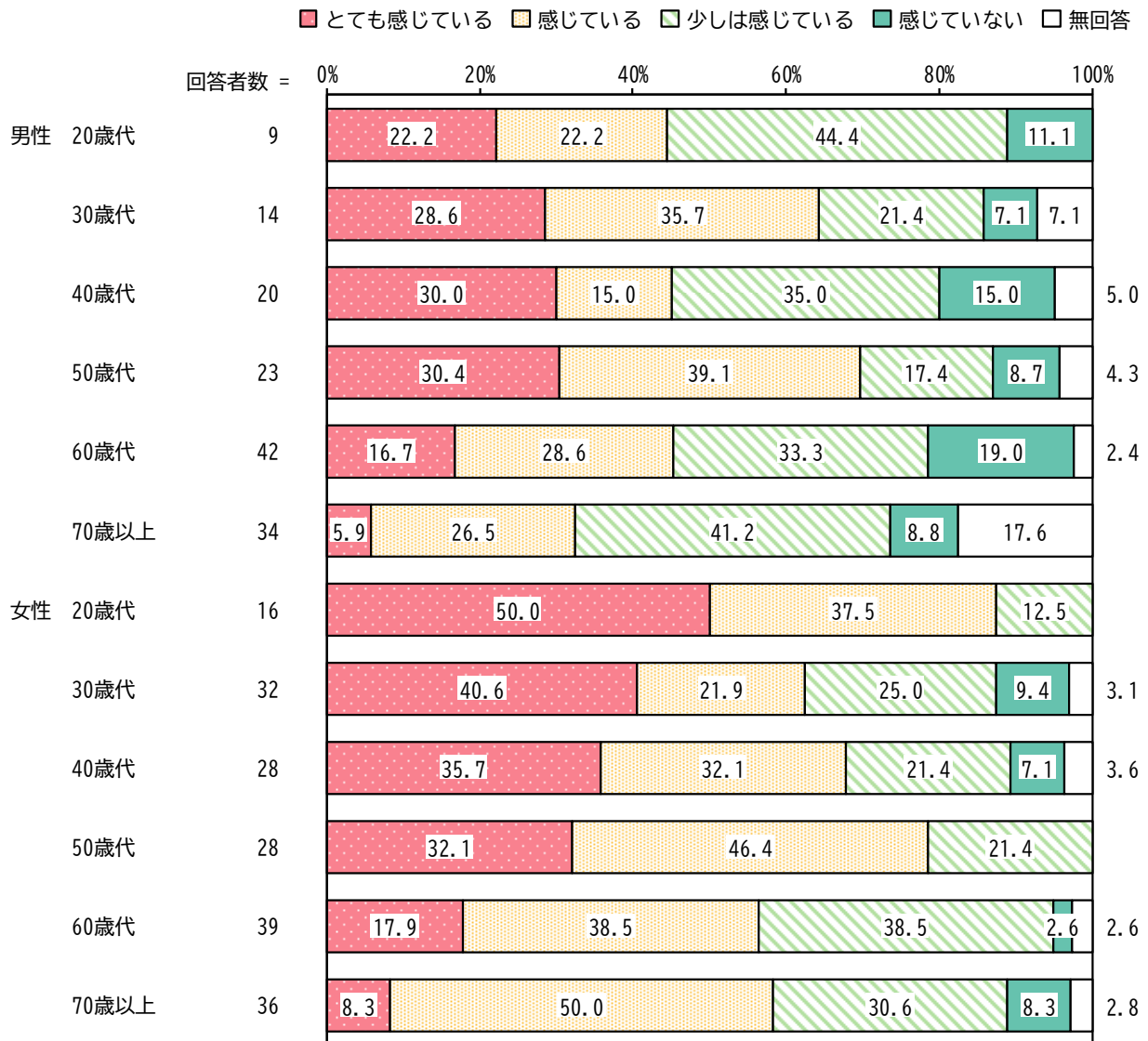
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「とても感じている」の割合が高くなっています。



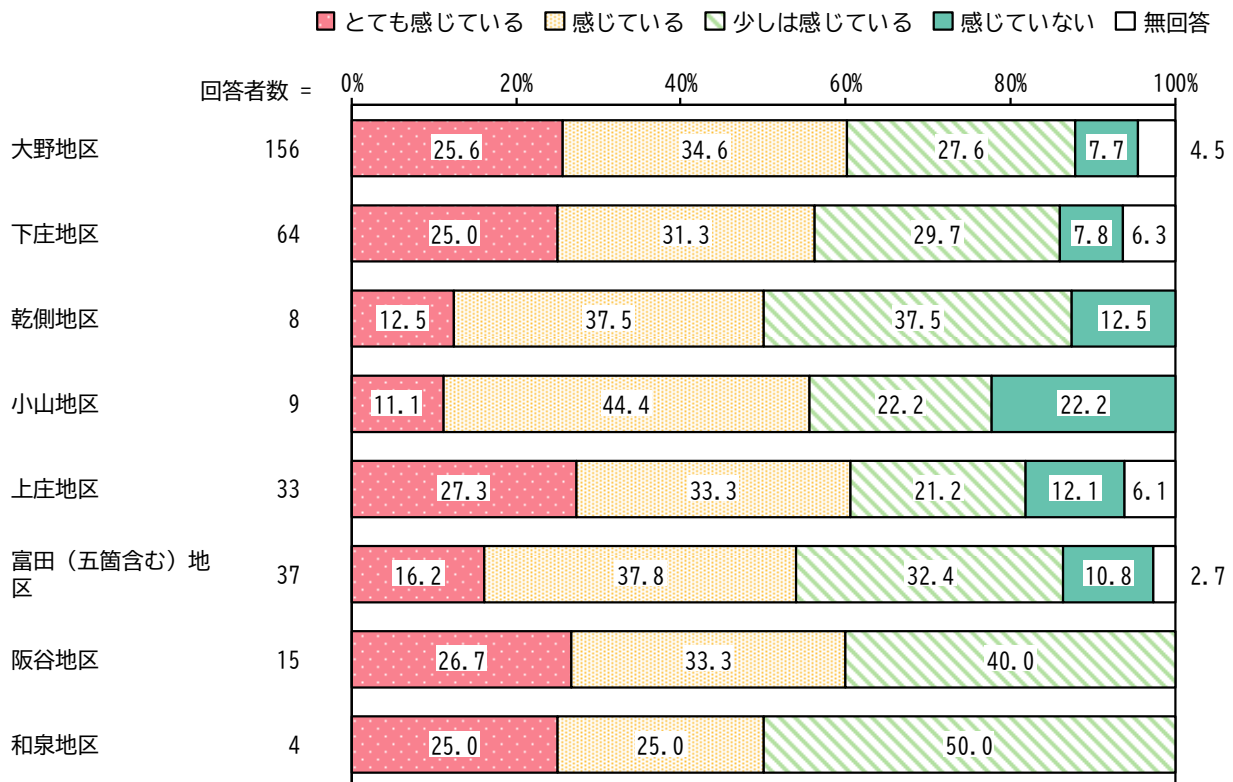
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が下がるほど「とても感じている」の割合が高くなるのが顕著です。また、男性 60 歳代で「感じていない」の割合が高くなっています。



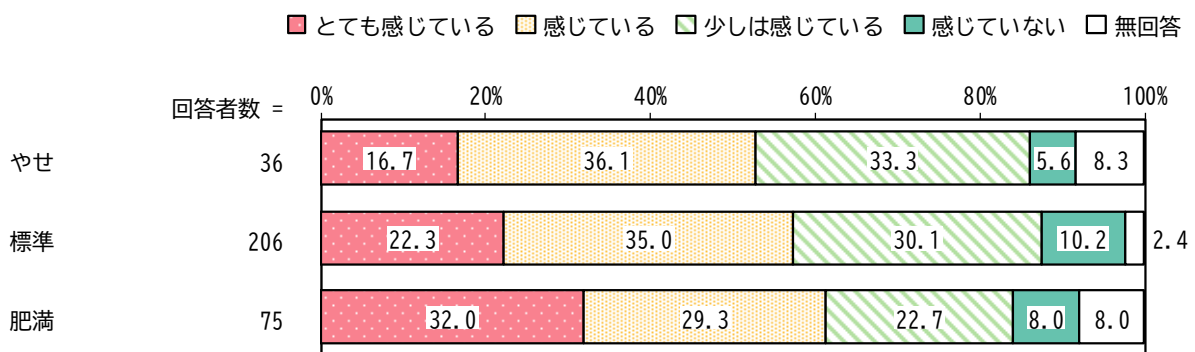
【地区別】

地区別にみると、阪谷地区で“感じている”の割合が最も高くなっています。



【BMI別】

BMI別にみると、BMIが上がるほど「とても感じている」の割合が高くなっています。



BMI別の運動習慣がない理由をみると、BMIが上がるほど「腰痛や手足の関節など痛みがあるため」「一緒にする仲間がないため」「高齢のため」「運動やスポーツが嫌いなため」の割合が高くなっています。

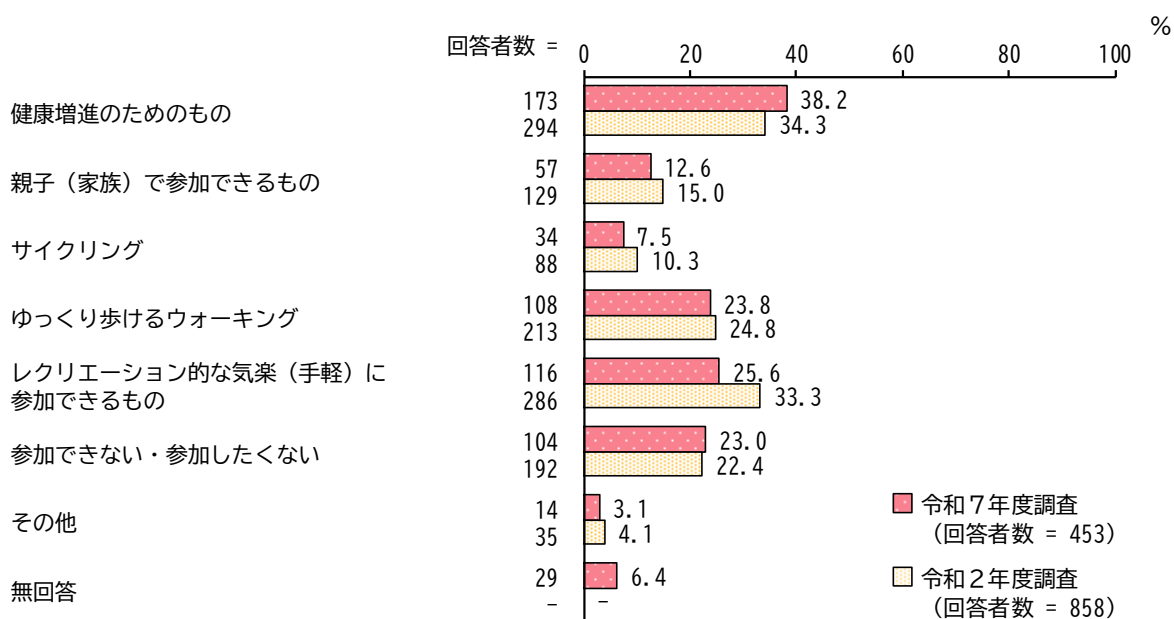
単位：％

区分	回答者数(件)	腰痛や手足の関節など痛みがあるため	医師から運動の制限あるいは禁止の指示を受けているため	仕事等で時間がないため	運動やスポーツが苦手なため	一緒にする仲間がないため	高齢のため	お金がかかるため	指導者がいないため	運動やスポーツが嫌いなため	その他	無回答
全体	332	25.6	2.1	43.4	16.0	13.0	7.8	4.5	1.5	10.5	8.4	9.3
やせ	36	11.1	2.8	36.1	16.7	11.1	5.6	5.6	—	8.3	8.3	16.7
標準	206	25.2	1.0	47.1	15.0	13.1	7.8	4.4	2.4	10.2	8.7	7.3
肥満	75	33.3	4.0	36.0	20.0	14.7	8.0	5.3	—	13.3	9.3	10.7

問3 どのような運動やスポーツの教室があれば参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも可)

「健康増進のためのもの」の割合が38.2%と最も高く、次いで「レクリエーション的な気楽(手軽)に参加できるもの」の割合が25.6%、「ゆっくり歩けるウォーキング」の割合が23.8%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「レクリエーション的な気楽(手軽)に参加できるもの」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「サイクリング」の割合が高く、30歳代で「親子（家族）で参加できるもの」の割合が最も高くなっています。また、40歳代以上で「ゆっくり歩けるウォーキング」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康増進のためのもの	親子（家族）で参加できるもの	サイクリング	ゆっくり歩けるウォーキング	レクリエーション的な気楽（手軽）に参加できるもの	参加できない・参加したくない	その他	無回答
全体	453	38.2	12.6	7.5	23.8	25.6	23.0	3.1	6.4
20歳代	31	41.9	16.1	16.1	9.7	22.6	22.6	0.0	0.0
30歳代	64	26.6	42.2	10.9	9.4	34.4	26.6	4.7	1.6
40歳代	63	30.2	23.8	9.5	28.6	25.4	22.2	6.3	6.3
50歳代	69	42.0	2.9	8.7	20.3	20.3	20.3	4.3	7.2
60歳代	111	47.7	5.4	6.3	30.6	24.3	19.8	0.9	7.2
70歳以上	113	37.2	1.8	2.7	29.2	26.5	24.8	2.7	9.7

【性・年齢別】

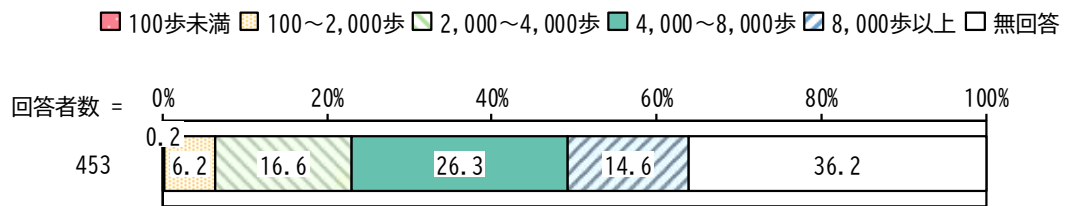
性・年齢別にみると、男女ともに30歳代で「親子（家族）で参加できるもの」の割合が高くなっています。男性60歳代以上、女性40歳代以上で「ゆっくり歩けるウォーキング」の割合が高くなっています。また、男性20歳代、女性30歳代で「参加できない・参加したくない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康増進のためのもの	親子（家族）で参加できるもの	サイクリング	ゆっくり歩けるウォーキング	レクリエーション的な気楽（手軽）に参加できるもの	参加できない・参加したくない	その他	無回答
全体	453	38.2	12.6	7.5	23.8	25.6	23.0	3.1	6.4
男性 20歳代	13	30.8	15.4	15.4	0.0	15.4	38.5	0.0	0.0
30歳代	23	34.8	39.1	21.7	0.0	34.8	26.1	4.3	0.0
40歳代	29	24.1	24.1	17.2	20.7	27.6	31.0	10.3	0.0
50歳代	30	36.7	0.0	16.7	10.0	23.3	23.3	3.3	6.7
60歳代	58	36.2	1.7	6.9	31.0	19.0	31.0	1.7	6.9
70歳以上	53	32.1	1.9	1.9	28.3	26.4	30.2	1.9	7.5
女性 20歳代	18	50.0	16.7	16.7	16.7	27.8	11.1	0.0	0.0
30歳代	37	24.3	43.2	5.4	13.5	32.4	27.0	2.7	2.7
40歳代	34	35.3	23.5	2.9	35.3	23.5	14.7	2.9	11.8
50歳代	38	47.4	5.3	2.6	26.3	18.4	18.4	5.3	7.9
60歳代	53	60.4	9.4	5.7	30.2	30.2	7.5	0.0	7.5
70歳以上	56	42.9	1.8	3.6	30.4	26.8	17.9	3.6	12.5

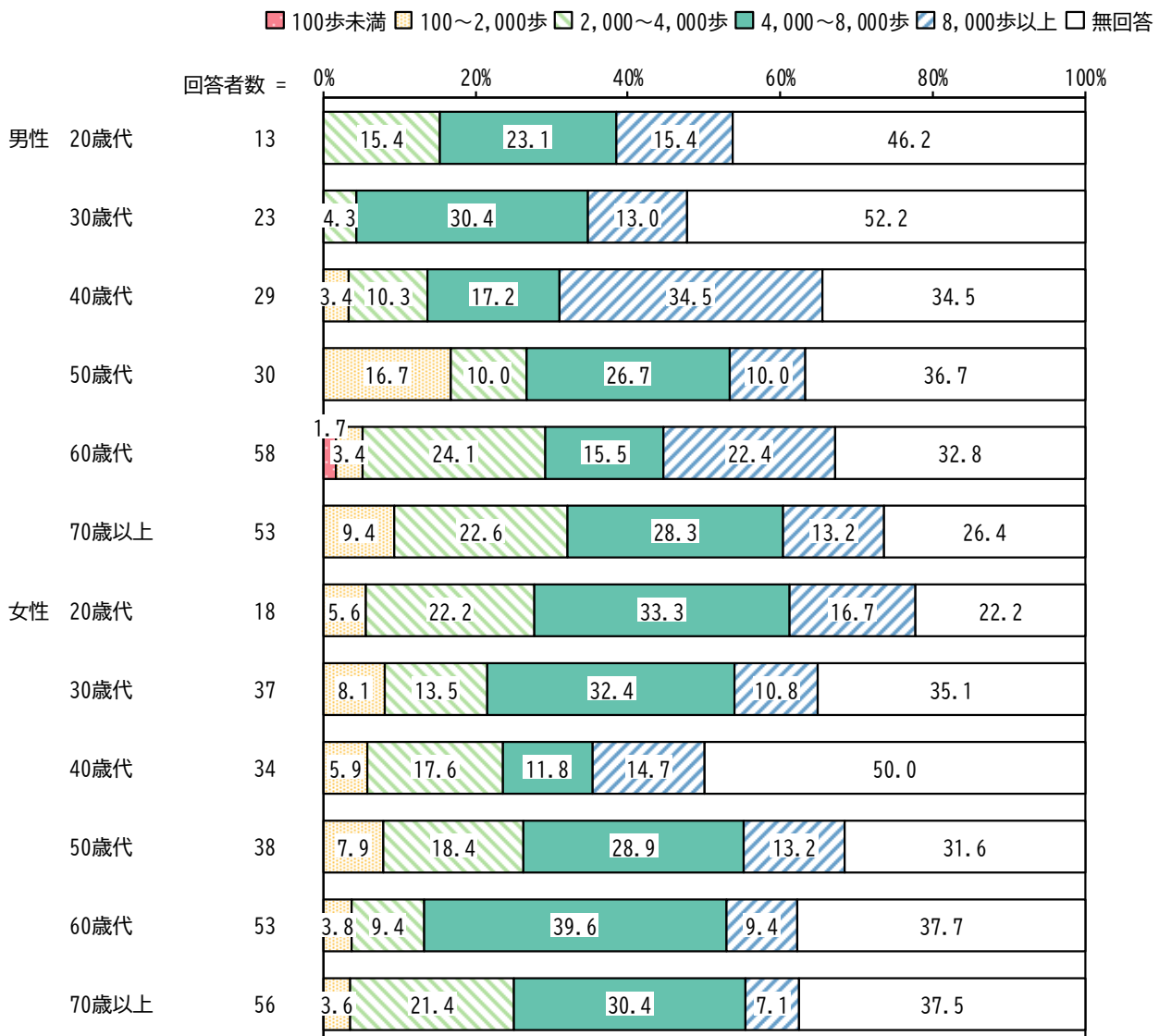
問4 あなたの1日の平均歩数はどのくらいですか。[分かる方のみご記入ください。]

「4,000～8,000歩」の割合が26.3%と最も高く、次いで「2,000～4,000歩」の割合が16.6%、「8,000歩以上」の割合が14.6%となっています。



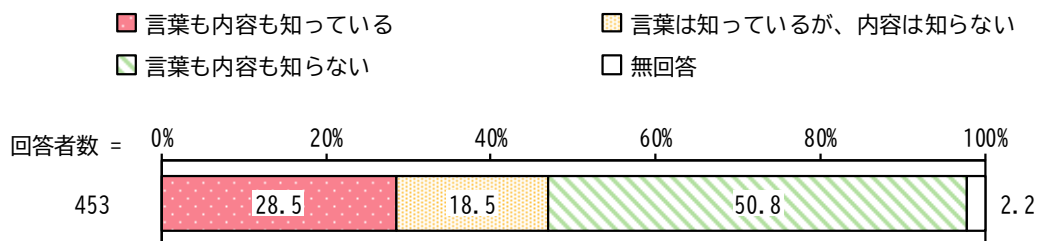
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性40歳代で「8,000歩以上」、男性50歳代で「100～2,000歩」、男性60歳代で「2,000～4,000歩」、女性60歳代で「4,000～8,000歩」の割合が最も高くなっています。



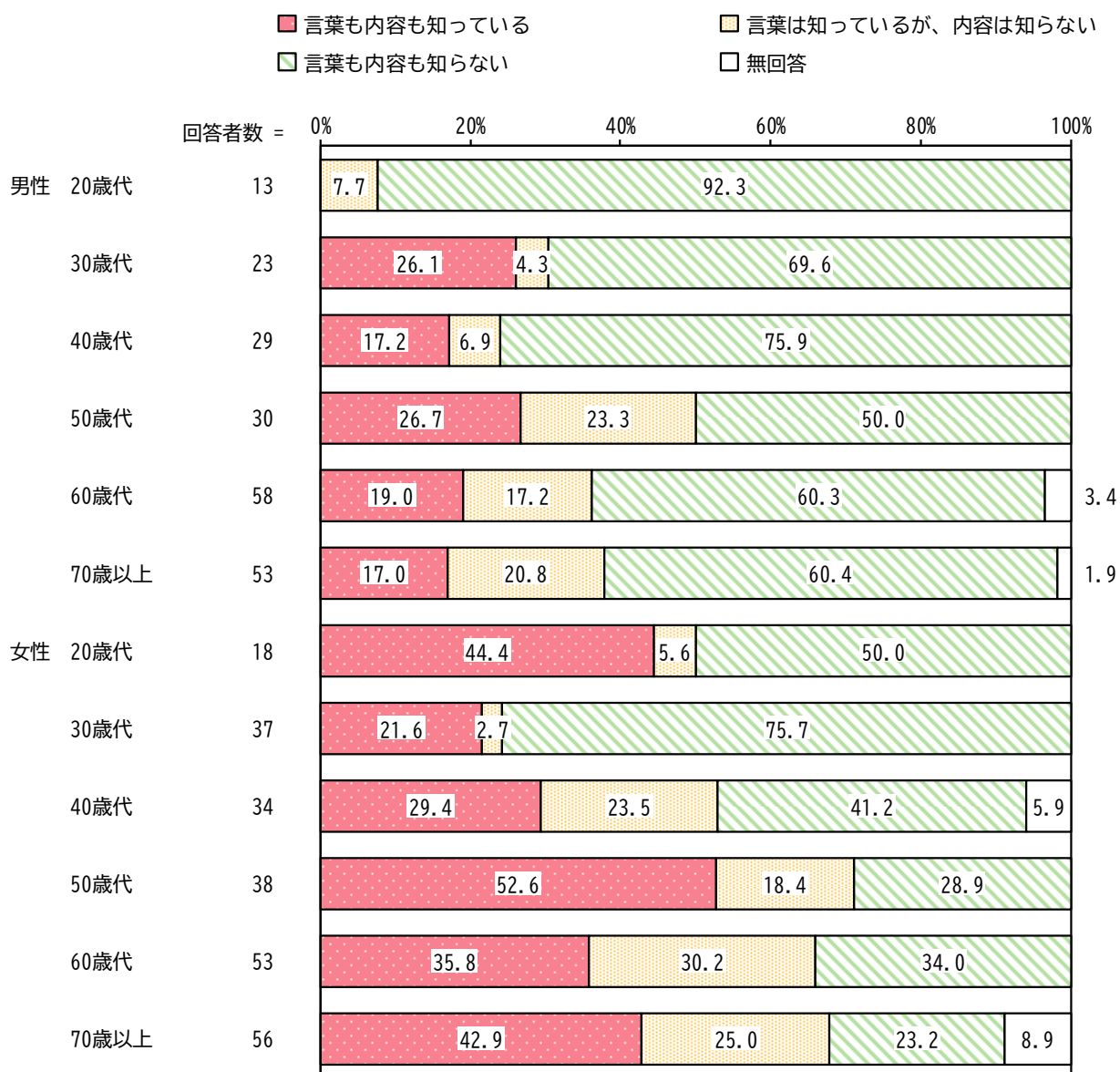
問5 「フレイル」を知っていますか。

「言葉も内容も知っている」の割合が 28.5%、「言葉は知っているが、内容は知らない」の割合が 18.5%、「言葉も内容も知らない」の割合が 50.8%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 50 歳代で「言葉も内容も知っている」、女性 60 歳代で「言葉は知っているが、内容は知らない」、男性 20 歳代で「言葉も内容も知らない」の割合が最も高くなっています。

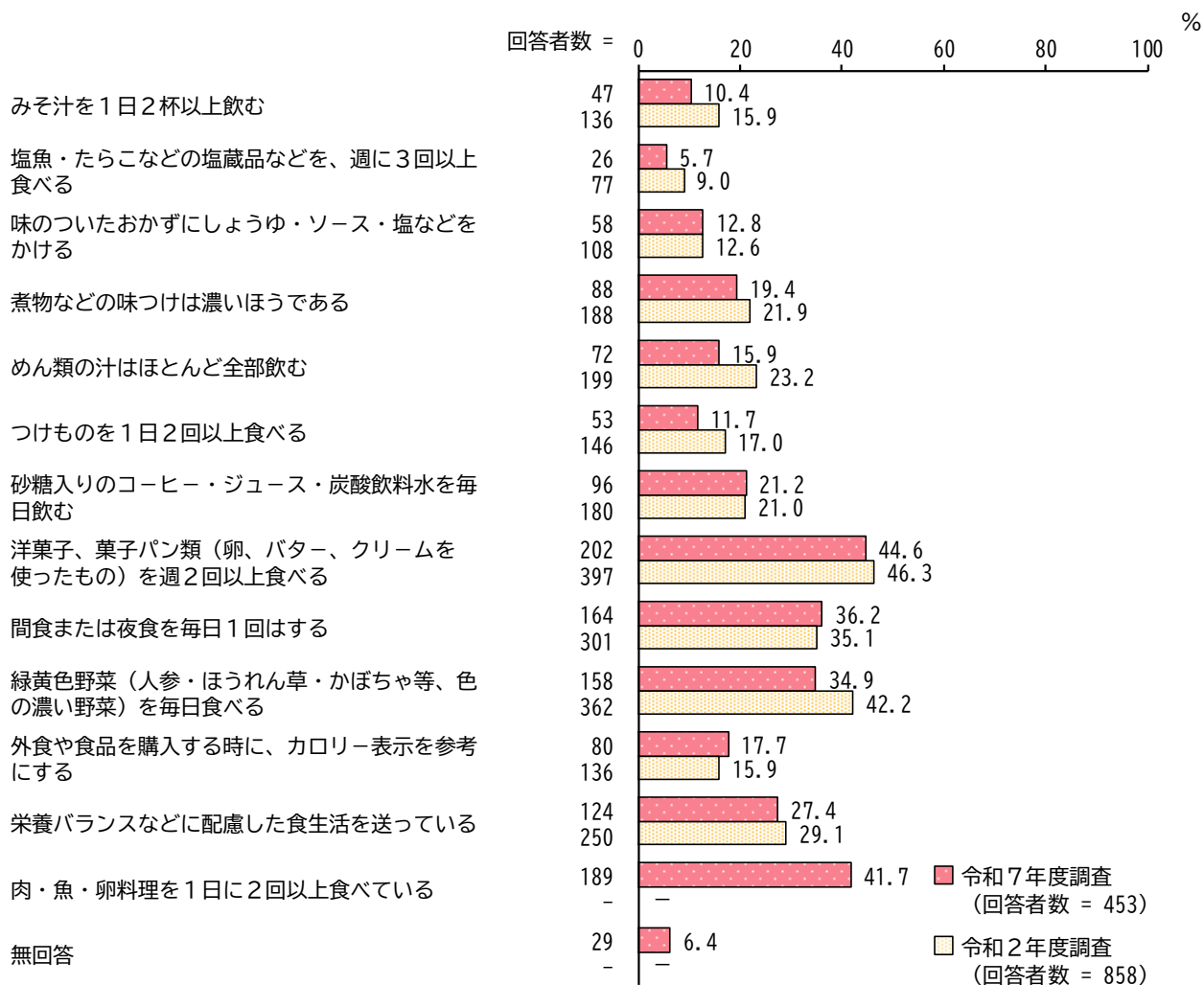


3 食事について

問6 次の中で、あなたに当てはまるものがありますか。(○はいくつでも可)

「洋菓子、菓子パン類（卵、バター、クリームを使ったもの）を週2回以上食べる」の割合が44.6%と最も高く、次いで「肉・魚・卵料理を1日に2回以上食べている」の割合が41.7%、「間食または夜食を毎日1回はする」の割合が36.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「みそ汁を1日2杯以上飲む」「めん類の汁はほとんど全部飲む」「つけものを1日2回以上食べる」等の塩分を多く含む食品を取る人の割合が減少している一方で、「緑黄色野菜（人参・ほうれん草・かぼちゃ等、色の濃い野菜）を毎日食べる」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「肉・魚・卵料理を1日に2回以上食べている」がありませんでした。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「つけものを1日2回以上食べる」の割合が高い傾向にあり、50歳代から70歳以上で「みそ汁を1日2杯以上飲む」の割合が高くなっています。また、30歳代から50歳代で年齢が下がるほど「味のついたおかずにしょうゆ・ソース・塩などをかける」の割合が、50歳代から60歳代で「煮物などの味つけは濃いほうである」の割合が高い傾向にあります。また、30歳代で「外食や食品を購入する時に、カロリー表示を参考にする」、20歳代で「肉・魚・卵料理を1日に2回以上食べている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	みそ汁を1日2杯以上飲む	塩魚・たらこなどの塩蔵品などを、週に3回以上食べる	味のついたおかずにしょうゆ・ソース・塩などをかける	煮物などの味つけは濃いほうである	めん類の汁はほとんど全部飲む	つけものを1日2回以上食べる	砂糖入りのコーヒー・ジュース・炭酸飲料水を毎日飲む
全体	453	10.4	5.7	12.8	19.4	15.9	11.7	21.2
20歳代	31	3.2	3.2	9.7	16.1	12.9	0.0	19.4
30歳代	64	7.8	9.4	17.2	12.5	18.8	4.7	25.0
40歳代	63	7.9	4.8	15.9	17.5	9.5	3.2	22.2
50歳代	69	14.5	7.2	15.9	26.1	14.5	8.7	20.3
60歳代	111	10.8	5.4	11.7	23.4	14.4	12.6	16.2
70歳以上	113	12.4	4.4	8.8	17.7	21.2	24.8	24.8

区分	洋菓子、菓子パン類(卵、バター、クリームを使ったもの)を週2回以上食べる	間食または夜食を毎日1回はする	緑黄色野菜(人参・ほうれん草・かぼちゃ等、色の濃い野菜)を毎日食べる	外食や食品を購入する時に、カロリー表示を参考にする	栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている	肉・魚・卵料理を1日に2回以上食べている	無回答
全体	44.6	36.2	34.9	17.7	27.4	41.7	6.4
20歳代	45.2	41.9	16.1	22.6	29.0	61.3	6.5
30歳代	53.1	42.2	39.1	29.7	26.6	54.7	6.3
40歳代	44.4	25.4	36.5	12.7	31.7	50.8	4.8
50歳代	43.5	40.6	34.8	17.4	29.0	44.9	5.8
60歳代	42.3	36.9	31.5	18.9	26.1	25.2	6.3
70歳以上	43.4	34.5	40.7	10.6	25.7	38.9	7.1

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 20 歳代から 50 歳代で「味のついたおかずにしょうゆ・ソース・塩などをかける」の割合が高くなっています。また、男性 20 歳代で「煮物などの味つけは濃いほうである」、男性 30 歳代で「めん類の汁はほとんど全部飲む」、女性 30 歳代で「洋菓子、菓子パン類（卵、バター、クリームを使ったもの）を週 2 回以上食べる」「外食や食品を購入する時に、カロリー表示を参考にする」の割合が最も高く、「つけものを 1 日 2 回以上食べる」の割合は男女ともに 70 歳以上で最も高くなっています。

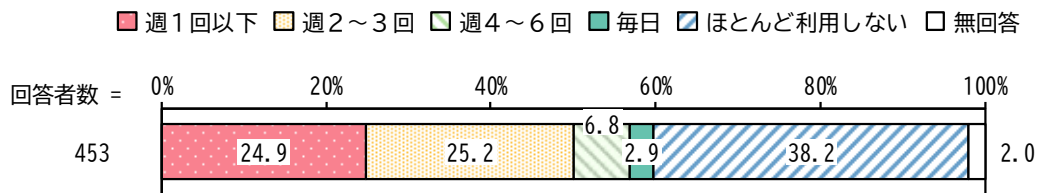
単位：%

区分	回答者数(件)	みそ汁を1日2杯以上飲む	塩魚・たらこなどの塩蔵品などを、週に3回以上食べる	味のついたおかずにしょうゆ・ソース・塩などをかける	煮物などの味つけは濃いほうである	めん類の汁はほとんど全部飲む	つけものを1日2回以上食べる	砂糖入りのコーヒー・ジュース・炭酸飲料水を毎日飲む
全体	453	10.4	5.7	12.8	19.4	15.9	11.7	21.2
男性 20歳代	13	7.7	7.7	23.1	38.5	23.1	0.0	23.1
30歳代	23	8.7	8.7	26.1	8.7	39.1	0.0	21.7
40歳代	29	3.4	3.4	24.1	20.7	20.7	3.4	24.1
50歳代	30	16.7	10.0	23.3	23.3	20.0	10.0	30.0
60歳代	58	13.8	5.2	17.2	20.7	24.1	8.6	19.0
70歳以上	53	11.3	3.8	11.3	17.0	28.3	22.6	28.3
女性 20歳代	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7
30歳代	37	8.1	10.8	13.5	13.5	5.4	8.1	24.3
40歳代	34	11.8	5.9	8.8	14.7	0.0	2.9	20.6
50歳代	38	13.2	5.3	10.5	26.3	10.5	5.3	13.2
60歳代	53	7.5	5.7	5.7	26.4	3.8	17.0	13.2
70歳以上	56	12.5	3.6	7.1	16.1	16.1	28.6	21.4

区分	洋菓子、菓子パン類（卵、バター、クリームを使ったもの）を週2回以上食べる	間食または夜食を毎日1回はする	緑黄色野菜（人参・ほうれん草・かぼちゃ等、色の濃い野菜）を毎日食べる	外食や食品を購入する時に、カロリー表示を参考にする	栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている	肉・魚・卵料理を1日に2回以上食べている	無回答
全体	44.6	36.2	34.9	17.7	27.4	41.7	6.4
男性 20歳代	38.5	30.8	7.7	15.4	23.1	61.5	7.7
30歳代	43.5	43.5	30.4	21.7	26.1	43.5	8.7
40歳代	41.4	10.3	37.9	6.9	27.6	37.9	3.4
50歳代	26.7	20.0	23.3	10.0	20.0	36.7	10.0
60歳代	34.5	25.9	24.1	13.8	22.4	20.7	10.3
70歳以上	49.1	39.6	34.0	3.8	26.4	30.2	5.7
女性 20歳代	50.0	50.0	22.2	27.8	33.3	61.1	5.6
30歳代	62.2	40.5	43.2	32.4	24.3	59.5	5.4
40歳代	47.1	38.2	35.3	17.6	35.3	61.8	5.9
50歳代	55.3	55.3	44.7	23.7	36.8	50.0	2.6
60歳代	50.9	49.1	39.6	24.5	30.2	30.2	1.9
70歳以上	35.7	30.4	48.2	16.1	25.0	44.6	8.9

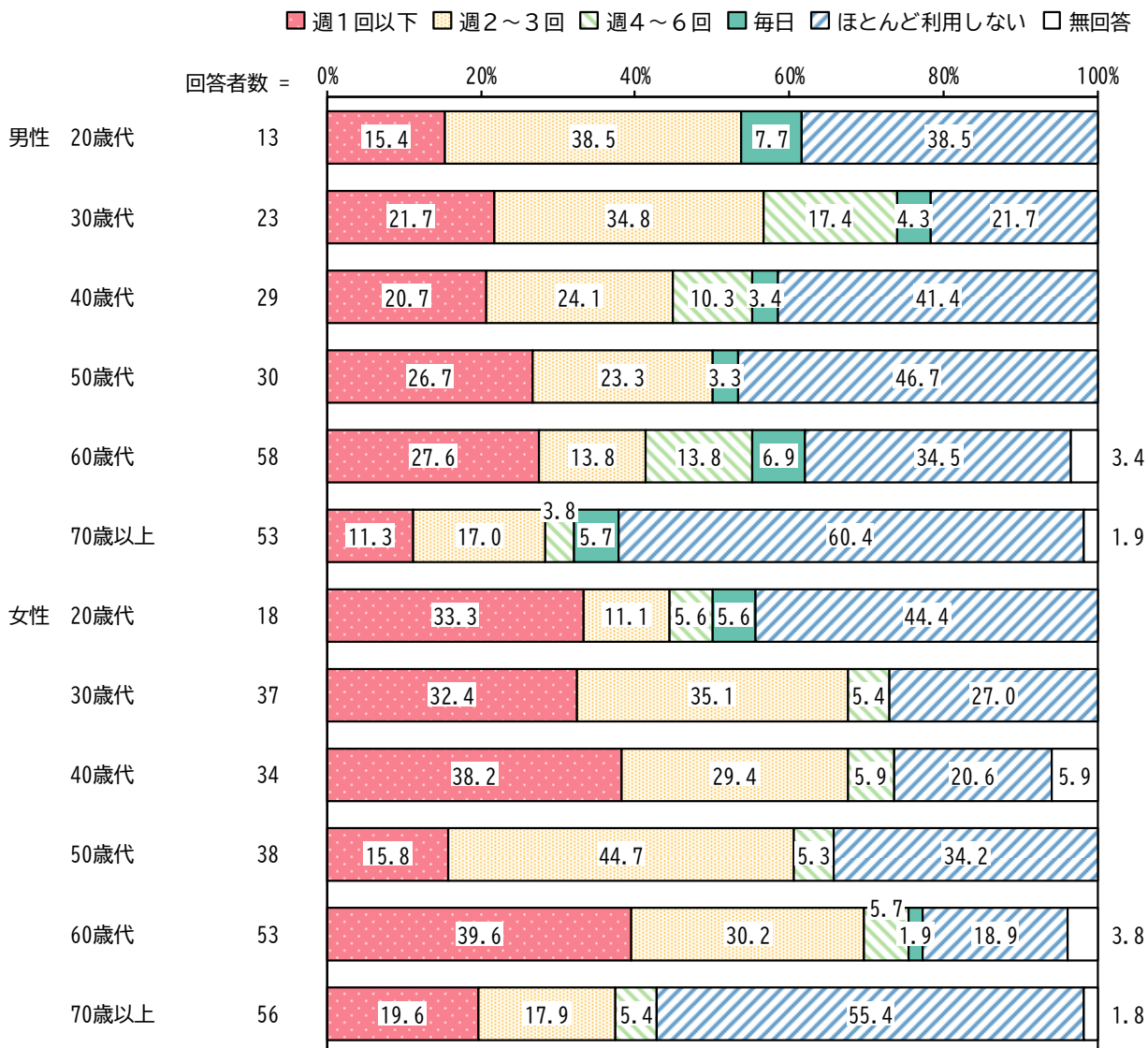
問7 持ち帰りの弁当や惣菜を利用する頻度はどれくらいありますか。

「ほとんど利用しない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が25.2%、「週1回以下」の割合が24.9%となっています。



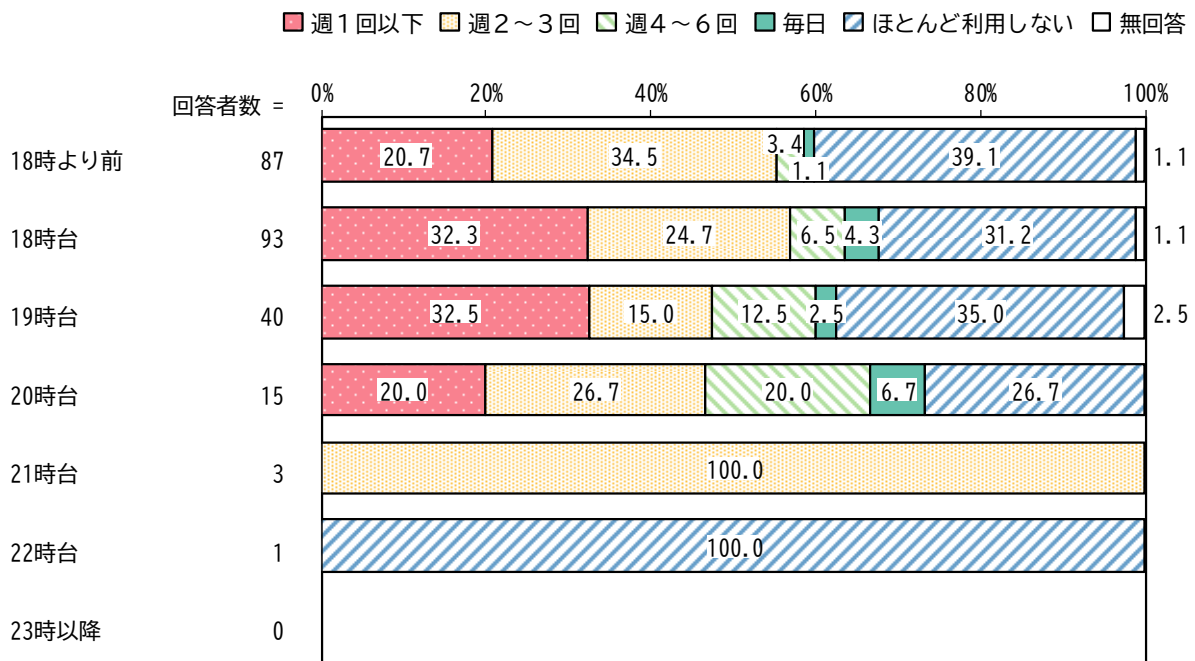
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性40歳代、60歳代で「週1回以下」、女性50歳代で「週2～3回」、男女ともに70歳以上で「ほとんど利用しない」の割合が高くなっています。



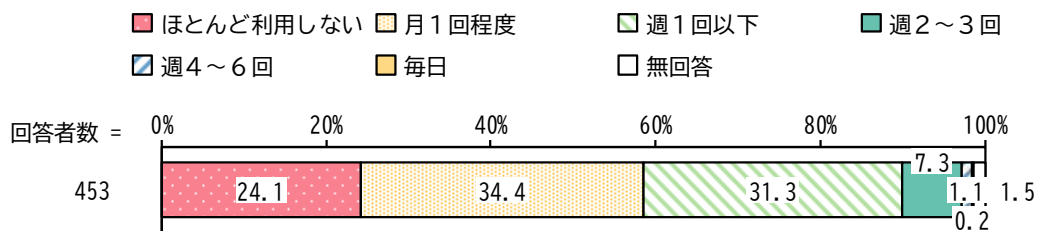
【帰宅時間別】

帰宅時間別にみると、18時より前で「ほとんど利用しない」、18時台から20時台で帰宅時間が遅くなるほど「週4～6回」の割合が高くなっています。



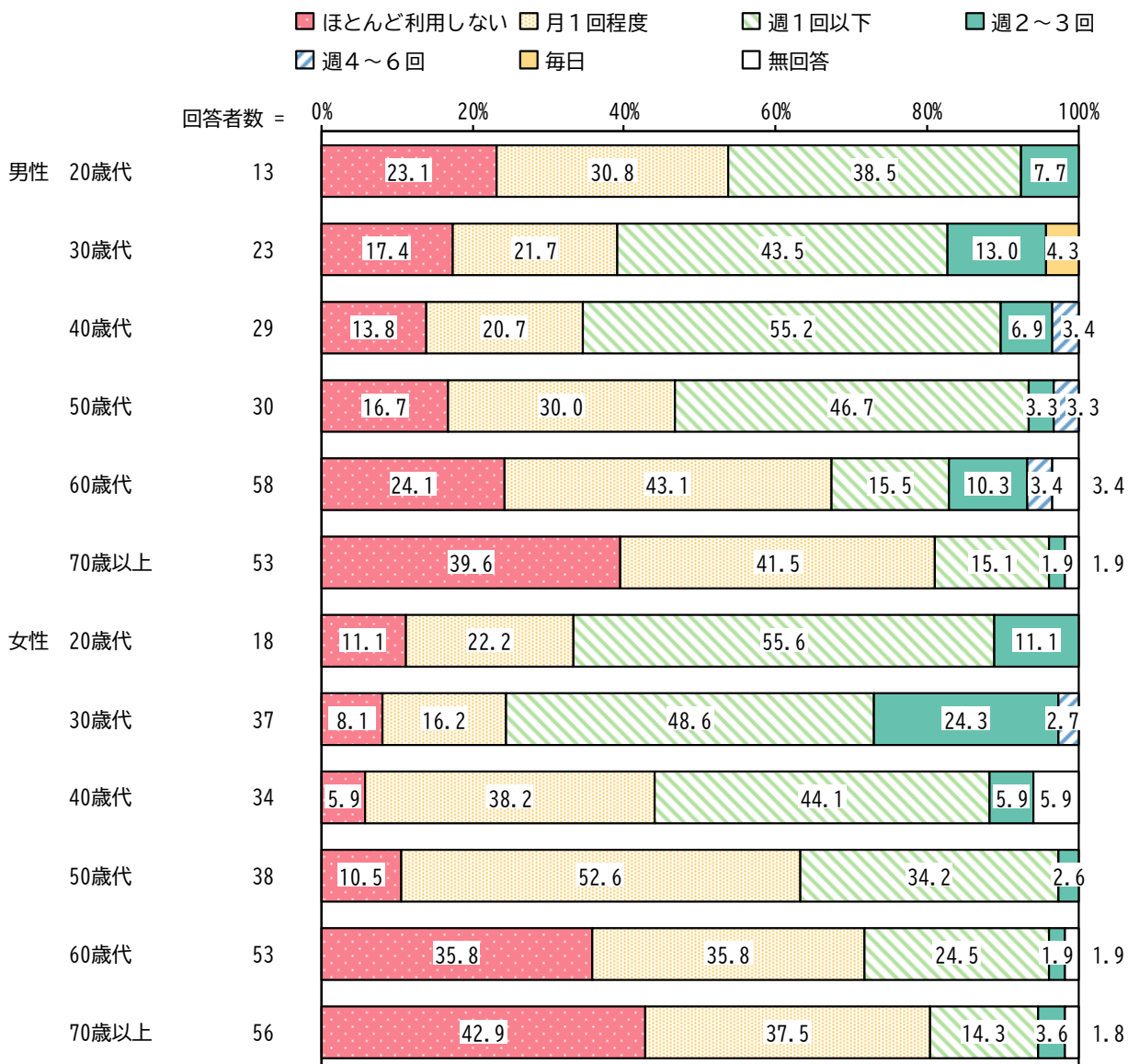
問8 外食（飲食店での食事）を利用する頻度はどれくらいありますか。

「月1回程度」の割合が34.4%と最も高く、次いで「週1回以下」の割合が31.3%、「ほとんど利用しない」の割合が24.1%となっています。



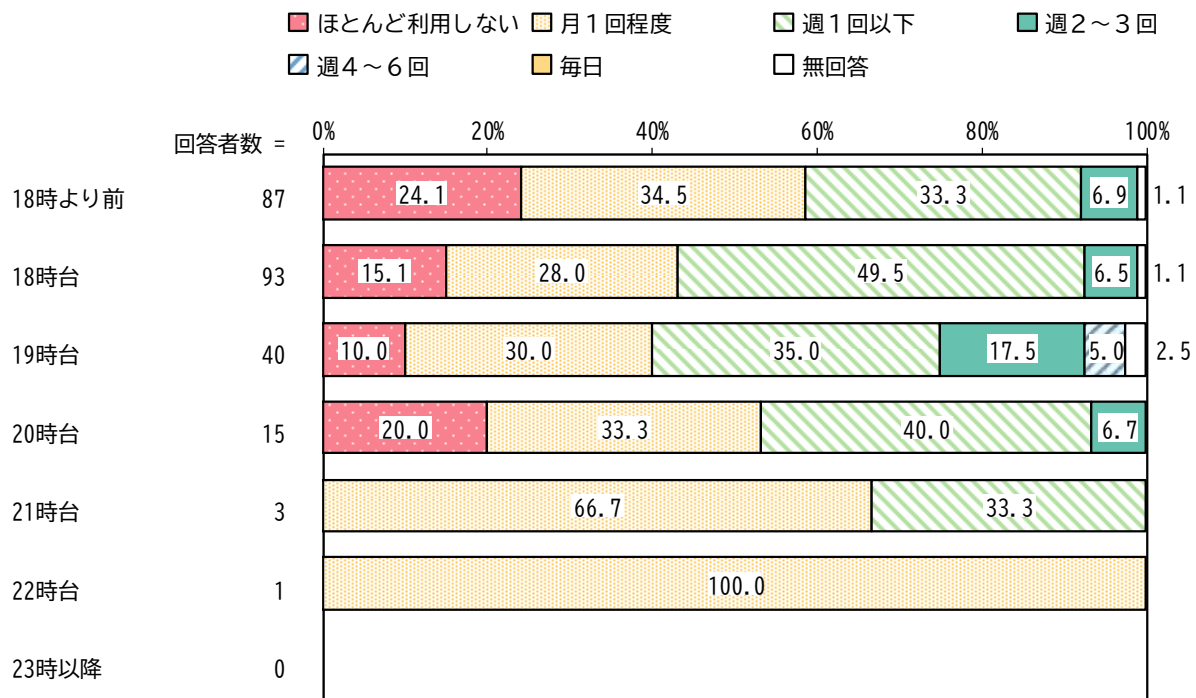
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「週1回以下」の割合が低くなっています。



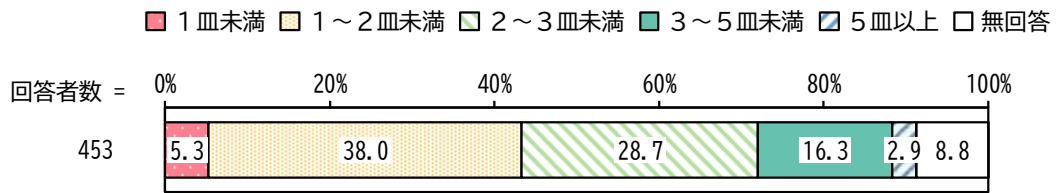
【帰宅時間別】

帰宅時間別にみると、18時台から22時台で帰宅時間が遅くなるほど「月1回程度」の割合が高くなっています。



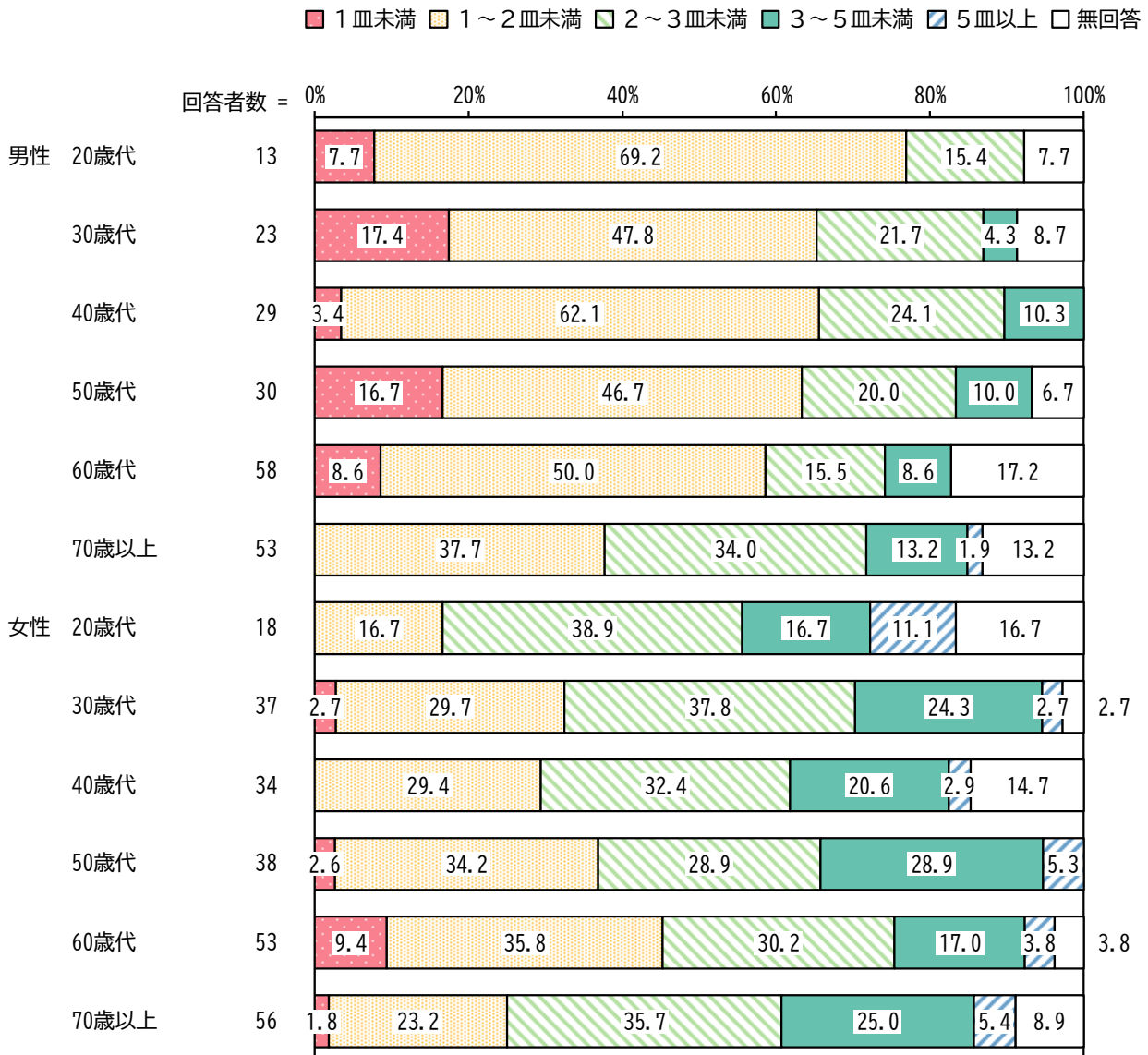
問9 野菜料理を平均で1日何皿くらい食べていますか。

「1～2皿未満」の割合が38.0%と最も高く、次いで「2～3皿未満」の割合が28.7%、「3～5皿未満」の割合が16.3%となっています。



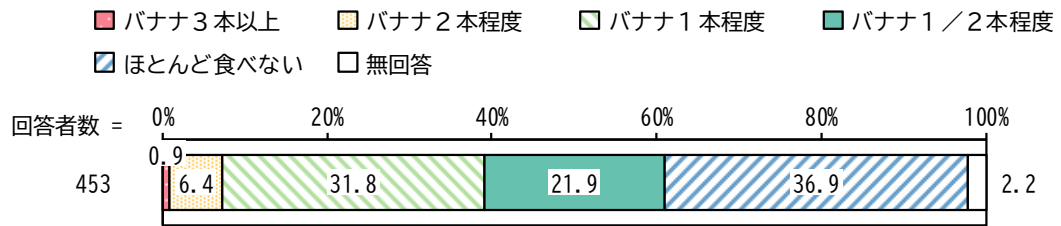
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性30歳代、50歳代で「1皿未満」、男性20歳代、40歳代で「1～2皿未満」、女性20歳代、30歳代で「2～3皿未満」、女性50歳代で「3～5皿未満」の割合が高くなっています。



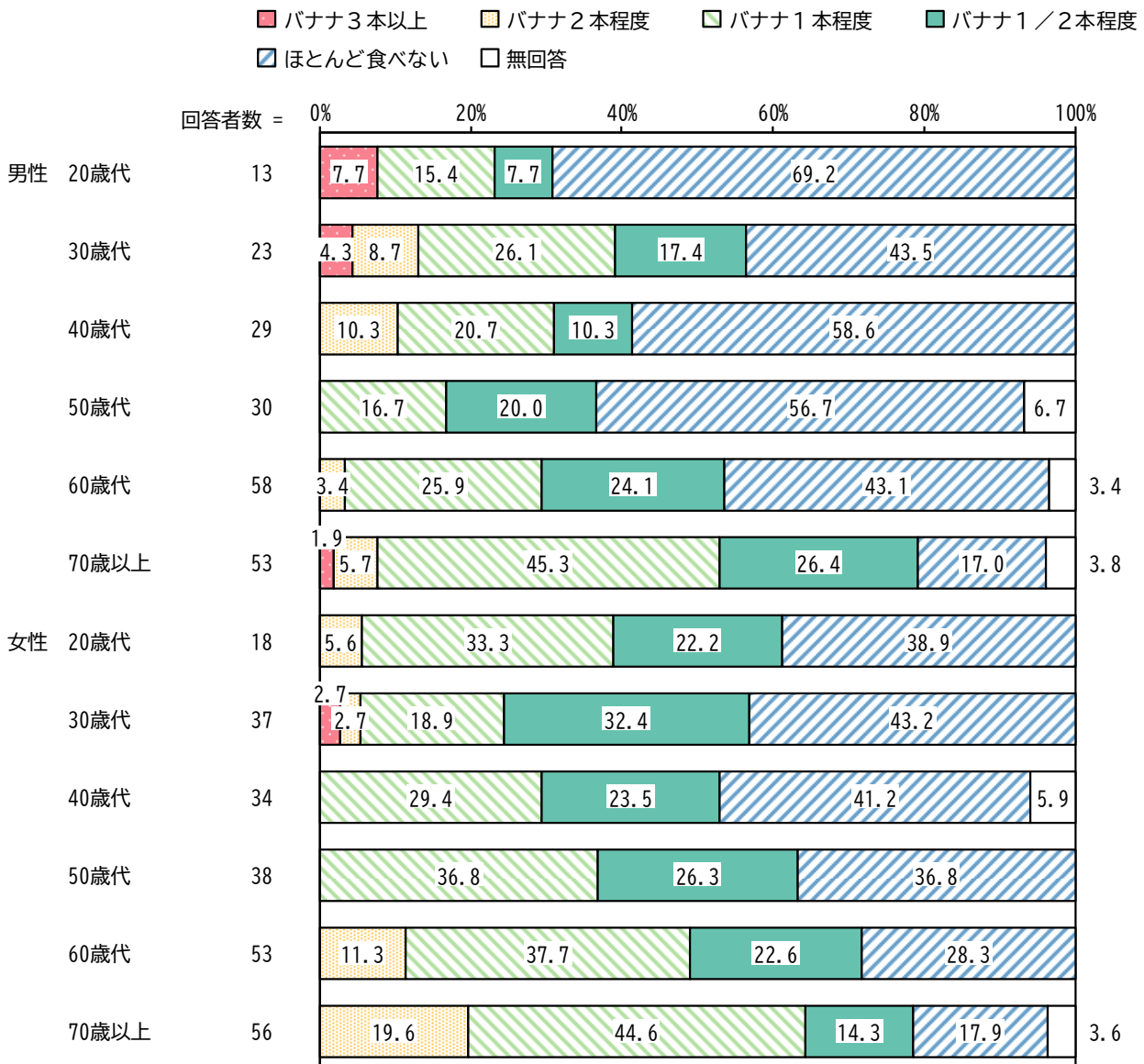
問 10 果物を 1 日にどの程度食べていますか。(果物の量をバナナに換算してください。)

「ほとんど食べない」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「バナナ 1 本程度」の割合が 31.8%、「バナナ 1 / 2 本程度」の割合が 21.9%となっています。



【性・年齢別】

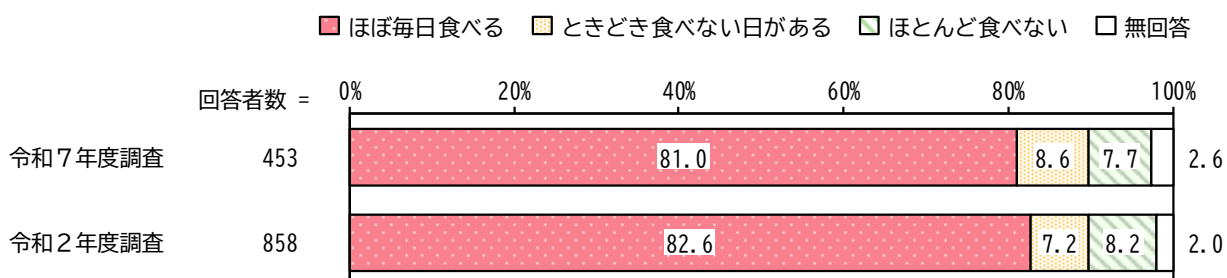
性・年齢別にみると、男女ともに 70 歳以上で「バナナ 1 本程度」、女性 30 歳代で「バナナ 1 / 2 本程度」、男性 20 歳代で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。



問 11 朝食は毎日食べていますか。

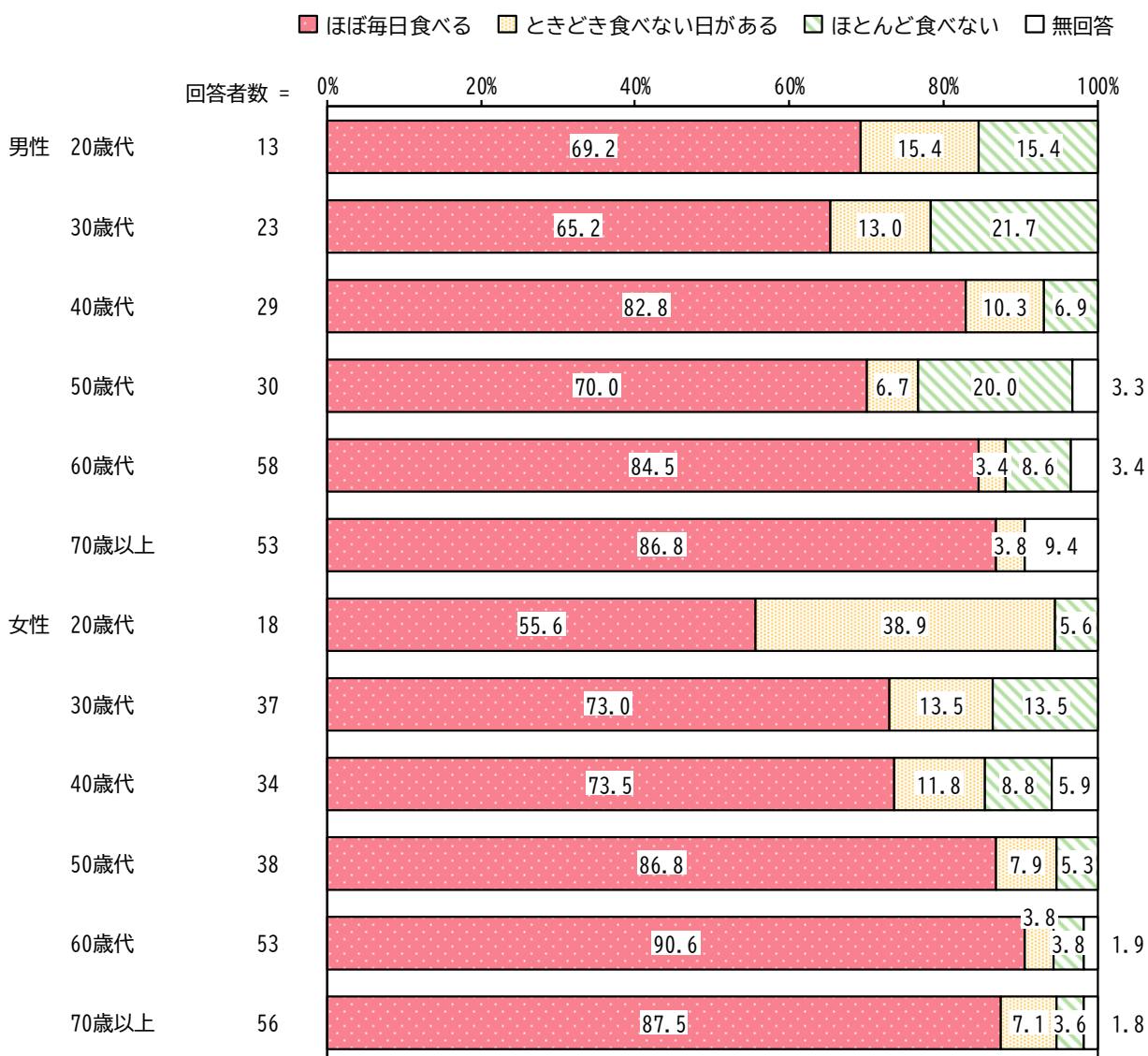
「ほぼ毎日食べる」の割合が 81.0%、「ときどき食べない日がある」の割合が 8.6%、「ほとんど食べない」の割合が 7.7%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20 歳代で「ときどき食べない日がある」、男性 30 歳代、50 歳代で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。

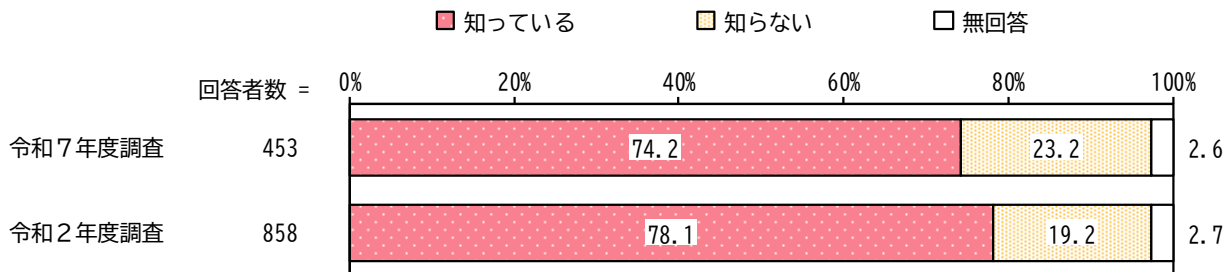


4 たばこ・アルコールについて

問12 健康増進法が令和2年4月1日より全面施行され、施設や事業所は種類に応じて原則敷地内禁煙又は屋内禁煙が義務付けられましたが知っていますか。

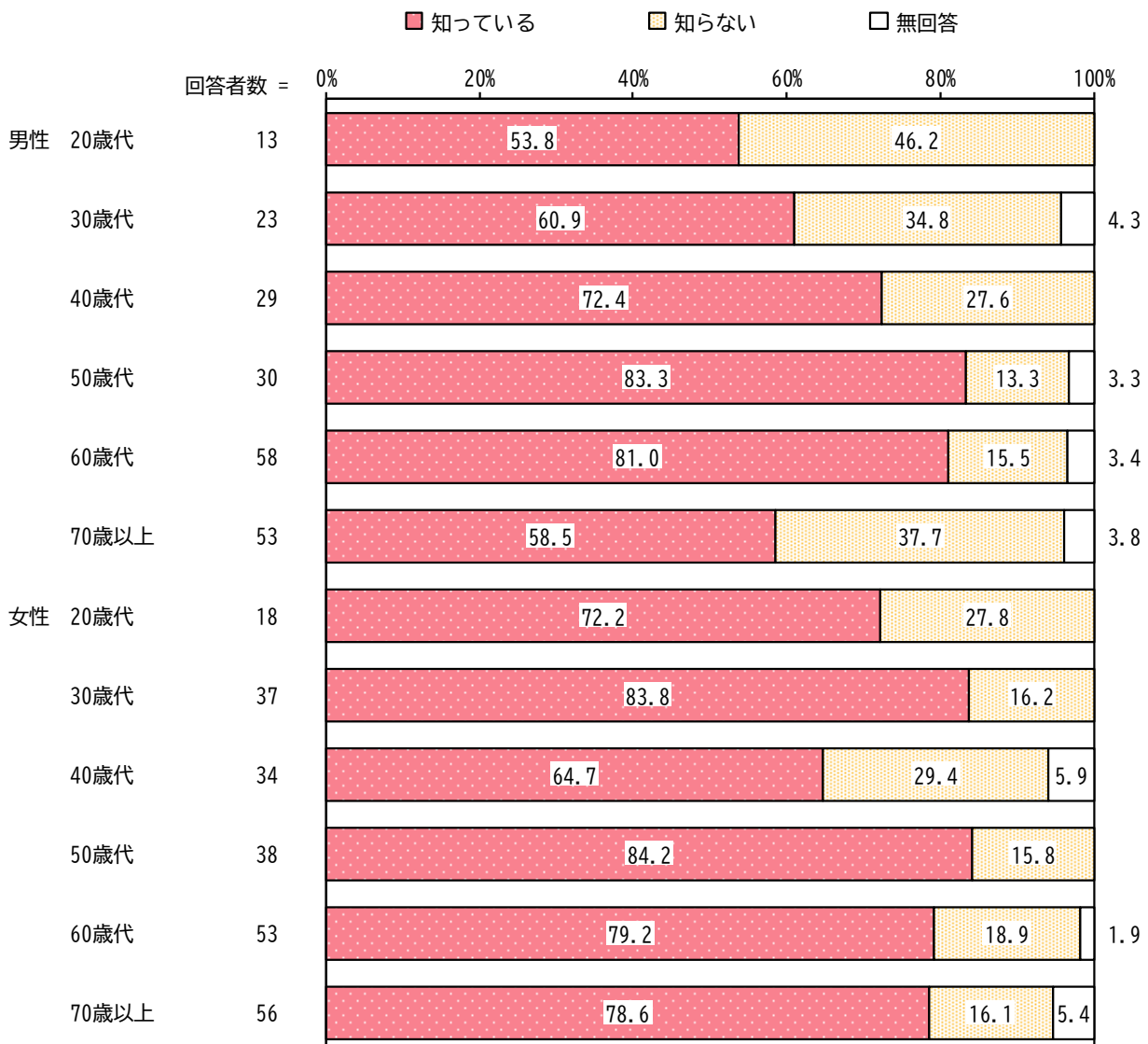
「知っている」の割合が74.2%、「知らない」の割合が23.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

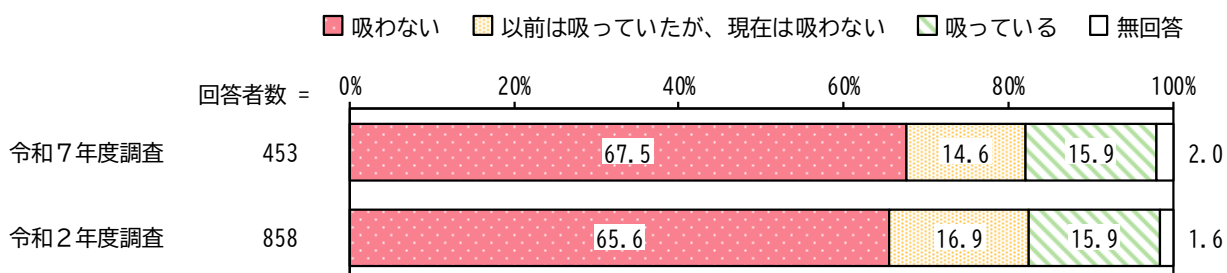
性・年齢別にみると、女性50歳代で「知っている」、男性20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



問13 現在、たばこ（加熱式たばこを含む）を吸っていますか。

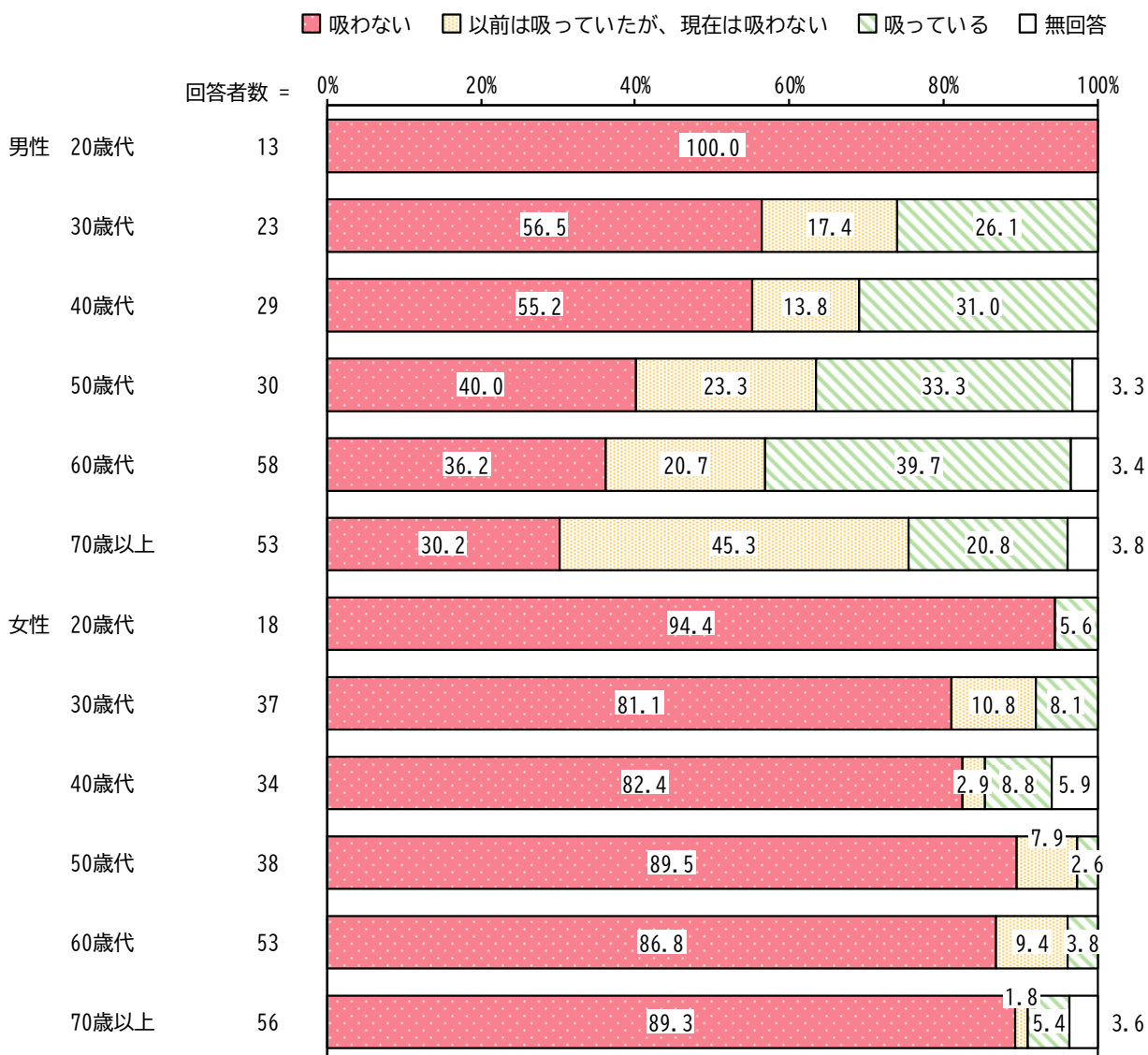
「吸わない」の割合が67.5%、「以前は吸っていたが、現在は吸わない」の割合が14.6%、「吸っている」の割合が15.9%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が下がるほど「吸わない」の割合が高くなっています。また、男性70歳以上で「以前は吸っていたが、現在は吸わない」、男性30歳代から60歳代で「吸っている」の割合が高くなっています。

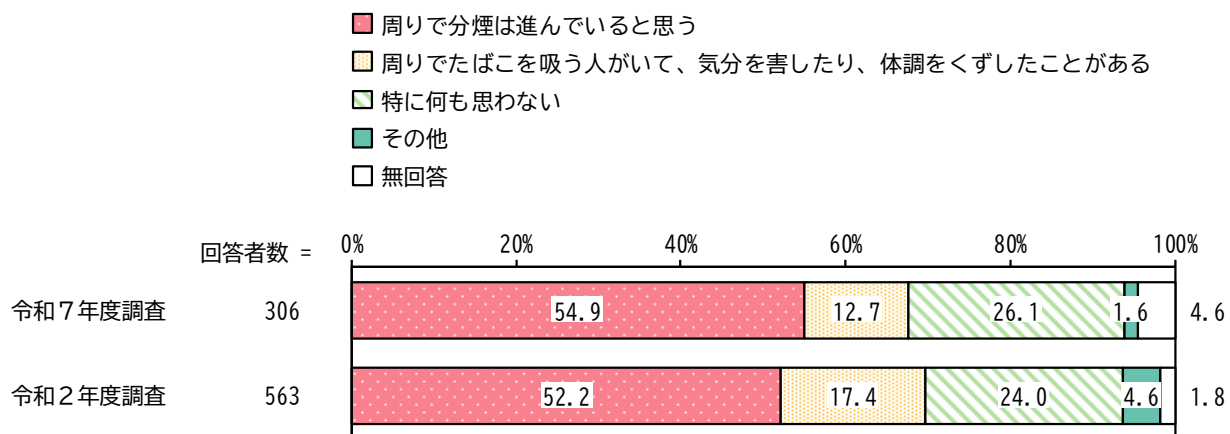


◆問 13 で「吸わない」と回答された方にお聞きします。

次の中であてはまるものがありますか。

「周りで分煙は進んでいると思う」の割合が 54.9%、「周りでたばこを吸う人がいて、気分を書したり、体調をくずしたことがある」の割合が 12.7%、「特に何も思わない」の割合が 26.1%となっています。

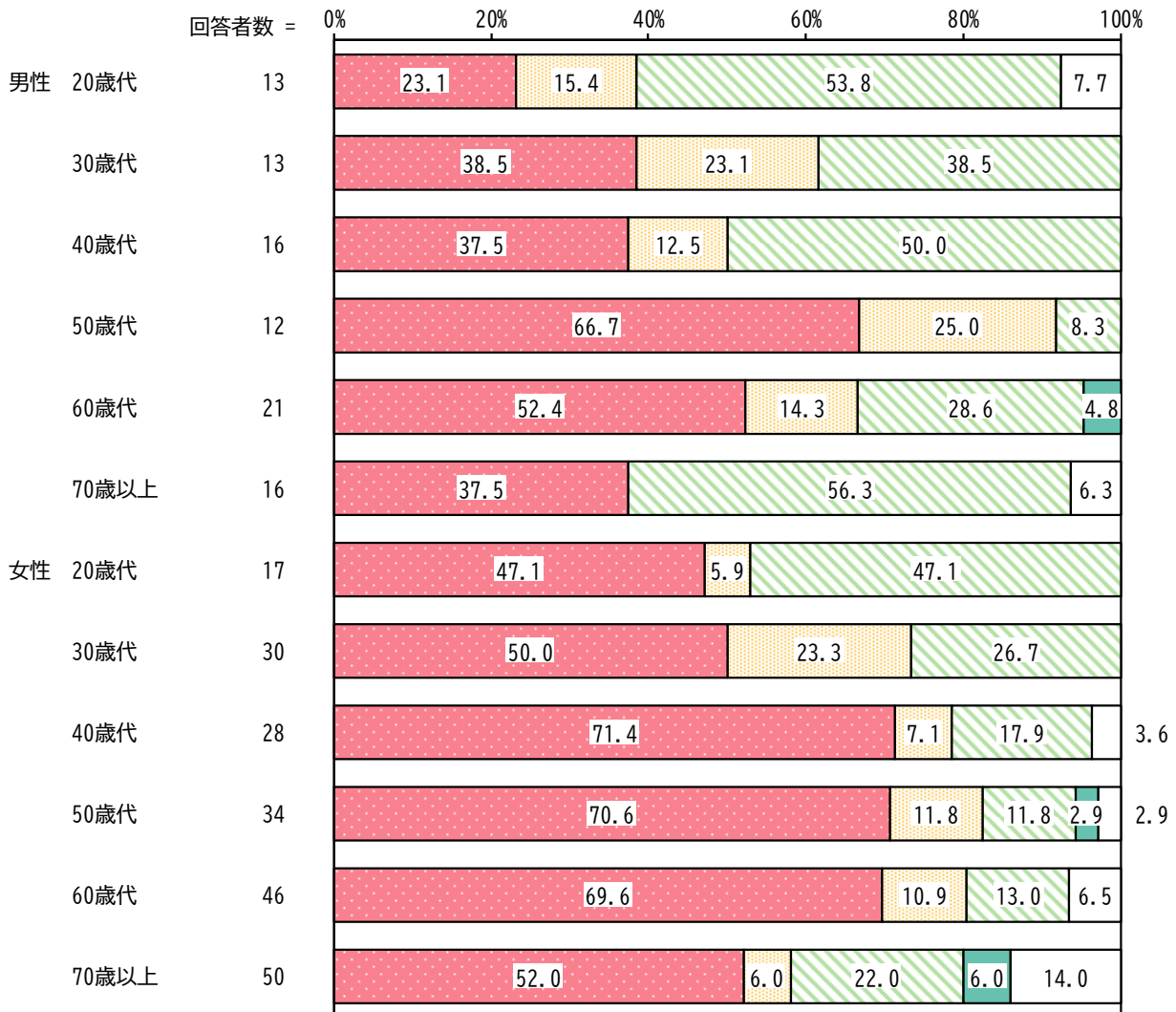
令和 2 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 50 歳代、女性 40 歳代、50 歳代、60 歳代で「周りで分煙は進んでいると思う」、男性 30 歳代、50 歳代、女性 30 歳代で「周りでたばこを吸う人がいて、気分を害したり、体調をくずしたことがある」、男性 20 歳代、70 歳以上で「特に何も思わない」の割合が高くなっています。

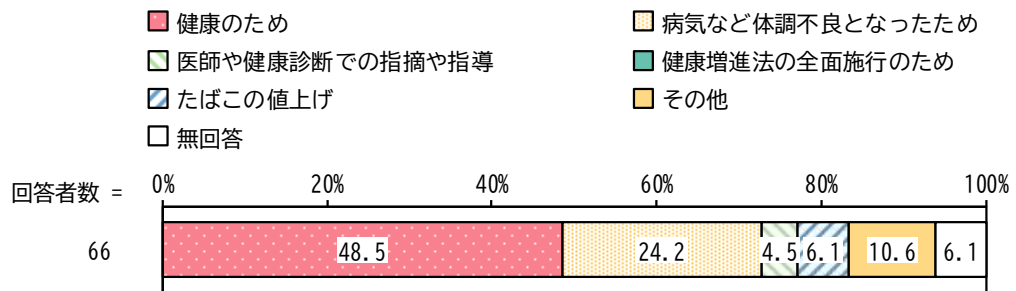
- 周りで分煙は進んでいると思う
- 周りでたばこを吸う人がいて、気分を害したり、体調をくずしたことがある
- 特に何も思わない
- その他
- 無回答



◆問 13 で「以前は吸っていたが、現在は吸わない」と回答された方にお聞きします。

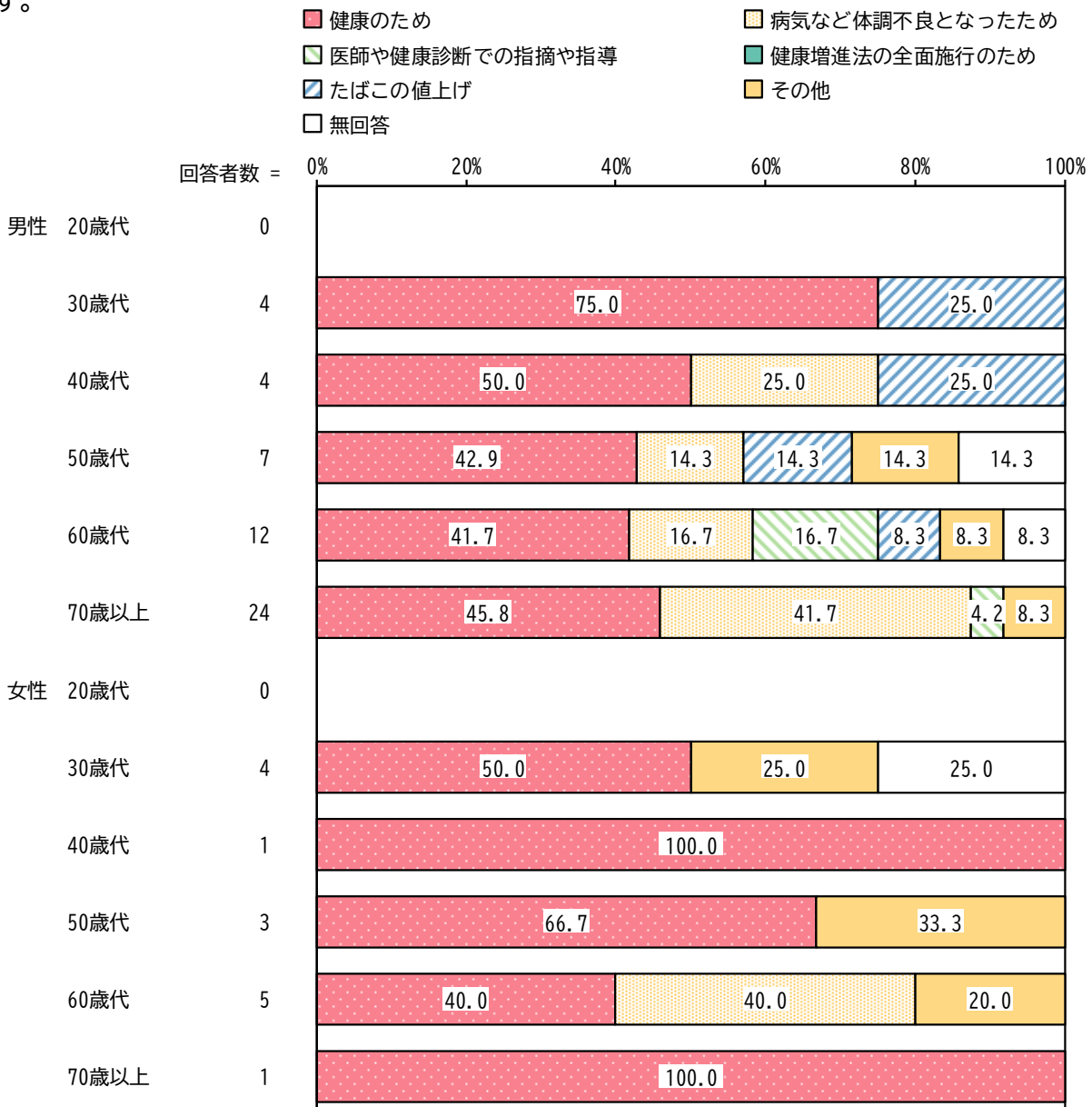
禁煙のきっかけは何ですか。

「健康のため」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「病気など体調不良となったため」の割合が 24.2%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70 歳以上で「病気など体調不良となったため」の割合が高くなっています。

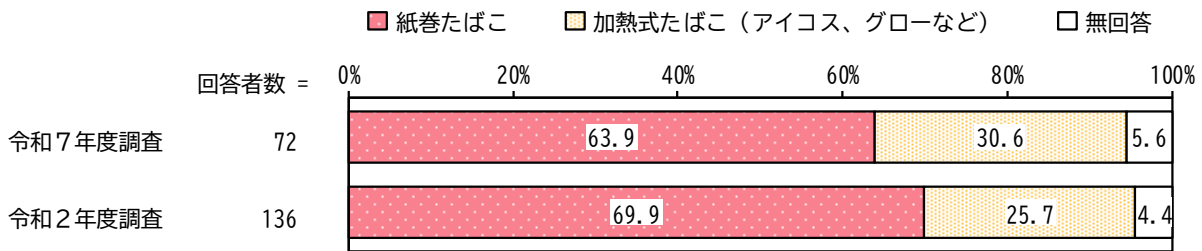


◆問 13 で「吸っている」と回答された方にお聞きます。

吸っているたばこの種類は何ですか。

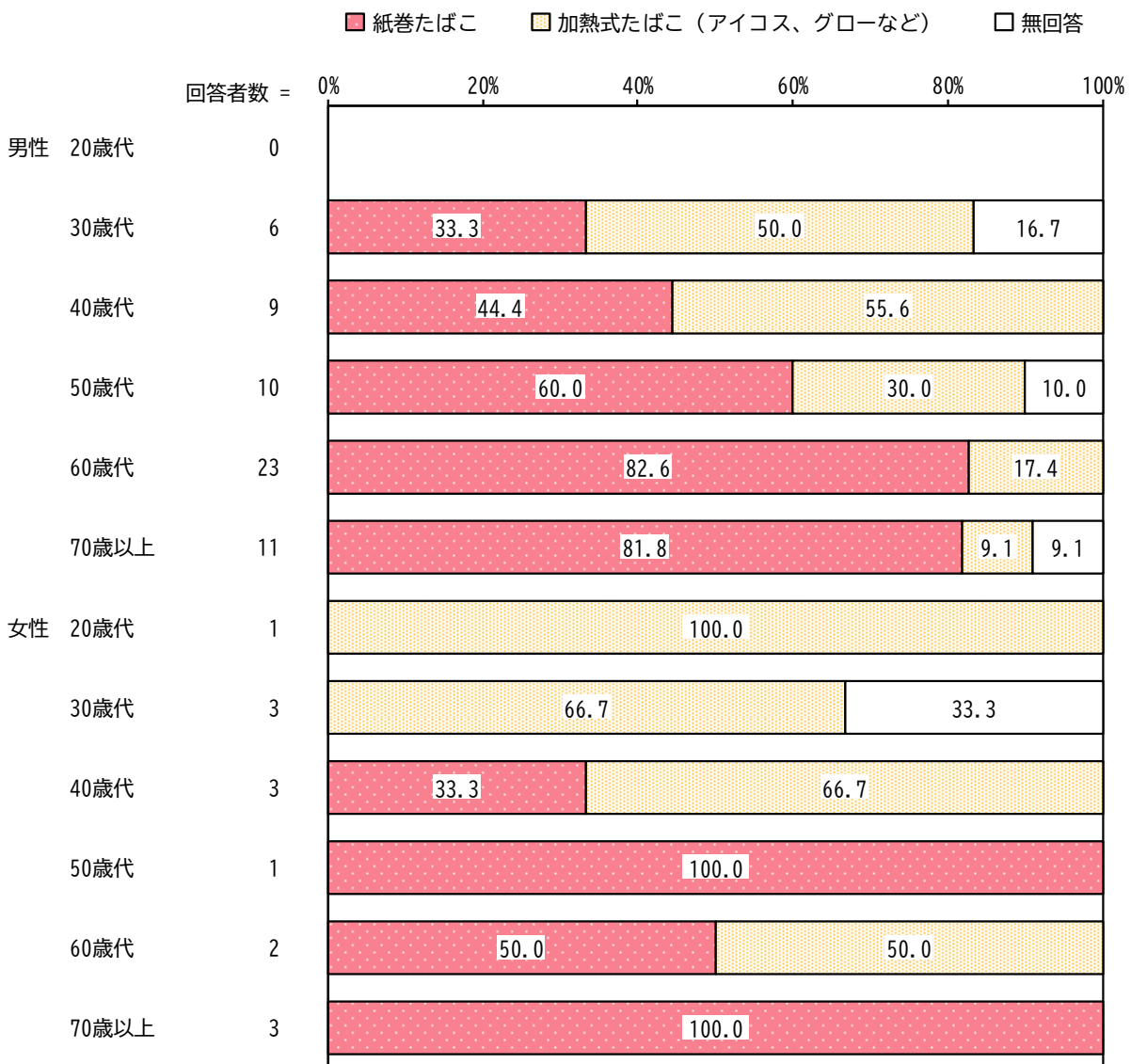
「紙巻たばこ」の割合が 63.9%、「加熱式たばこ（アイコス、グローなど）」の割合が 30.6%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「加熱式たばこ（アイコス、グローなど）」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

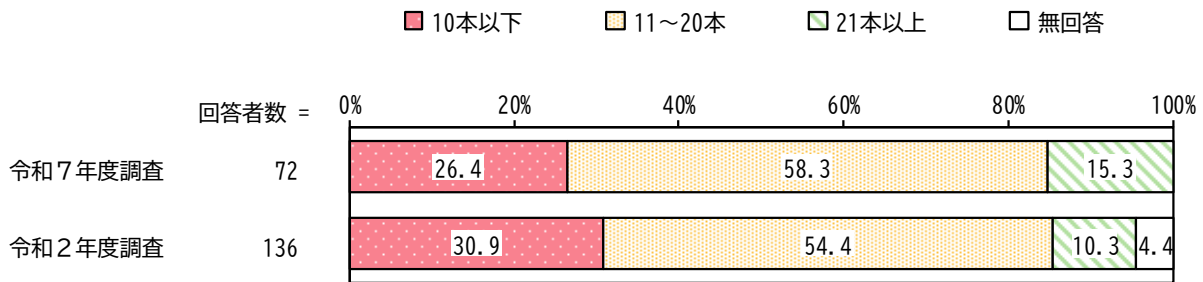
性・年齢別にみると、男性 60 歳代、70 歳以上で「紙巻たばこ」の割合が高くなっています。



1日に何本吸いますか。

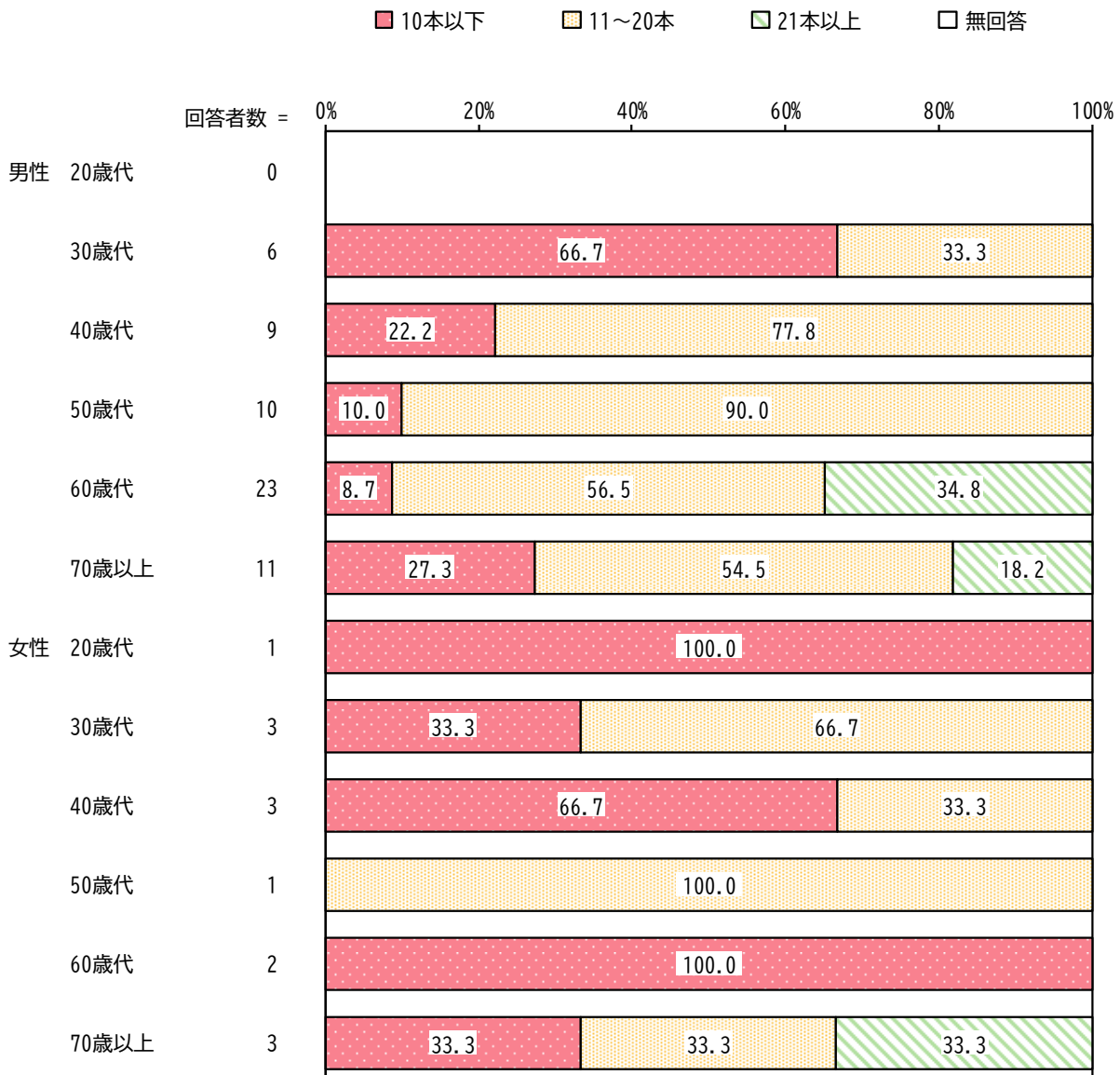
「10本以下」の割合が26.4%、「11～20本」の割合が58.3%、「21本以上」の割合が15.3%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「21本以上」の割合が増加しています。



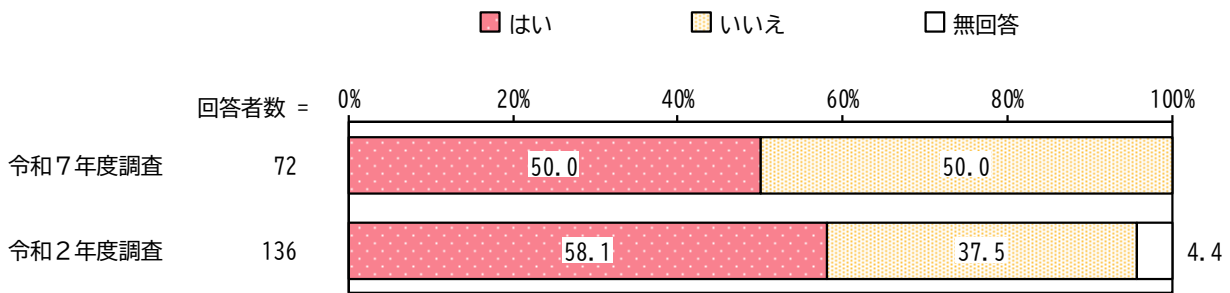
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性50歳代で「11～20本」、60歳代で「21本以上」の割合が高くなっています。



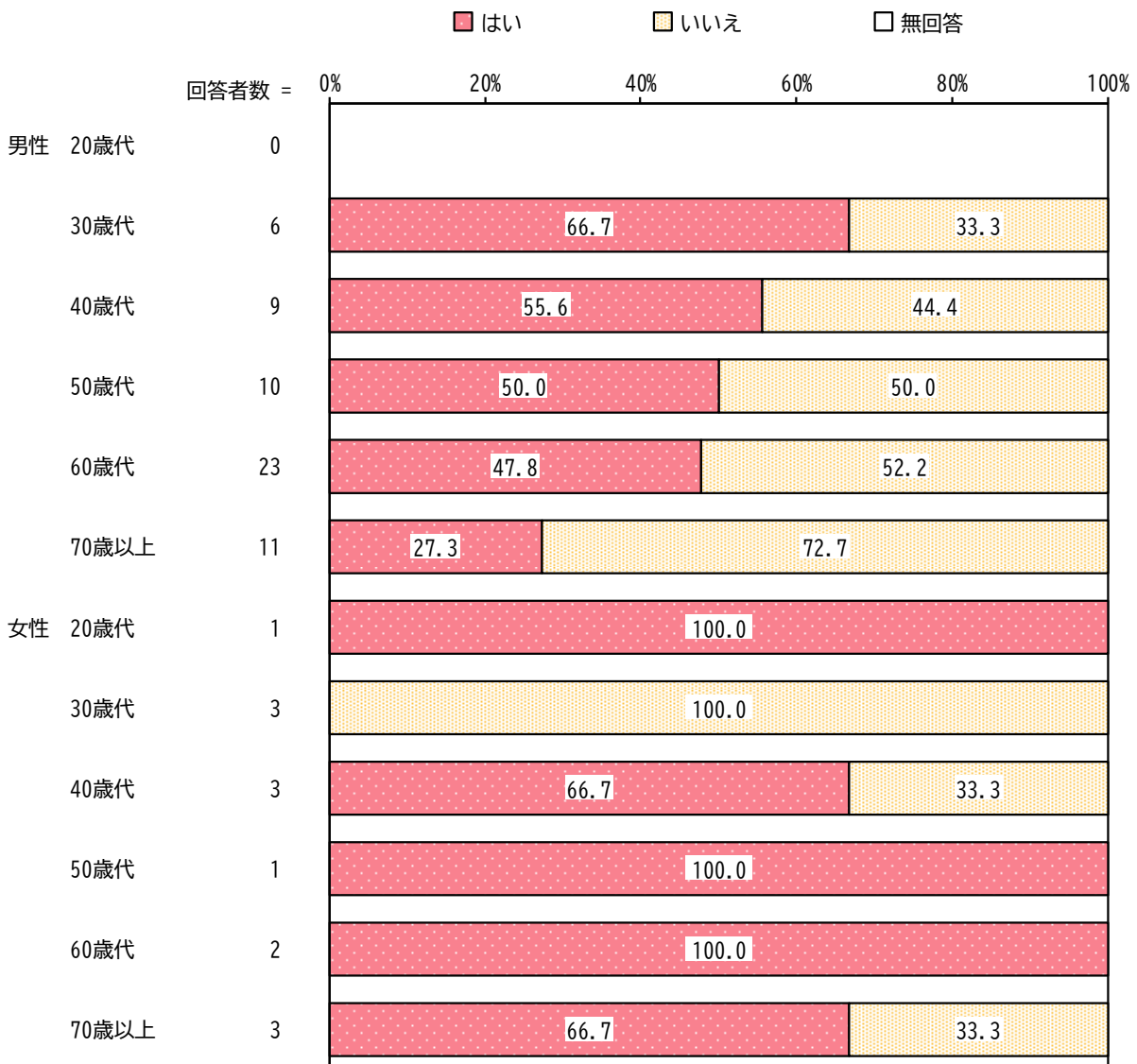
禁煙に関心がありますか。

「はい」、「いいえ」の割合が 50.0%となっています。
 令和2年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。

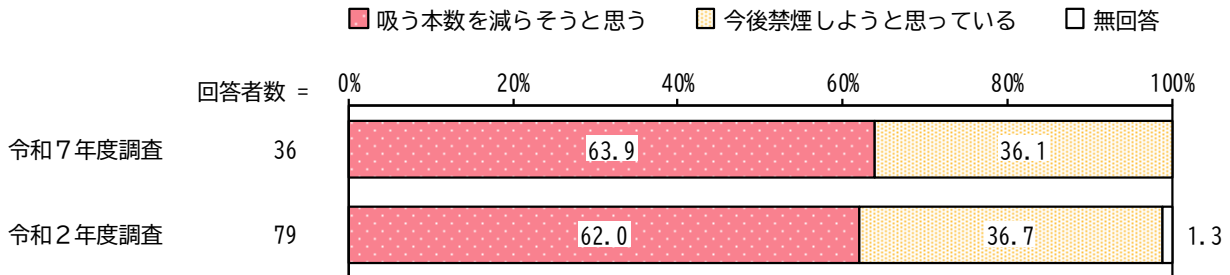


●「はい」と回答された方にお聞きします

次の中であなたにあてはまるものはどれですか。

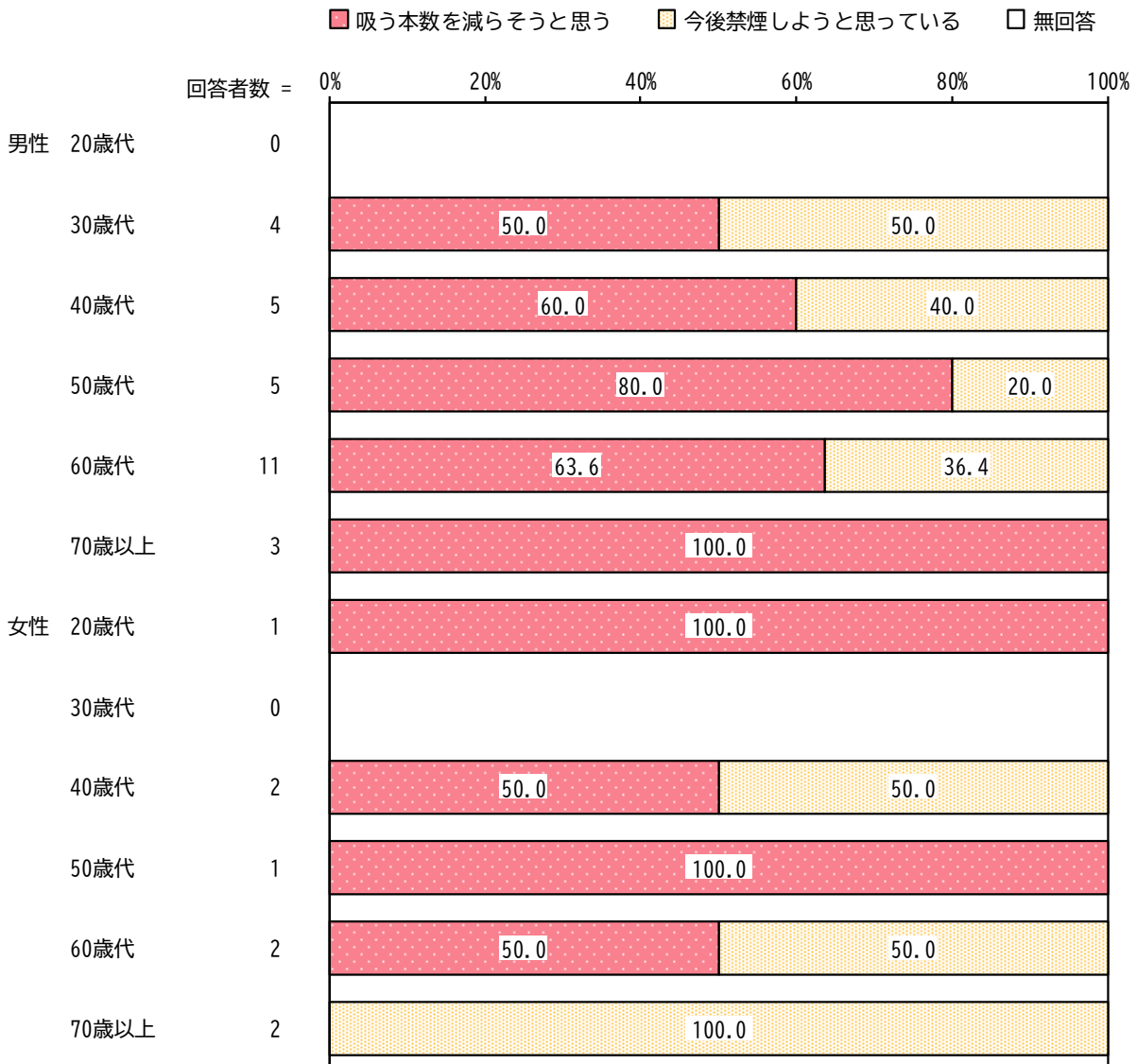
「吸う本数を減らそうと思う」の割合が 63.9%、「今後禁煙しようと思っている」の割合が 36.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



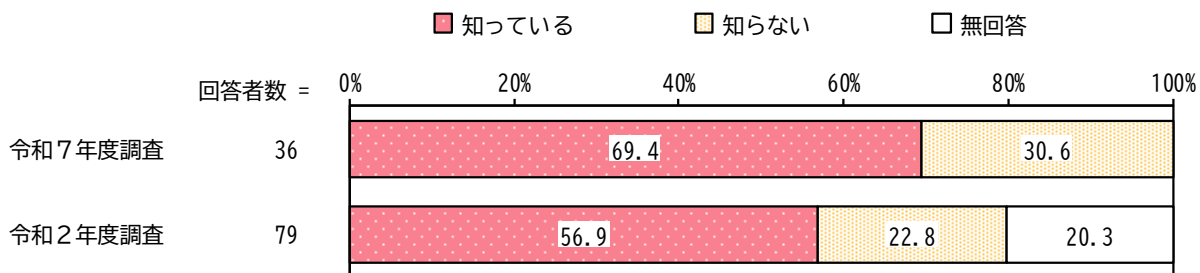
【性・年齢別】

有効回答数が少ないため、割合を示すことができません。



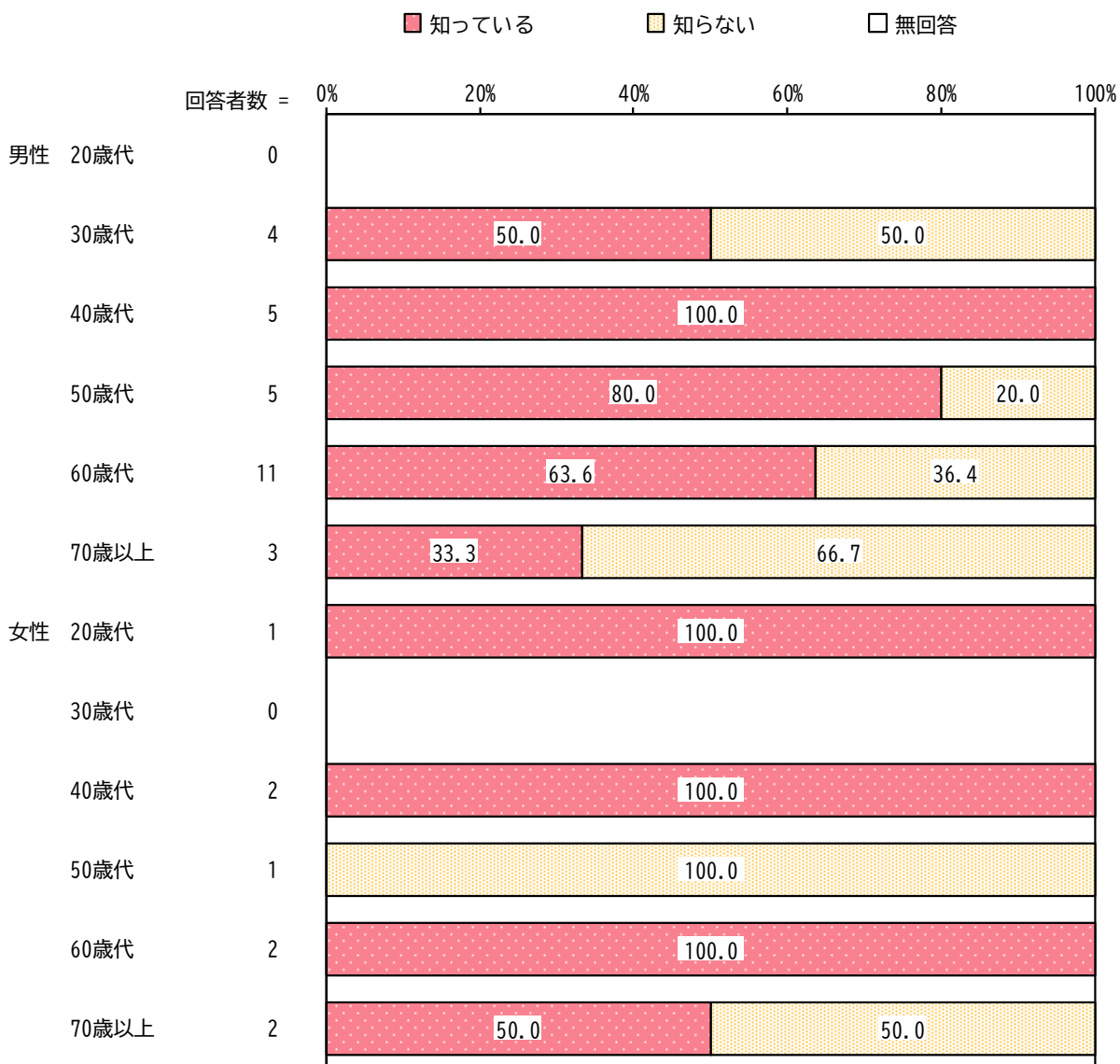
健康保険が使える禁煙外来があることを知っていますか。

「知っている」の割合が69.4%、「知らない」の割合が30.6%となっています。
 令和2年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

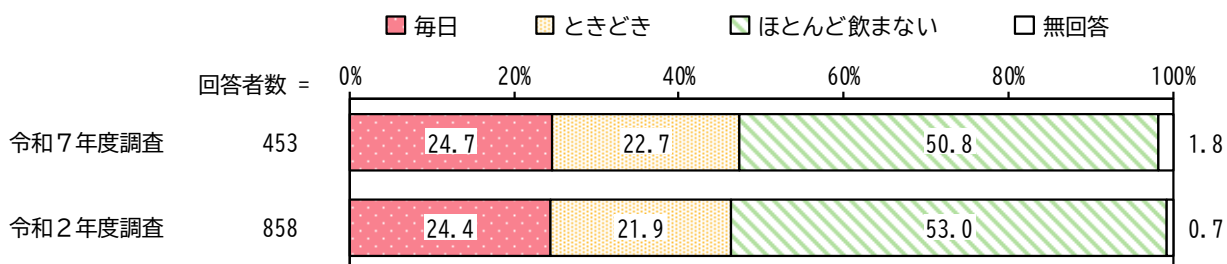
有効回答数が少ないため、割合を示すことができません。



問 14 お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度はどれくらいですか。

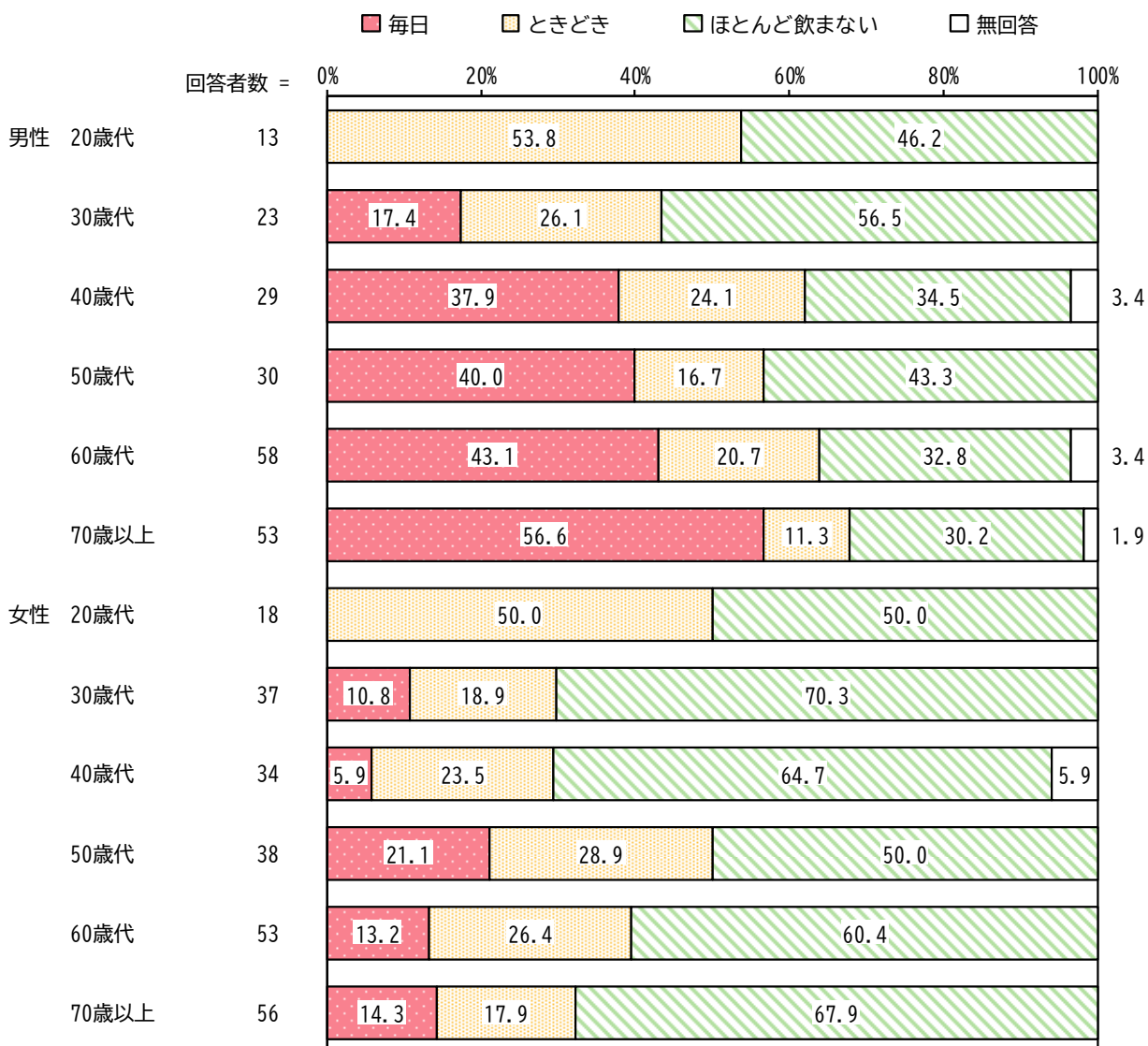
「毎日」の割合が 24.7%、「ときどき」の割合が 22.7%、「ほとんど飲まない」の割合が 50.8%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

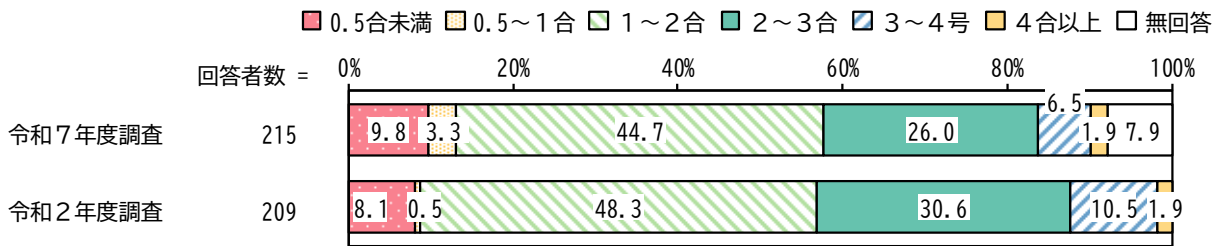
性・年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「毎日」の割合が高くなっています。



一日当たりの飲酒量（合）

「1～2合」の割合が44.7%と最も高く、次いで「2～3合」の割合が26.0%、「0.5合未満」の割合が9.8%となっています。2合以上飲酒する人の割合は34.4%となっています。

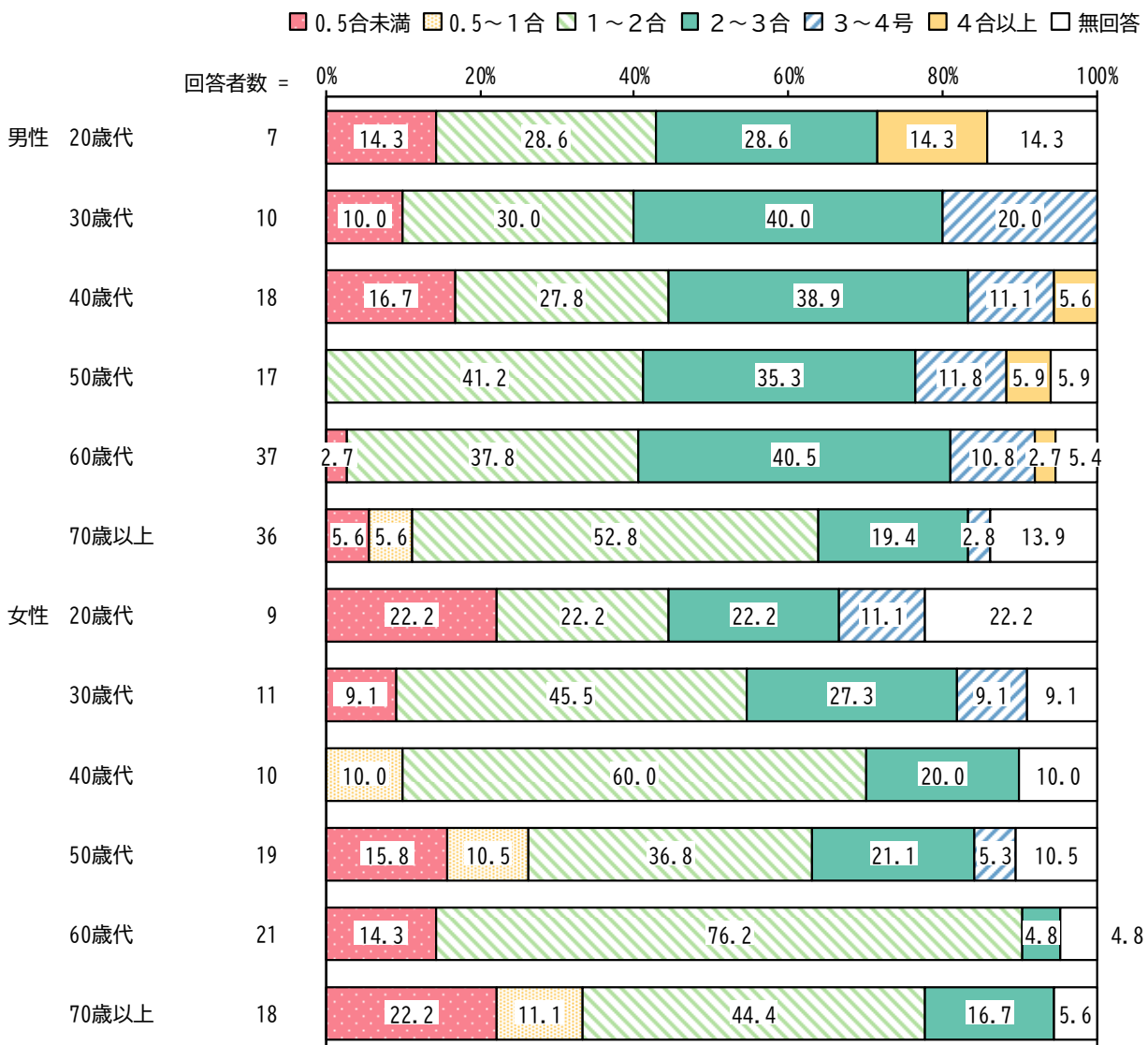
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和2年度調査では、「毎日飲んでいる」を対象としています。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性70歳以上で「0.5合未満」、女性60歳代で「1～2合」、男性60歳代で「2～3合」、男性30歳代で「3～4号」の割合が高くなっています。

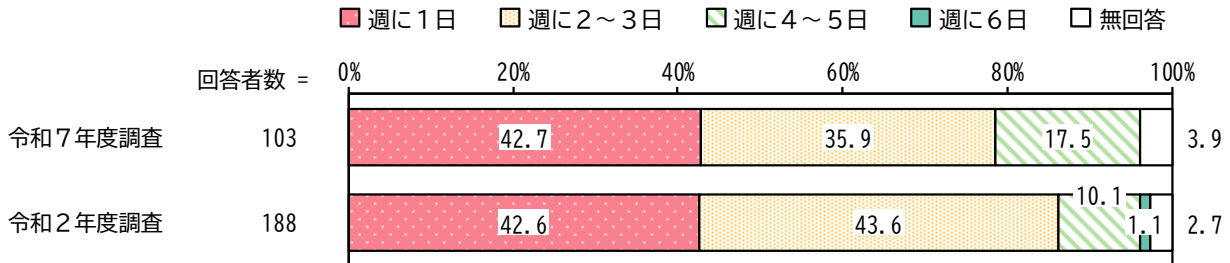


◆問 14 で「ときどき」と回答された方にお聞きします。

1週間の内、どのくらいの頻度でお酒を飲みますか。

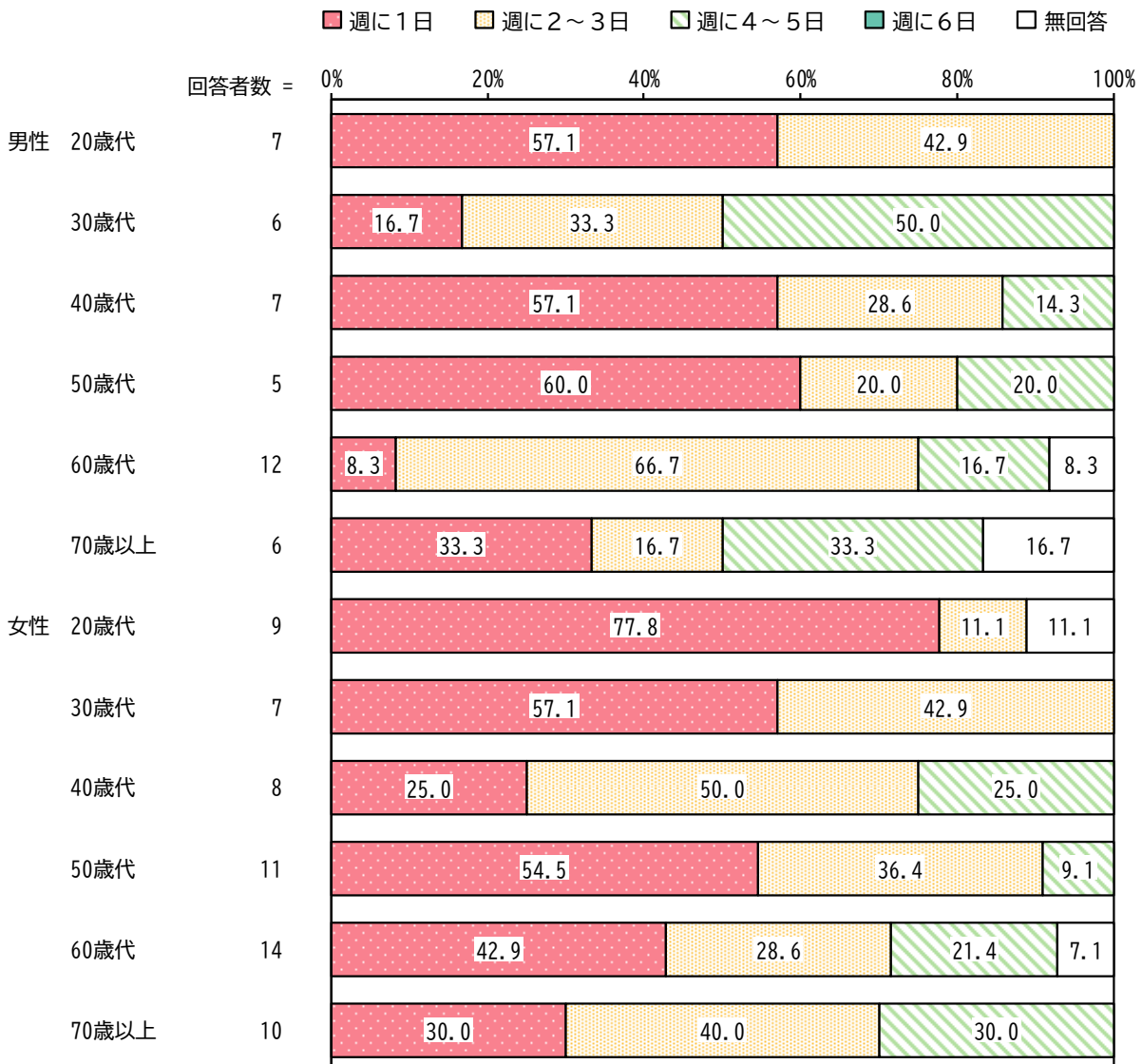
「週に1日」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が 35.9%、「週に4～5日」の割合が 17.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「週に4～5日」の割合が増加しています。一方、「週に2～3日」の割合が減少しています。



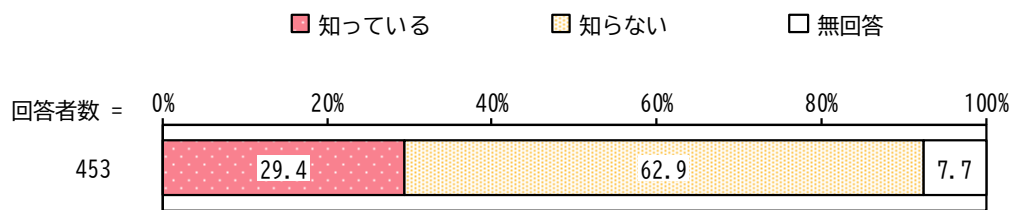
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性50歳代で「週に1日」、男性60歳代で「週に2～3日」、女性70歳以上で「週に4～5日」の割合が高くなっています。



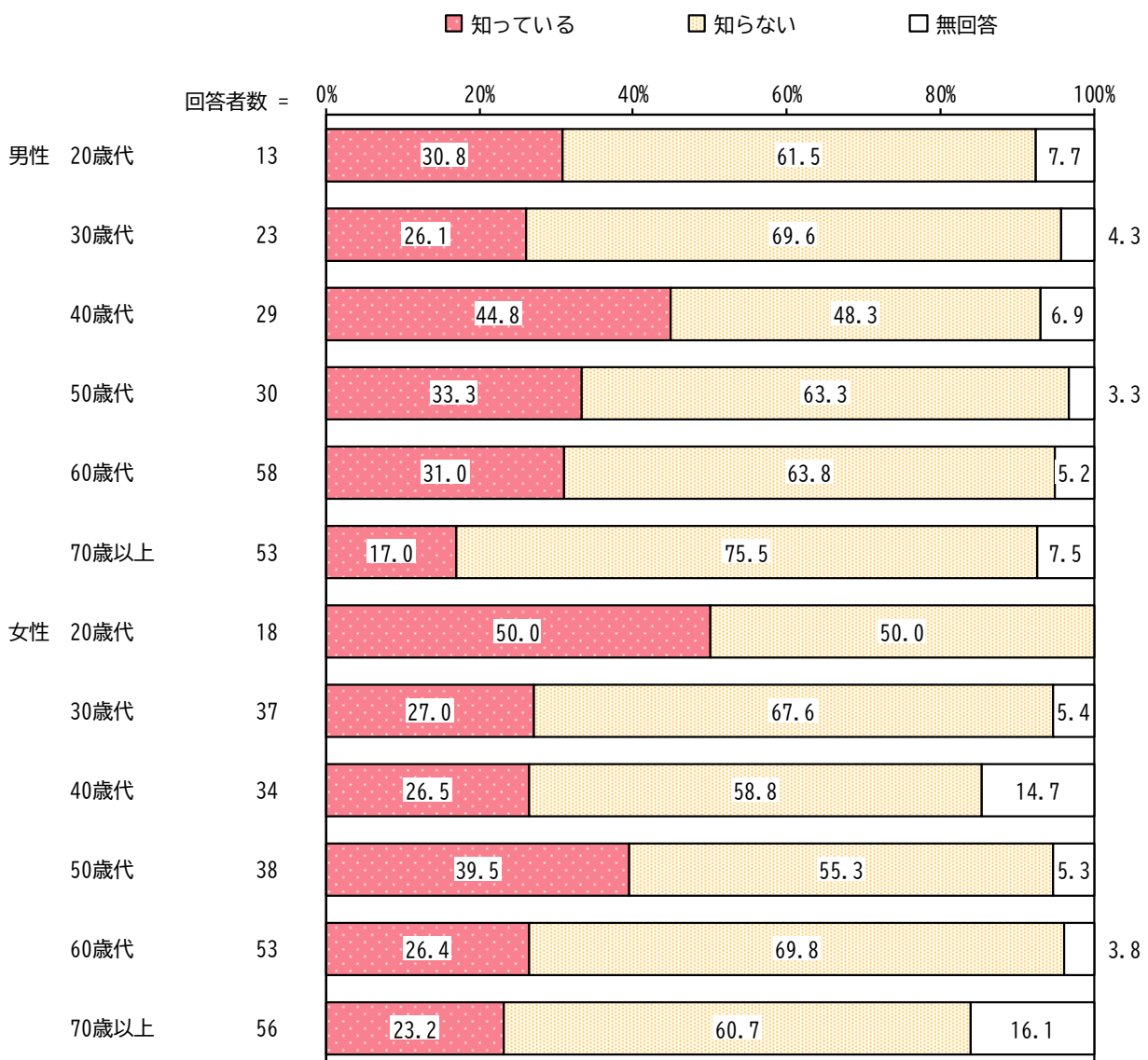
問 15 生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか。

「知っている」の割合が 29.4%、「知らない」の割合が 62.9%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20 歳代で「知っている」、男性 70 歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。

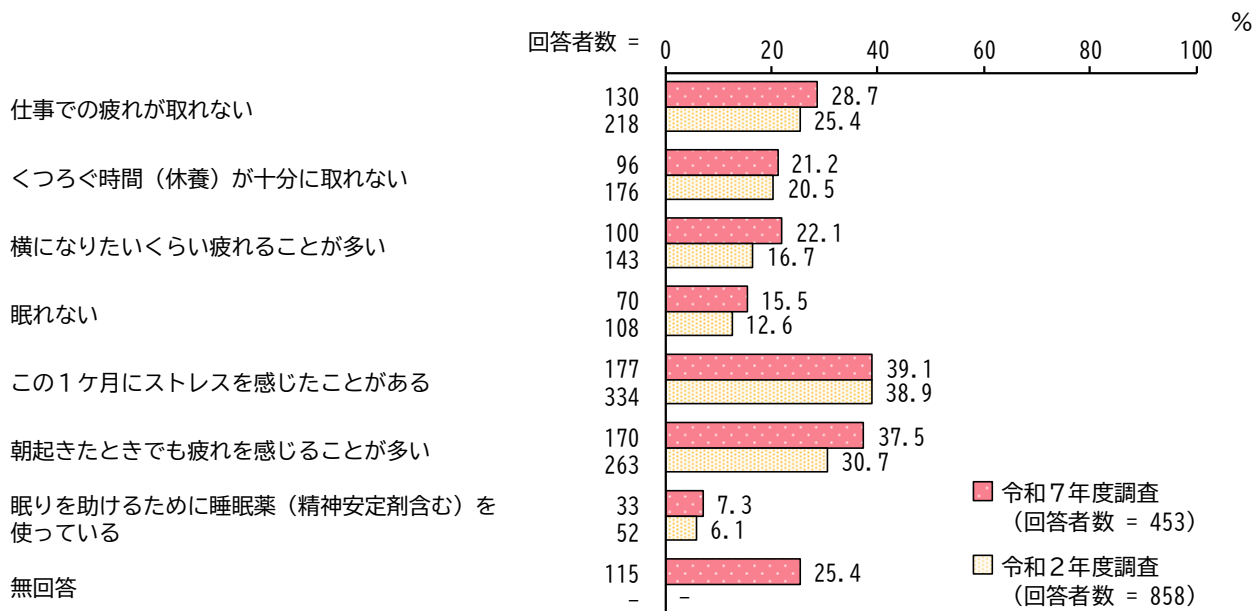


5 睡眠・疲労などについて

問 16 次の中で、あなたにあてはまるものがありますか。(○はいくつでも可)

「この1ヶ月にストレスを感じたことがある」の割合が39.1%と最も高く、次いで「朝起きたときでも疲れを感じる人が多い」の割合が37.5%、「仕事での疲れが取れない」の割合が28.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「横になりたいくらい疲れることが多い」「朝起きたときでも疲れを感じる人が多い」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性20歳代から40歳代、女性30歳代で「仕事での疲れが取れない」、男性20歳代で「くつろぐ時間(休養)が十分に取れない」、女性30歳代で「横になりたいくらい疲れることが多い」「この1ヶ月にストレスを感じたことがある」、女性60歳代、70歳以上で「眠りを助けるために睡眠薬(精神安定剤含む)を使っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事での疲れが取れない	くつろぐ時間(休養)が十分に取れない	横になりたいくらい疲れることが多い	眠れない	この1ヶ月にストレスを感じたことがある	朝起きたときでも疲れを感じる人が多い	眠りを助けるために睡眠薬(精神安定剤含む)を使っている	無回答
全体	453	28.7	21.2	22.1	15.5	39.1	37.5	7.3	25.4
男性 20歳代	13	46.2	53.8	38.5	23.1	38.5	69.2	0.0	7.7
30歳代	23	43.5	47.8	34.8	8.7	43.5	47.8	0.0	13.0
40歳代	29	44.8	20.7	24.1	6.9	48.3	41.4	0.0	20.7
50歳代	30	30.0	16.7	10.0	23.3	30.0	20.0	6.7	33.3
60歳代	58	22.4	10.3	10.3	12.1	17.2	31.0	3.4	37.9
70歳以上	53	17.0	5.7	11.3	18.9	18.9	22.6	7.5	32.1
女性 20歳代	18	38.9	38.9	5.6	16.7	44.4	50.0	5.6	11.1
30歳代	37	43.2	45.9	48.6	21.6	62.2	67.6	0.0	10.8
40歳代	34	32.4	50.0	35.3	11.8	41.2	61.8	5.9	23.5
50歳代	38	34.2	18.4	42.1	7.9	57.9	47.4	5.3	15.8
60歳代	53	30.2	9.4	18.9	22.6	52.8	37.7	17.0	17.0
70歳以上	56	10.7	5.4	10.7	14.3	37.5	10.7	17.9	39.3

【職業別】

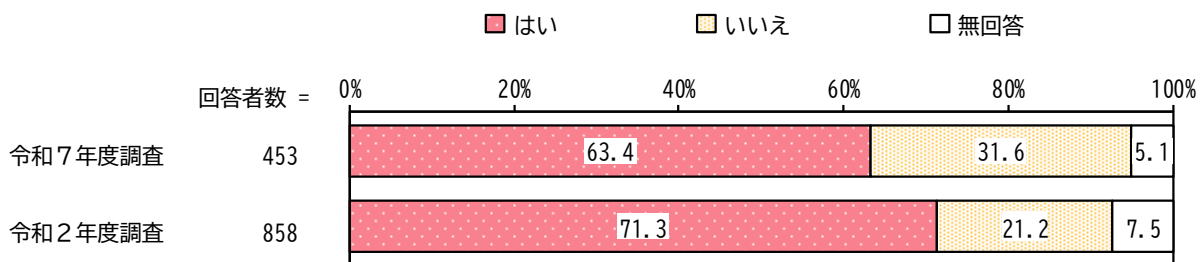
職業別にみると、自営業で「仕事での疲れが取れない」、会社員（正社員）で「くつろぐ時間（休養）が十分に取れない」、農林業で「横になりたいくらい疲れることが多い」、会社役員で「この1ヶ月にストレスを感じたことがある」「眠りを助けるために睡眠薬（精神安定剤含む）を使っている」、会社員（正社員）、公務員で「朝起きたときでも疲れを感じる人が多い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事での疲れが取れない	くつろぐ時間（休養）が十分に取れない	横になりたいくらい疲れることが多い	眠れない	この1ヶ月にストレスを感じたことがある	朝起きたときでも疲れを感じる人が多い	睡眠薬（精神安定剤含む）を使っている	眠りを助けるために睡眠薬（精神安定剤含む）を使っている	無回答
全体	453	28.7	21.2	22.1	15.5	39.1	37.5	7.3	25.4	
会社員（正社員）	136	39.7	39.7	28.7	14.7	47.1	51.5	2.2	14.7	
会社員（契約社員）	27	40.7	11.1	18.5	14.8	33.3	44.4	3.7	25.9	
会社役員	19	15.8	15.8	5.3	10.5	57.9	21.1	21.1	15.8	
自営業	34	47.1	20.6	20.6	11.8	26.5	29.4	2.9	38.2	
自由業（フリーランス）	8	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	12.5	50.0	
農林業	10	10.0	20.0	40.0	20.0	30.0	20.0	0.0	20.0	
公務員	32	40.6	28.1	31.3	15.6	40.6	53.1	3.1	21.9	
学生（大学生・短大生・専門学校生）	5	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	80.0	0.0	20.0	
主婦（夫）	39	0.0	7.7	28.2	17.9	43.6	20.5	12.8	23.1	
パート／アルバイト	58	31.0	15.5	17.2	15.5	44.8	34.5	8.6	22.4	
無職	64	7.8	1.6	9.4	17.2	20.3	21.9	15.6	42.2	
その他	8	62.5	25.0	25.0	25.0	37.5	50.0	25.0	12.5	

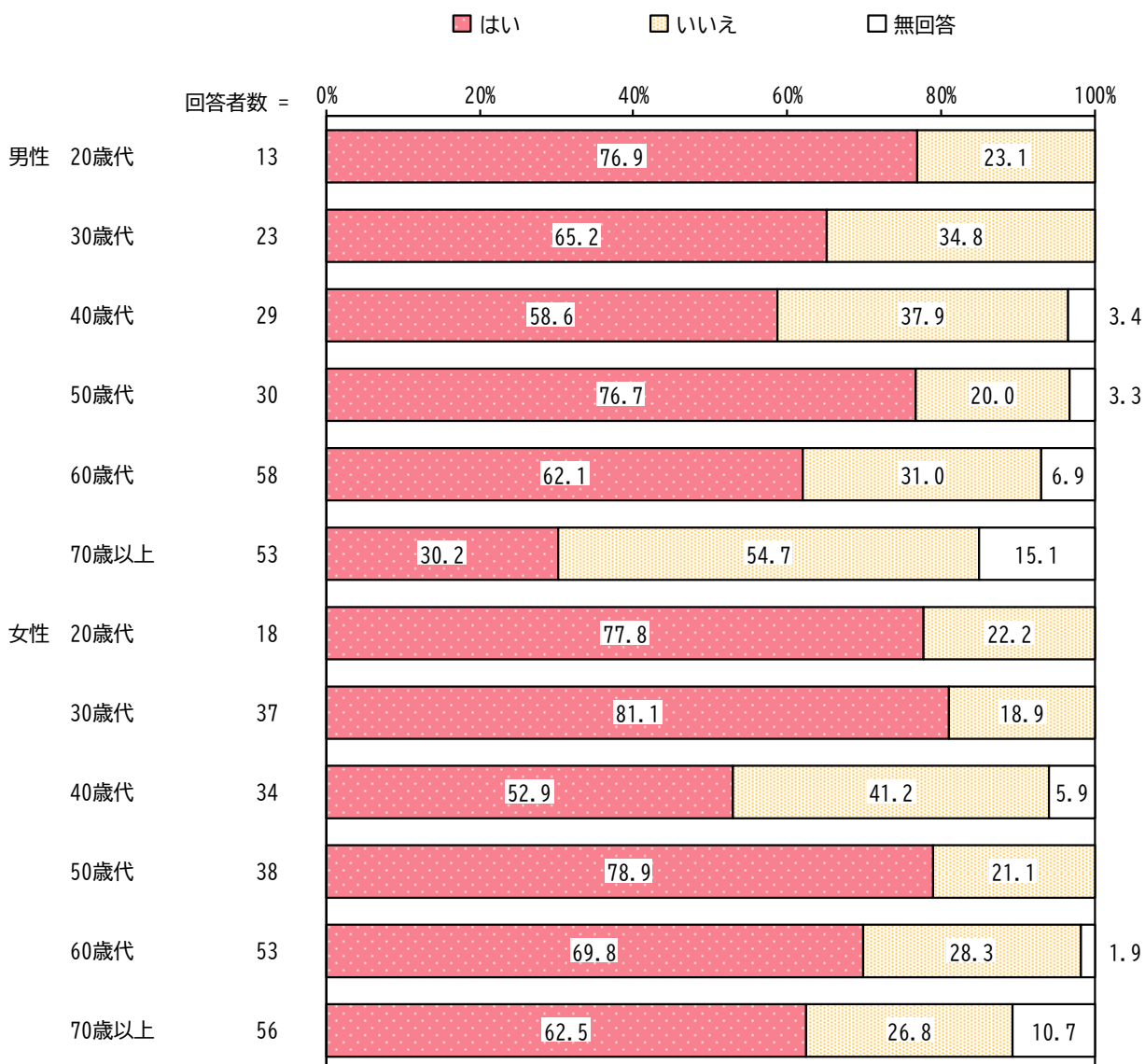
問 17 ストレスを感じた時に、解消する方法がありますか。

「はい」の割合が63.4%、「いいえ」の割合が31.6%となっています。
 令和2年度調査と比較すると「はい」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性20歳代、女性30歳代、男女ともに50歳代で「はい」、男性70歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。

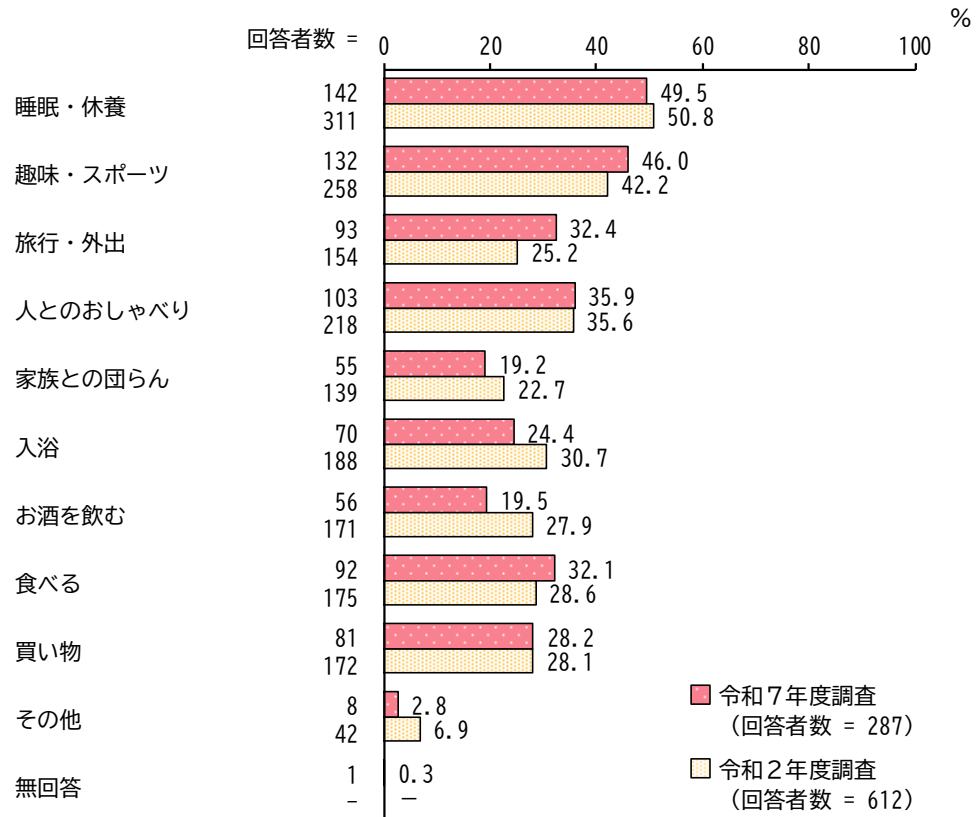


◆問 17 で「はい」と回答された方にお聞きします。

ストレスの解消法はどのようなものですか（○はいくつでも可）

「睡眠・休養」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「趣味・スポーツ」の割合が 46.0%、「人のおしゃべり」の割合が 35.9%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「旅行・外出」の割合が増加しています。一方、「入浴」「お酒を飲む」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 20 歳代で「睡眠・休養」、男性 30 歳代で「趣味・スポーツ」、男性 30 歳代、女性 20 歳代から 40 歳代で「食べる」、男女ともに 30 歳代で「入浴」、男性 40 歳代で「家族との団らん」、女性 40 歳代で「人のおしゃべり」、女性 20 歳代から 40 歳代で「買い物」、男性 70 歳以上で「お酒を飲む」の割合が高くなっています。

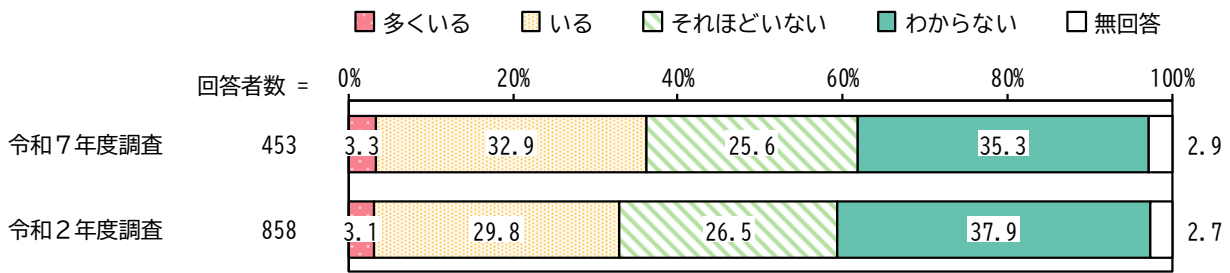
単位：%

区分	回答者数 (件)	睡眠・休養	趣味・スポーツ	旅行・外出	人のおしゃべり	家族との団らん	入浴	お酒を飲む	食べる	買い物	その他	無回答
全体	287	49.5	46.0	32.4	35.9	19.2	24.4	19.5	32.1	28.2	2.8	0.3
男性 20歳代	10	70.0	70.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0
30歳代	15	60.0	93.3	33.3	13.3	13.3	46.7	40.0	53.3	20.0	6.7	0.0
40歳代	17	58.8	64.7	23.5	23.5	47.1	17.6	23.5	29.4	23.5	5.9	0.0
50歳代	23	43.5	43.5	30.4	17.4	21.7	13.0	30.4	21.7	17.4	0.0	0.0
60歳代	36	44.4	58.3	16.7	8.3	11.1	27.8	22.2	16.7	8.3	2.8	0.0
70歳以上	16	50.0	25.0	43.8	18.8	18.8	31.3	43.8	6.3	0.0	12.5	0.0
女性 20歳代	14	35.7	57.1	42.9	35.7	14.3	21.4	7.1	50.0	28.6	0.0	0.0
30歳代	30	63.3	43.3	46.7	56.7	33.3	23.3	13.3	56.7	50.0	0.0	0.0
40歳代	18	61.1	44.4	22.2	66.7	22.2	44.4	22.2	50.0	50.0	11.1	0.0
50歳代	30	63.3	26.7	30.0	43.3	20.0	16.7	20.0	33.3	23.3	3.3	0.0
60歳代	37	29.7	35.1	51.4	45.9	10.8	13.5	10.8	24.3	43.2	0.0	2.7
70歳以上	35	42.9	34.3	22.9	51.4	8.6	28.6	8.6	25.7	37.1	0.0	0.0

問 18 あなたかあなたの周りで心の病気にかかっている人はいますか。

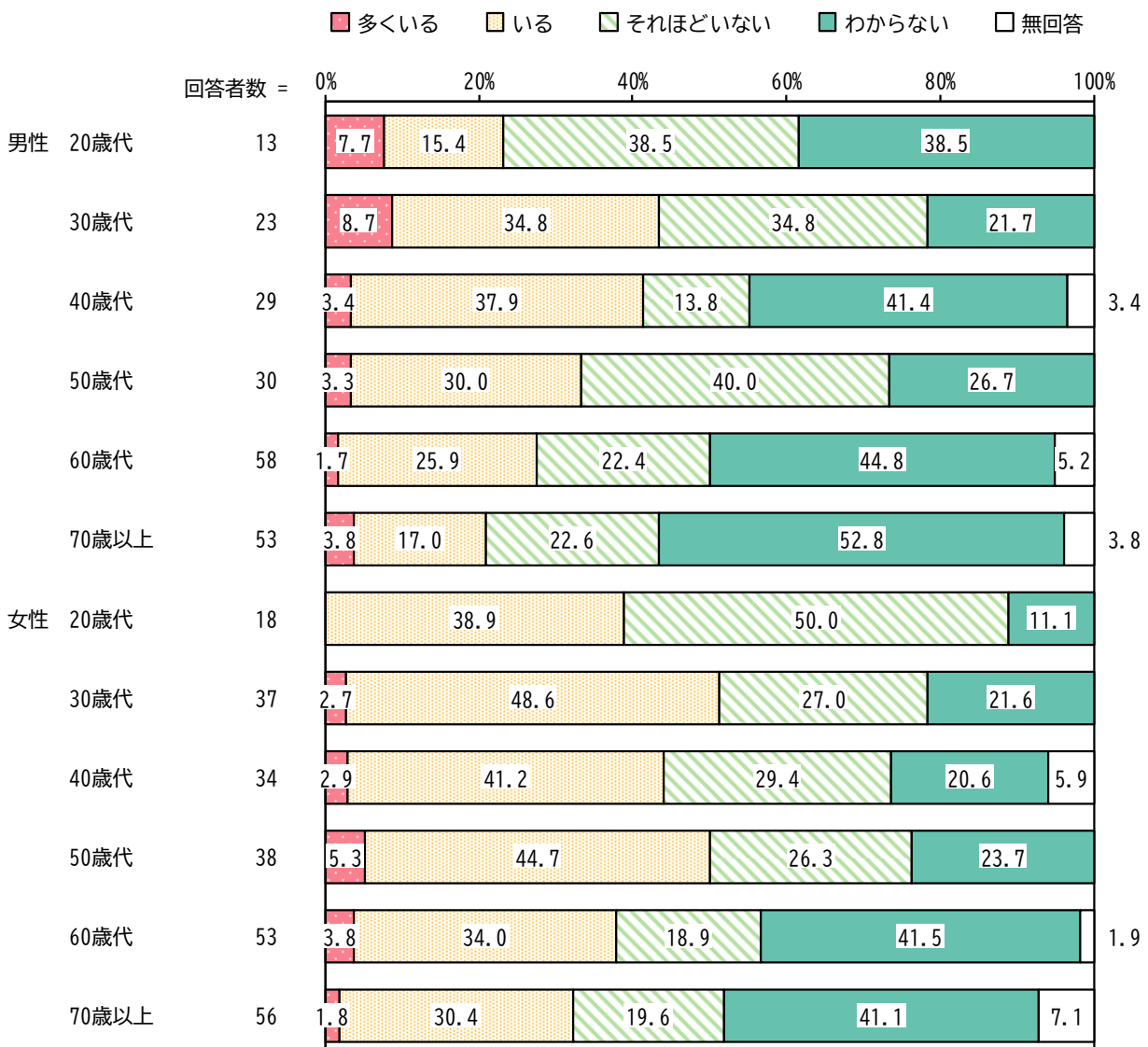
「多くいる」の割合が 3.3%、「いる」の割合が 32.9%、「それほどいない」の割合が 25.6%となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



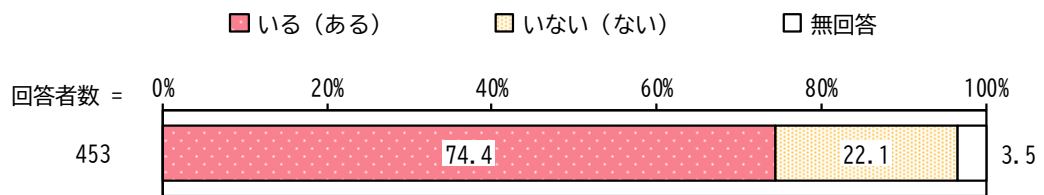
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が下がるほど「多くいる」「いる」を合わせた“いる”の割合が高くなっています。また、女性は 30 歳代、50 歳代で「いる」、20 歳代で「それほどいない」の割合が高くなっています。



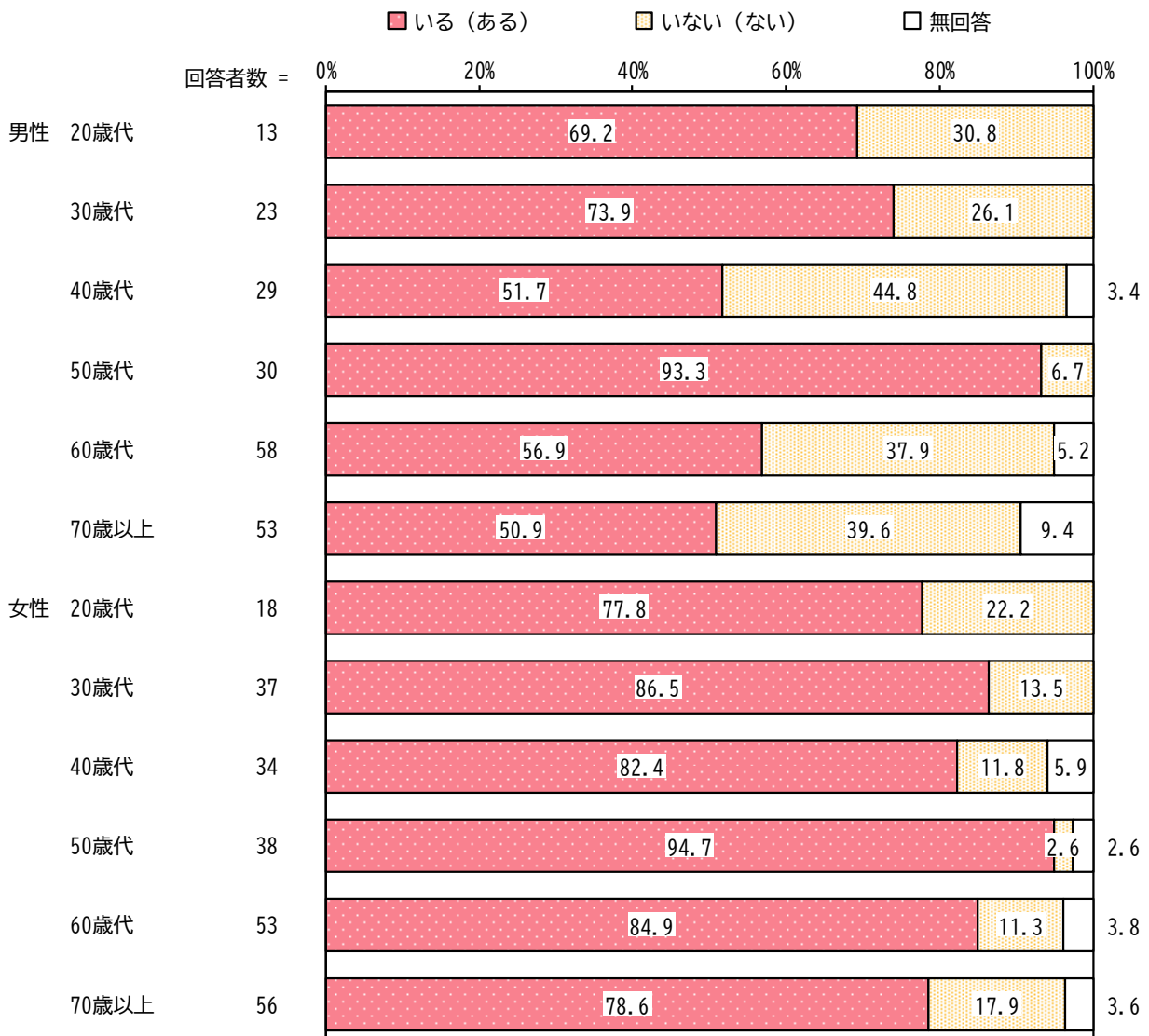
問 19 あなたは心の悩みや仕事・家事・育児などのストレスについて、相談できる人や場所がありますか。

「いる（ある）」の割合が 74.4%、「いない（ない）」の割合が 22.1%となっています。



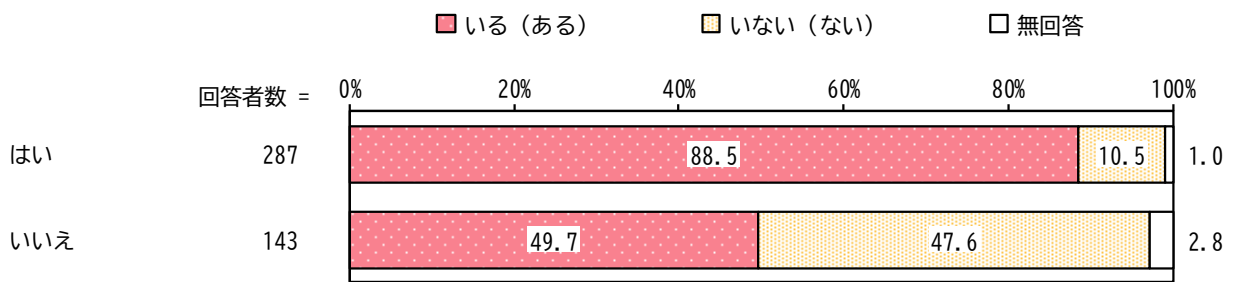
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに 50 歳代で「いる（ある）」、男性 40 歳代で「いない（ない）」の割合が高くなっています。



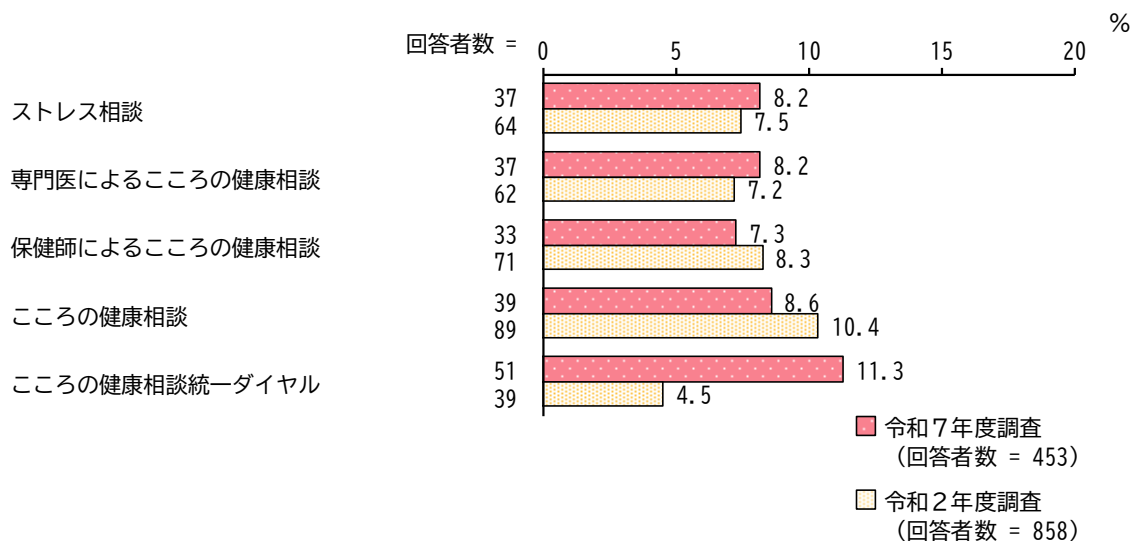
【ストレスの解消方法の有無別】

ストレスの解消方法の有無別にみると、はいで「いる（ある）」の割合が高くなっています。



問 20 あなたは下記の相談機関（電話相談を含む）を知っていますか。
知っているものがあれば○を付けてください。（○はいくつでも可）

「こころの健康相談統一ダイヤル」の割合が11.3%と最も高くなっています。
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性20歳代で「ストレス相談」、男女ともに50歳代で「専門医によるこころの健康相談」、女性20歳代で「こころの健康相談統一ダイヤル」の割合が高くなっています。

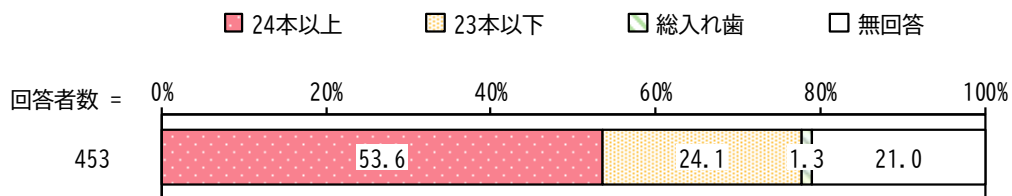
単位：%

区分	回答者数 (件)	ストレス相談	専門医によるこころの健康相談	保健師によるこころの健康相談	こころの健康相談	こころの健康相談統一ダイヤル
全体	453	8.2	8.2	7.3	8.6	11.3
男性 20歳代	13	23.1	0.0	7.7	0.0	15.4
30歳代	23	13.0	4.3	4.3	8.7	21.7
40歳代	29	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0
50歳代	30	16.7	20.0	6.7	13.3	20.0
60歳代	58	10.3	6.9	6.9	8.6	5.2
70歳以上	53	3.8	1.9	0.0	1.9	3.8
女性 20歳代	18	5.6	11.1	0.0	5.6	27.8
30歳代	37	10.8	2.7	10.8	8.1	16.2
40歳代	34	5.9	14.7	11.8	17.6	17.6
50歳代	38	10.5	21.1	15.8	18.4	18.4
60歳代	53	3.8	7.5	11.3	11.3	5.7
70歳以上	56	7.1	8.9	7.1	5.4	5.4

6 歯や歯ぐきについて

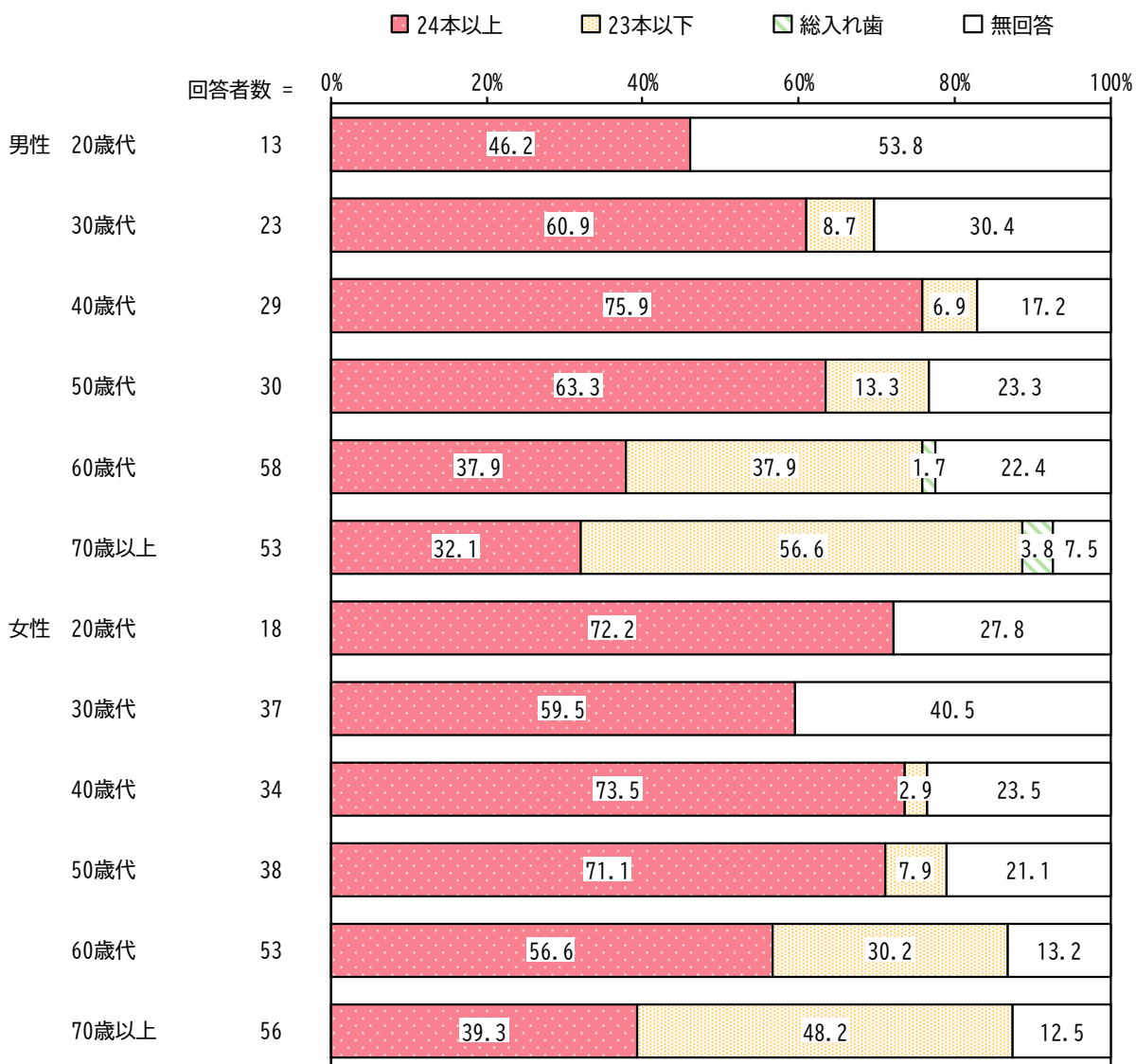
問 21 自分の歯は何本ありますか。

「24本以上」の割合が53.6%、「23本以下」の割合が24.1%、「総入れ歯」の割合が1.3%となっています。



【性・年齢別】

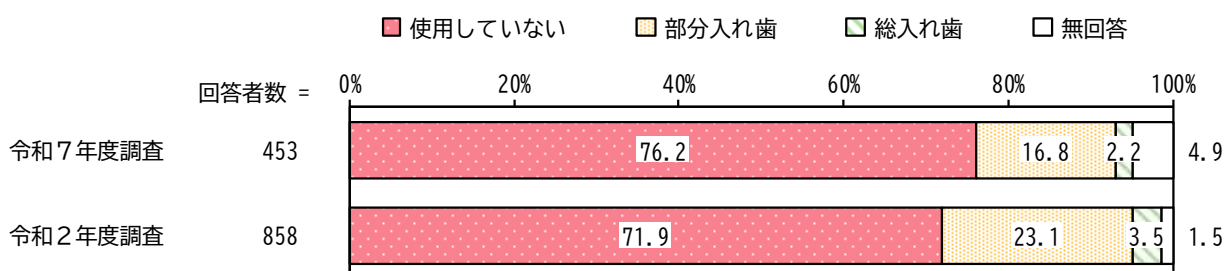
性・年齢別にみると、男女ともに40歳代から年齢が上がるほど「24本以上」の割合が低くなり、70歳以上で「23本以下」の割合が高くなっています。



問 22 入れ歯を使用していますか。

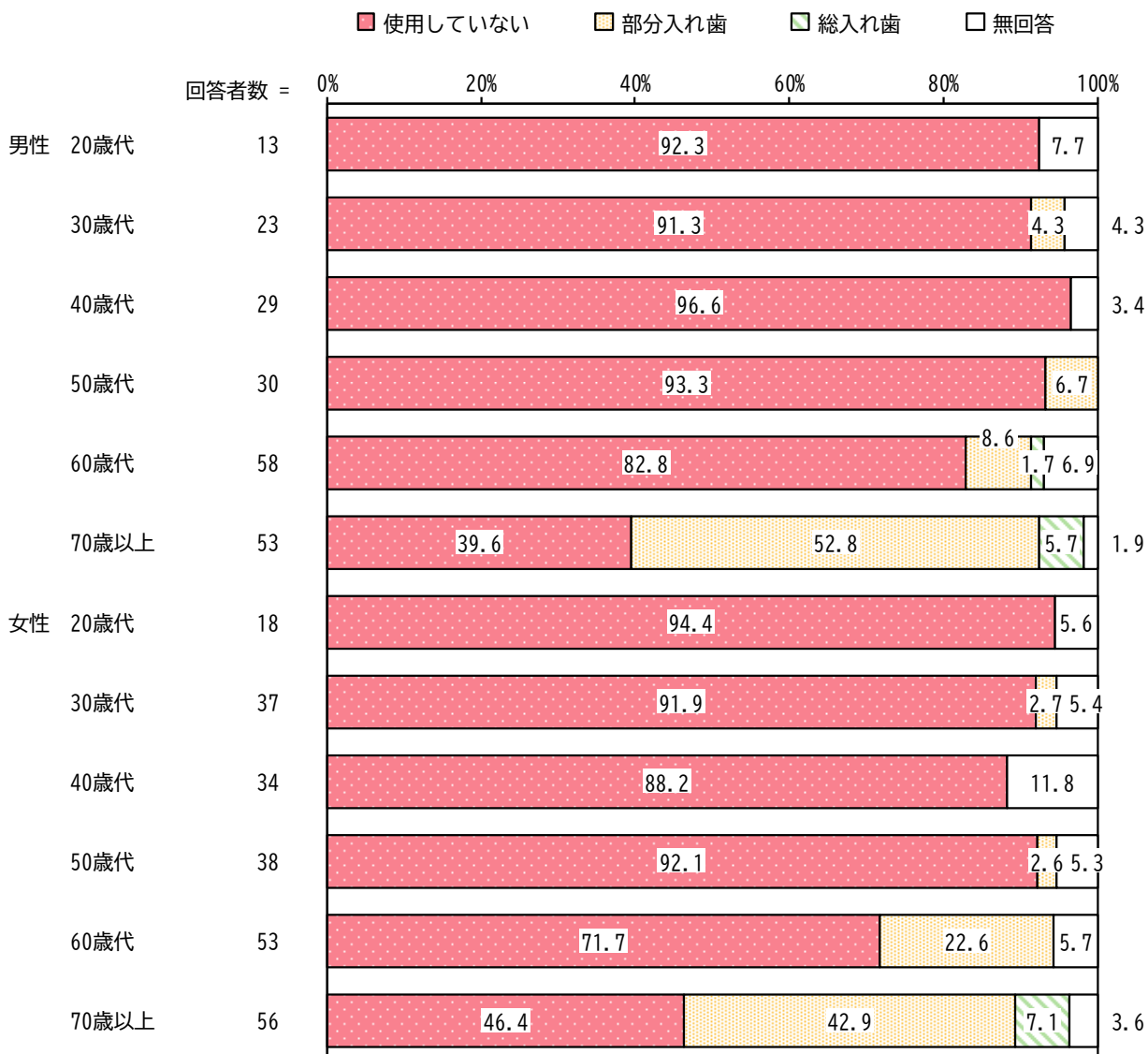
「使用していない」の割合が 76.2%、「部分入れ歯」の割合が 16.8%、「総入れ歯」の割合が 2.2% となっています。

令和 2 年度調査と比較すると、「使用していない」の割合が高くなっています。



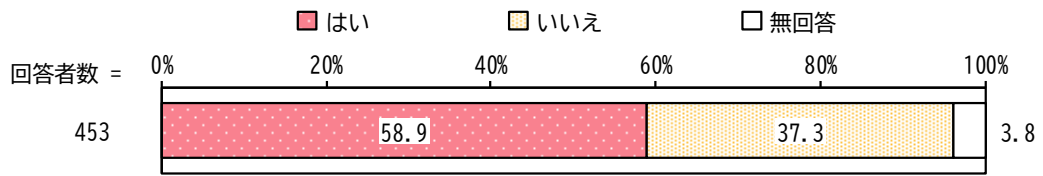
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに 70 歳以上で「部分入れ歯」の割合が高くなっています。



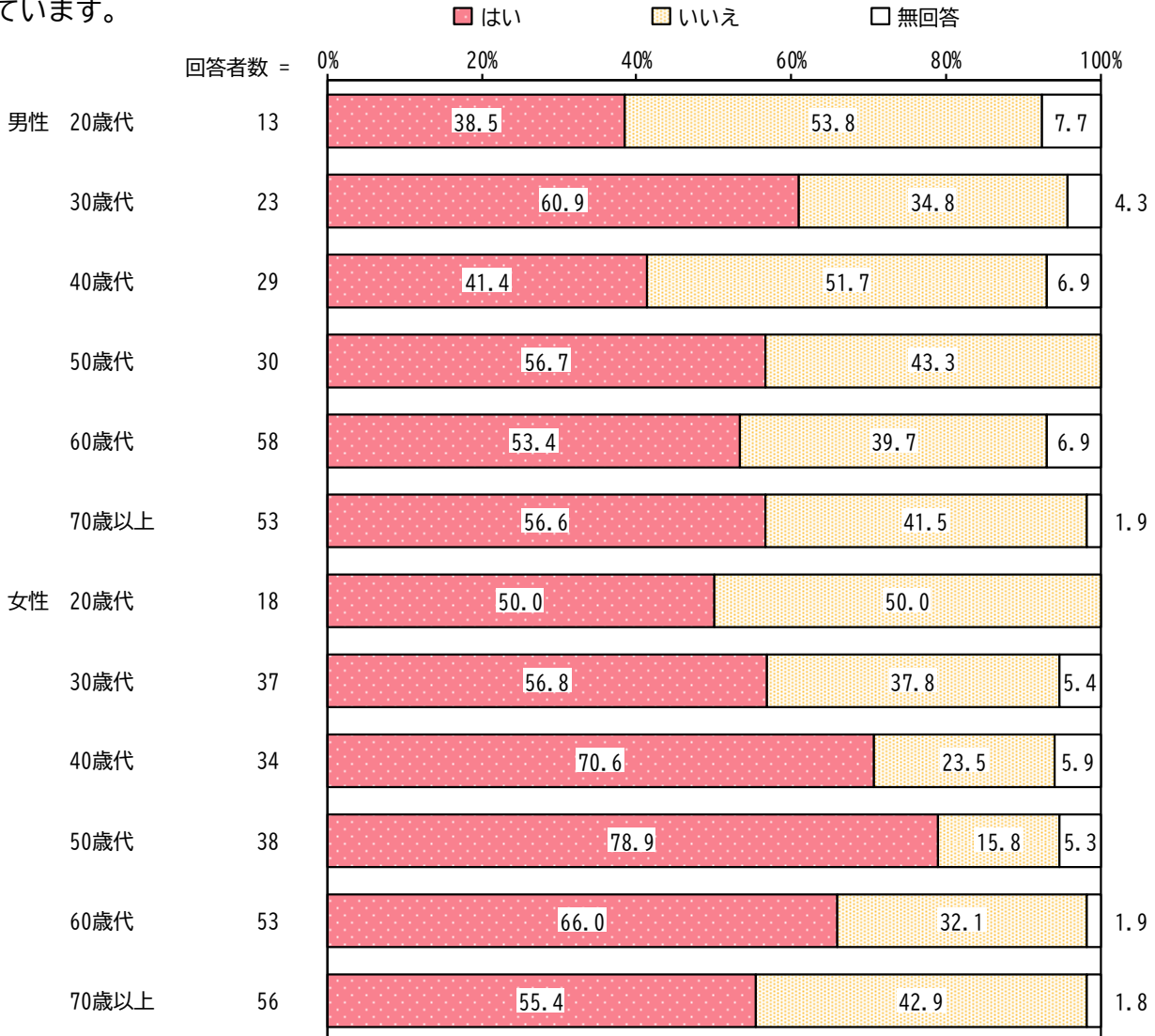
問 23 歯や口の状態で気になることはありますか。

「はい」の割合が58.9%、「いいえ」の割合が37.3%となっています。



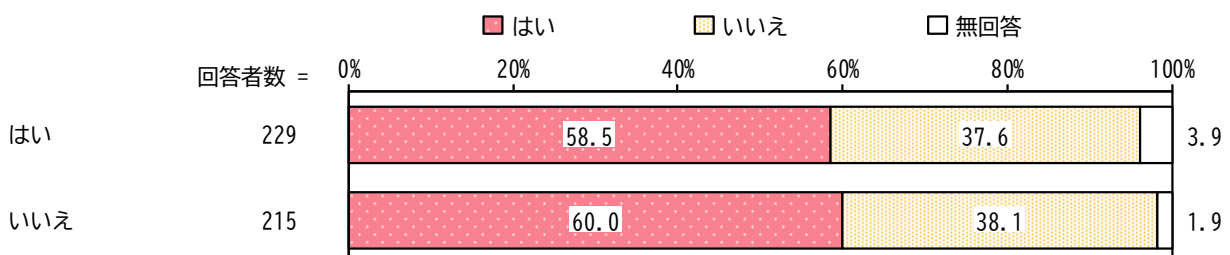
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性50歳代で「はい」、男性20歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【歯科検診の受診有無別】

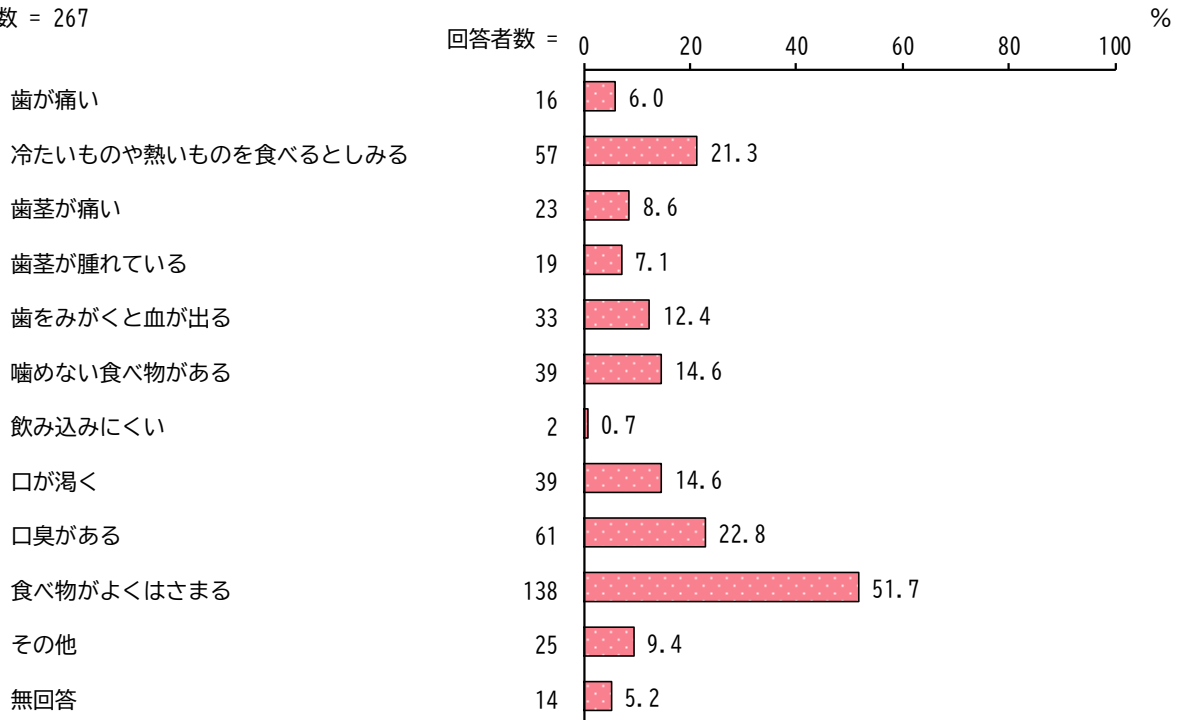
歯科検診の受診有無別にみると、大きな差はみられません。



◆問 23 で「はい」と回答した方に気になる内容についてお聞きします。(〇はいくつでも可)

「食べ物がよくはさまる」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「口臭がある」の割合が 22.8%、「冷たいものや熱いものを食べるとしみる」の割合が 21.3%となっています。

回答者数 = 267



【性・年齢別】

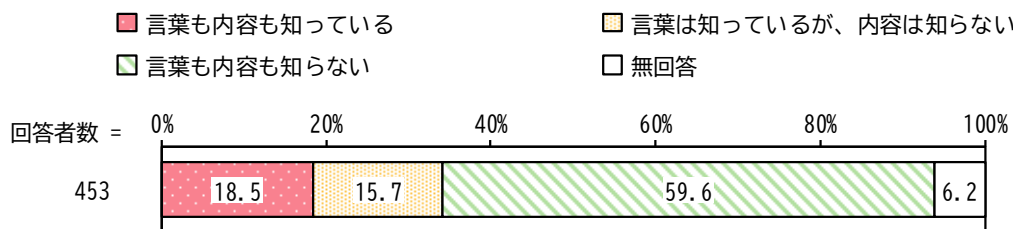
性・年齢別にみると、男性 30 歳代で「口が渇く」、女性 30 歳代で「口臭がある」、女性 40 歳代で「冷たいものや熱いものを食べるとしみる」、男性 40 歳代で「食べ物がよくはさまる」、男性 70 歳以上で「歯茎が痛い」「噛めない食べ物がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	歯が痛い	冷たいものや熱いものを食べるとしみる	歯茎が痛い	歯茎が腫れている	歯をみがくと血が出る	噛めない食べ物がある	飲み込みにくい	口が渇く	口臭がある	食べ物がよくはさまる	その他	無回答
全 体	267	6.0	21.3	8.6	7.1	12.4	14.6	0.7	14.6	22.8	51.7	9.4	5.2
男性 20歳代	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	0.0
30歳代	14	0.0	21.4	7.1	7.1	21.4	14.3	0.0	50.0	28.6	64.3	14.3	0.0
40歳代	12	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3	83.3	8.3	0.0
50歳代	17	11.8	5.9	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	17.6	29.4	52.9	0.0	11.8
60歳代	31	6.5	19.4	9.7	6.5	19.4	16.1	3.2	16.1	22.6	48.4	3.2	6.5
70歳以上	30	3.3	0.0	20.0	6.7	6.7	50.0	0.0	20.0	10.0	56.7	0.0	6.7
女性 20歳代	9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	55.6	44.4	0.0
30歳代	21	14.3	19.0	14.3	14.3	19.0	4.8	0.0	9.5	38.1	9.5	38.1	0.0
40歳代	24	8.3	54.2	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	4.2	29.2	25.0	8.3	8.3
50歳代	30	0.0	30.0	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	10.0	23.3	56.7	13.3	3.3
60歳代	35	0.0	22.9	5.7	0.0	20.0	17.1	2.9	8.6	20.0	57.1	8.6	2.9
70歳以上	31	9.7	19.4	16.1	12.9	6.5	25.8	0.0	19.4	19.4	54.8	0.0	9.7

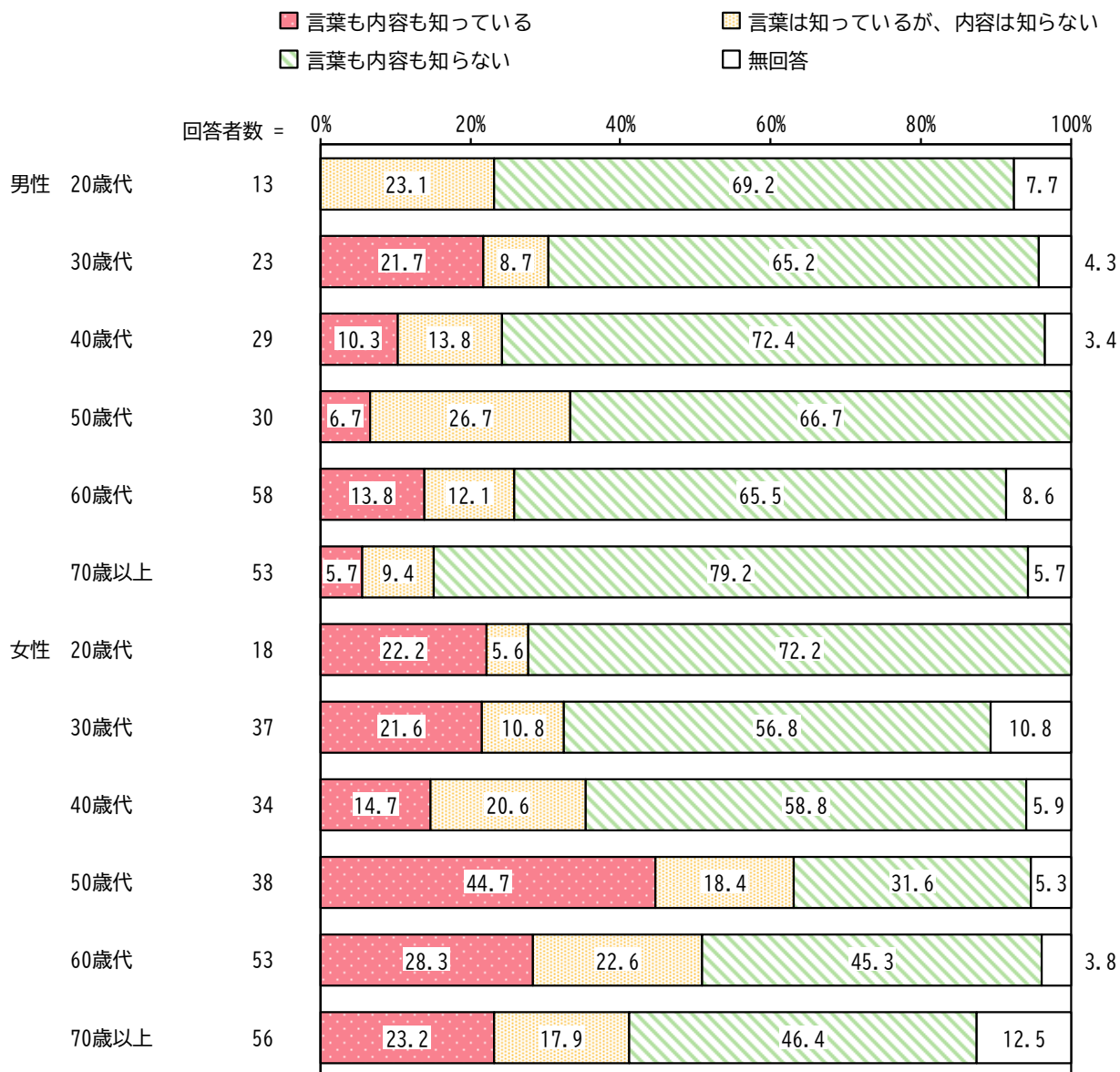
問 24 「オーラルプレイル」を知っていますか。

「言葉も内容も知っている」の割合が 18.5%、「言葉は知っているが、内容は知らない」の割合が 15.7%、「言葉も内容も知らない」の割合が 59.6%となっています。



【性・年齢別】

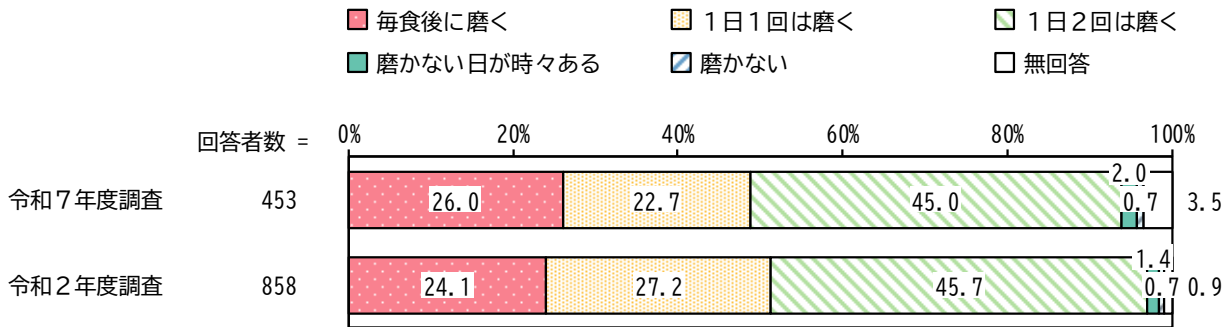
性・年齢別にみると、女性 50 歳代で「言葉も内容も知っている」、男性 50 歳代で「言葉は知っているが、内容は知らない」、男性 70 歳以上で「言葉も内容も知らない」の割合が高くなっています。



問 25 歯磨きをしていますか。

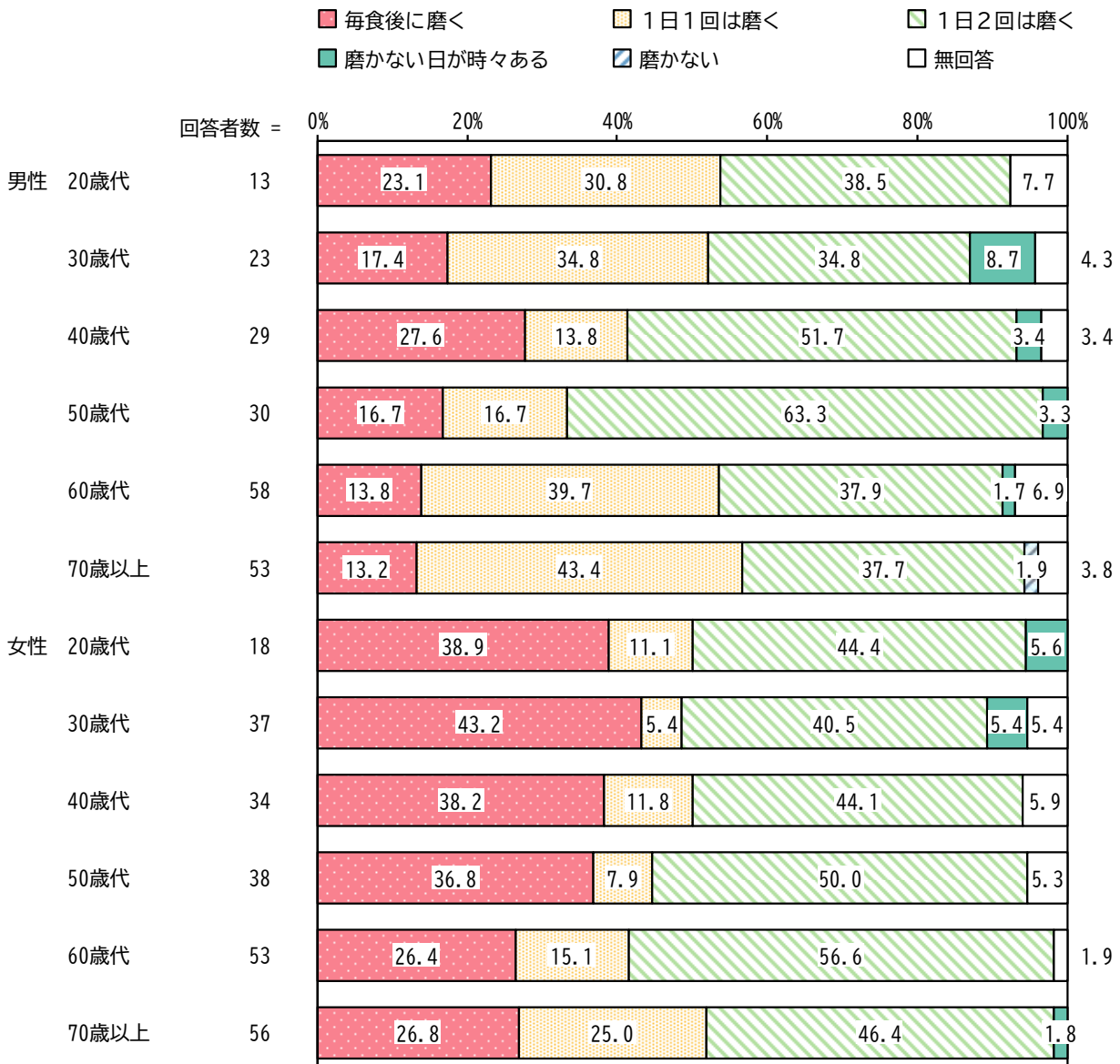
「1日2回は磨く」の割合が45.0%と最も高く、次いで「毎食後に磨く」の割合が26.0%、「1日1回は磨く」の割合が22.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



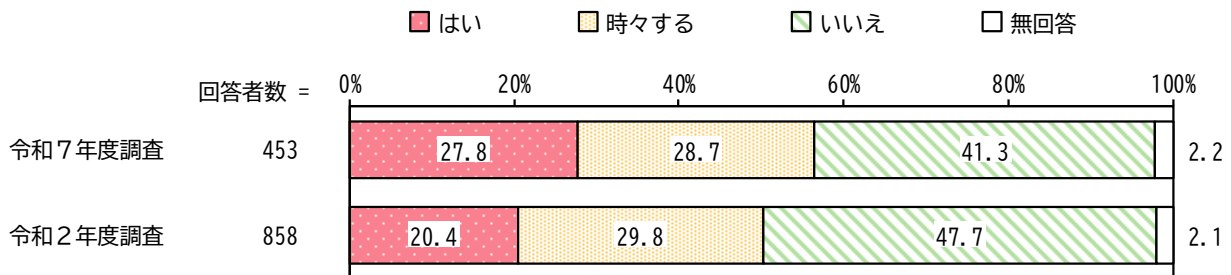
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性30歳代で「毎食後に磨く」、男性70歳以上で「1日1回は磨く」、男性50歳代で「1日2回は磨く」の割合が高くなっています。



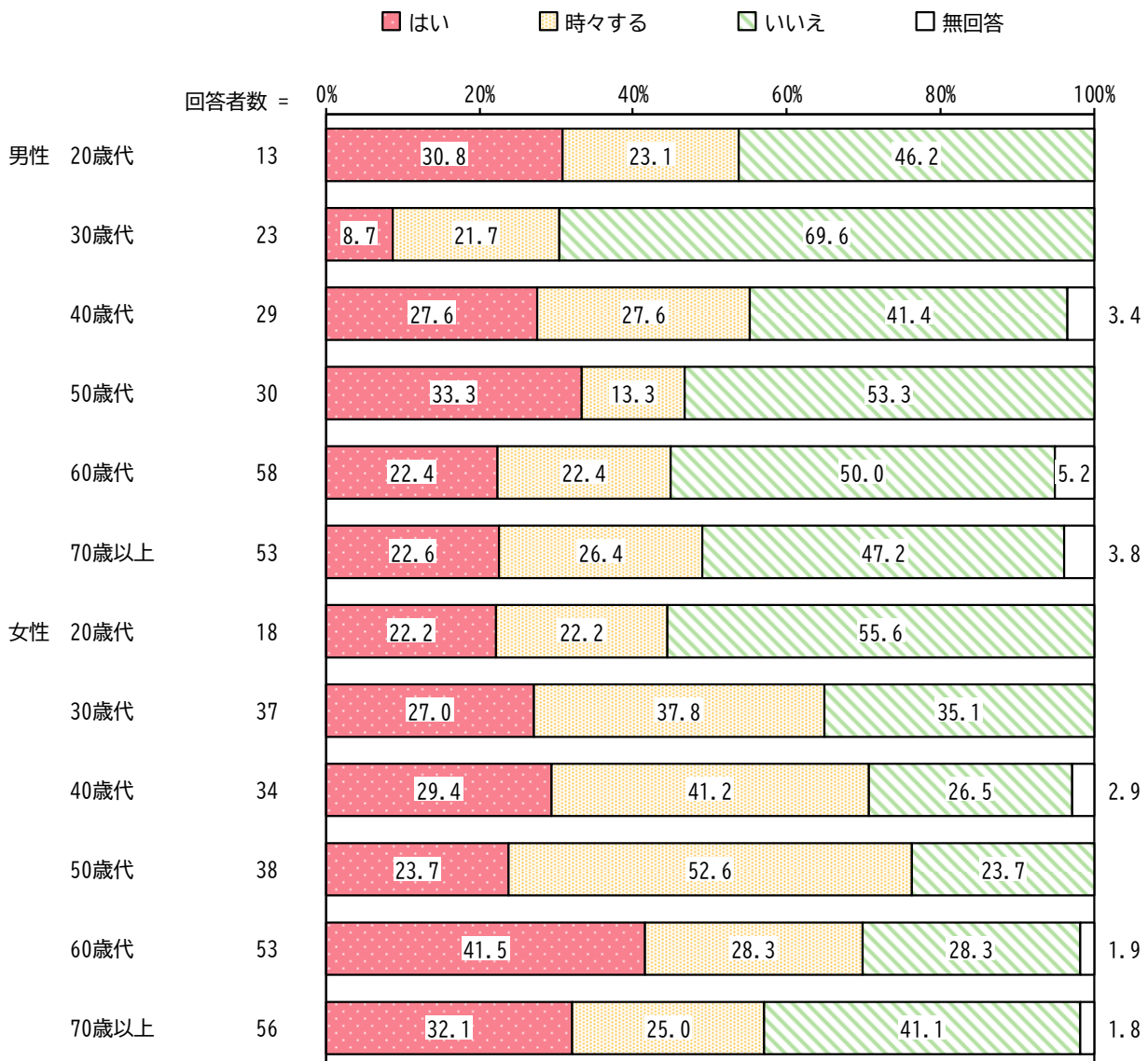
問 26 デンタルフロス（糸ようじ）・歯間ブラシ等の清掃用具で、歯間部の清掃をしていますか。

「はい」の割合が27.8%、「時々する」の割合が28.7%、「いいえ」の割合が41.3%となっています。
 令和2年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加し、「いいえ」の割合が減少しています。



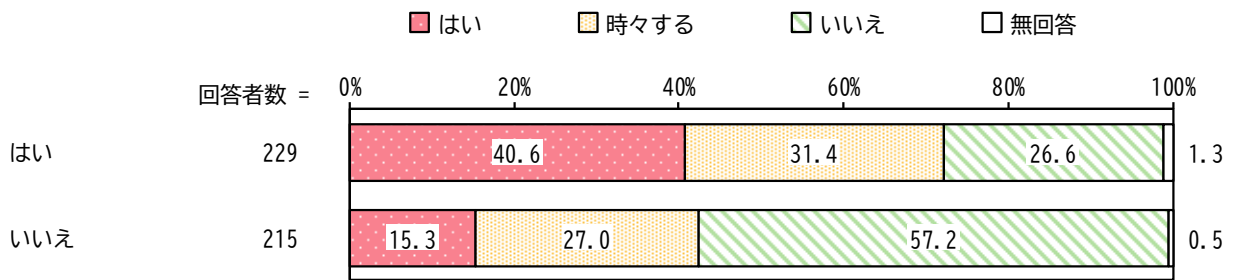
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性60歳代で「はい」、女性50歳代で「時々する」、男性30歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



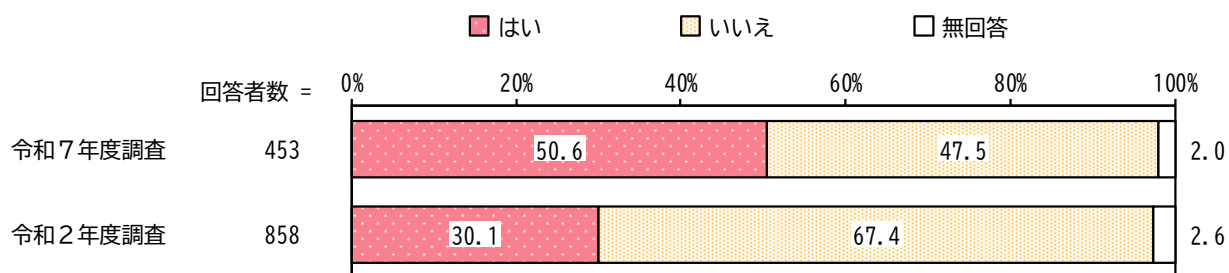
【歯科検診の受診有無別】

歯科検診の受診有無別にみると、はい（歯科検診を受診している人）で「はい」の割合が高く、いいえ（受診していない人）で「いいえ」の割合が高くなっています。



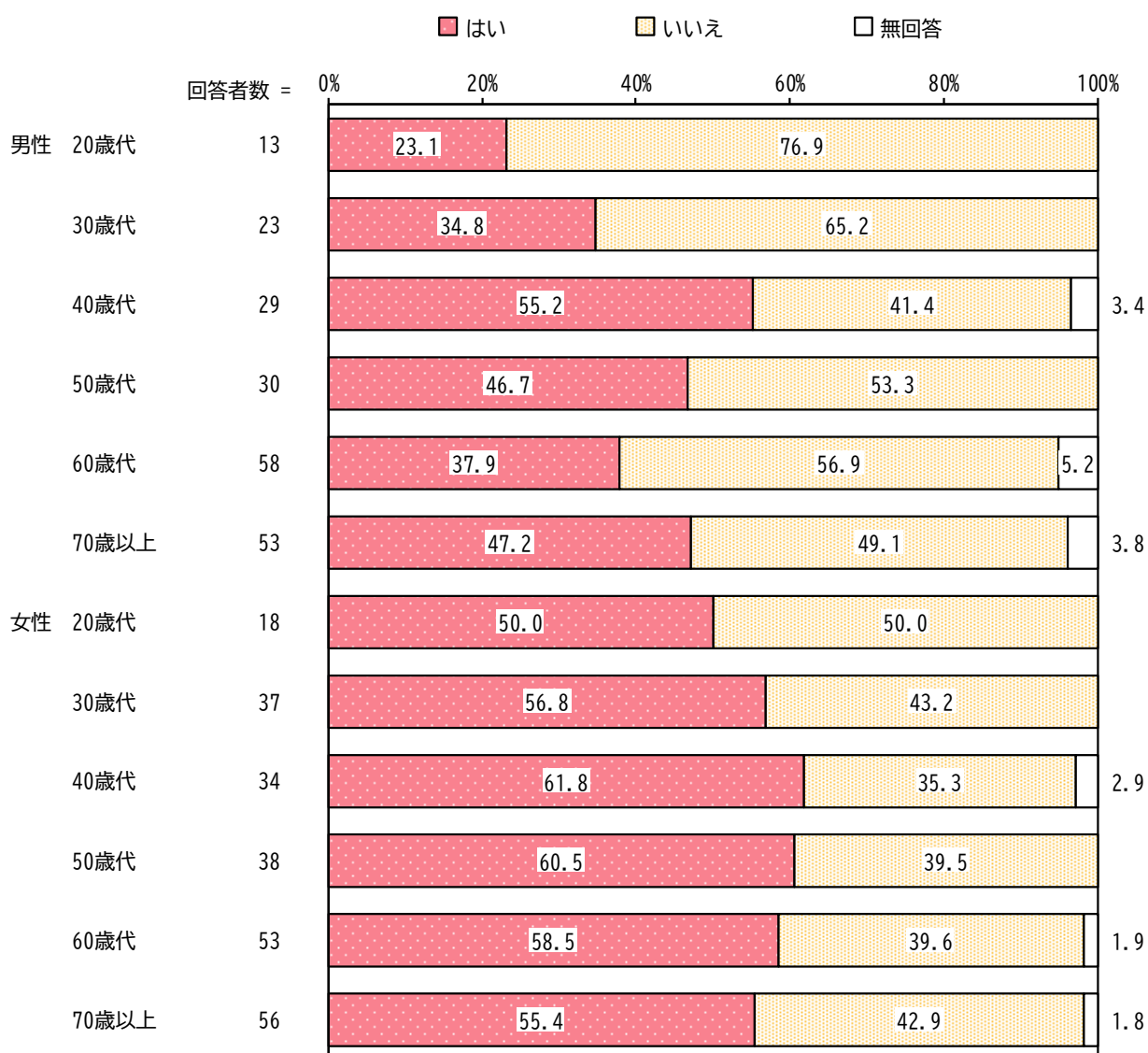
問 27 この1年間に歯科健診を受けましたか。

「はい」の割合が50.6%、「いいえ」の割合が47.5%となっています。
 令和2年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性40歳代、女性30歳代以上で「はい」、男性20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。

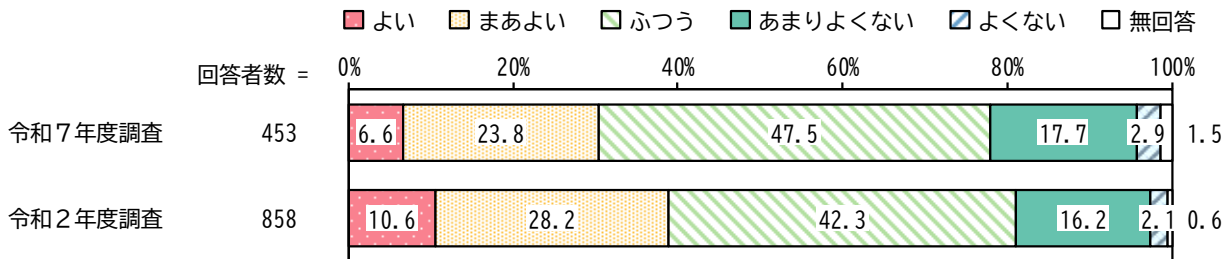


7 その他、健康感や健診等について

問 28 自分の健康状態をどのように感じていますか。

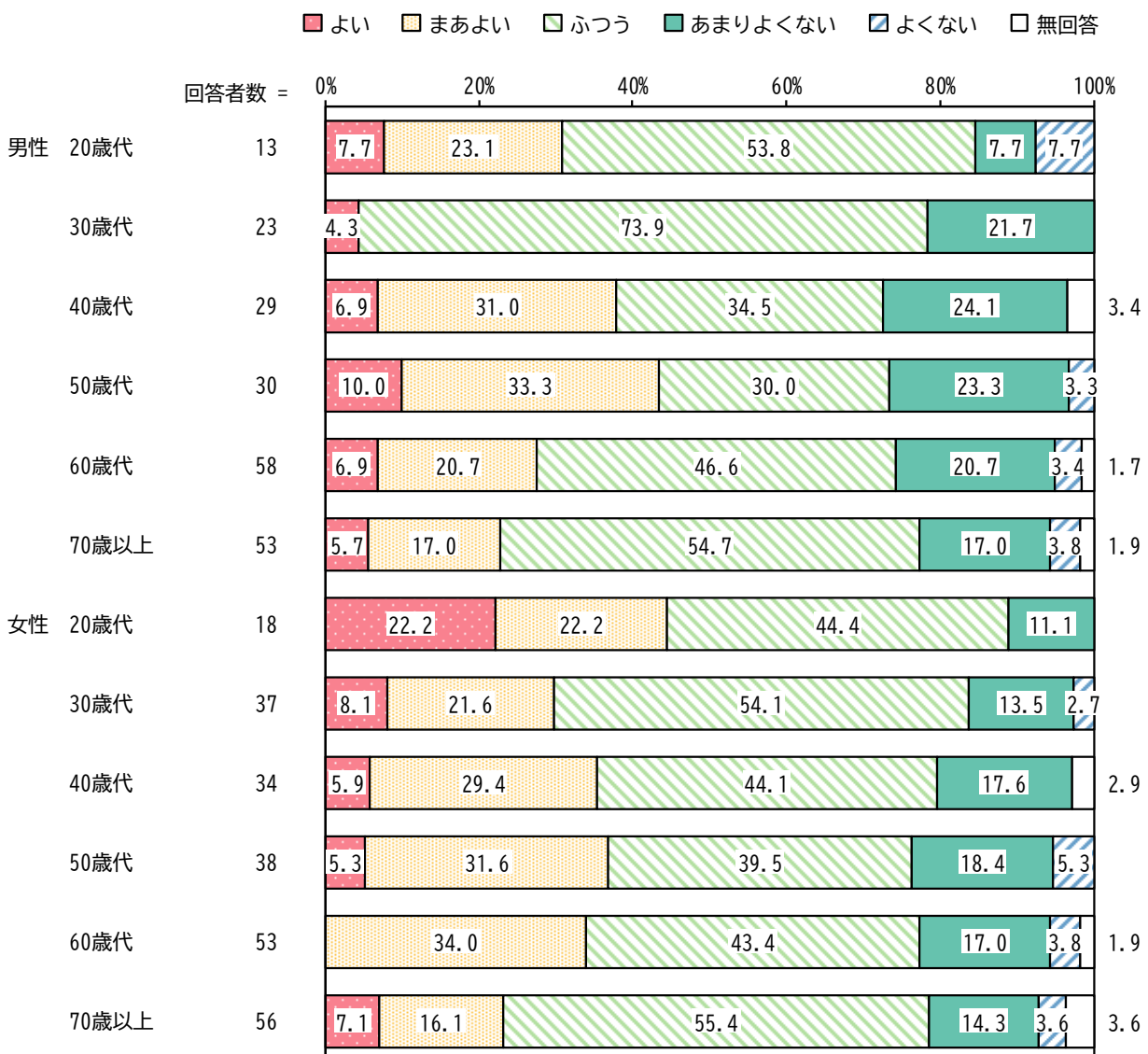
「ふつう」の割合が47.5%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が23.8%、「あまりよくない」の割合が17.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「ふつう」の割合が増加しています。



【性・年齢別】

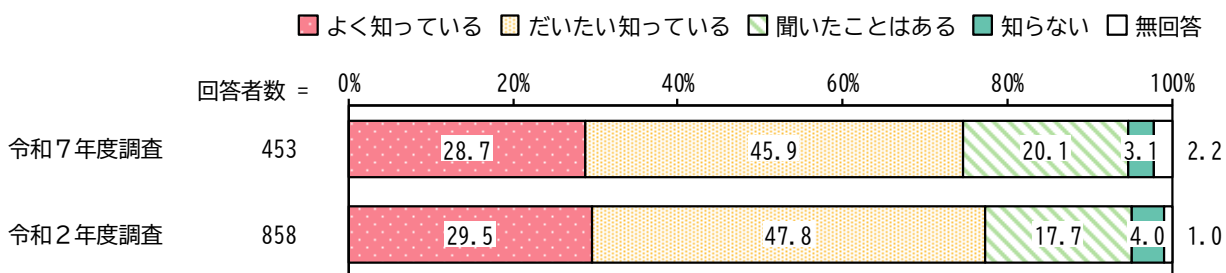
性・年齢別にみると、女性20歳代で「よい」、60歳代で「まあよい」、男性30歳代で「ふつう」の割合が高くなっています。



問 29 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について知っていますか。

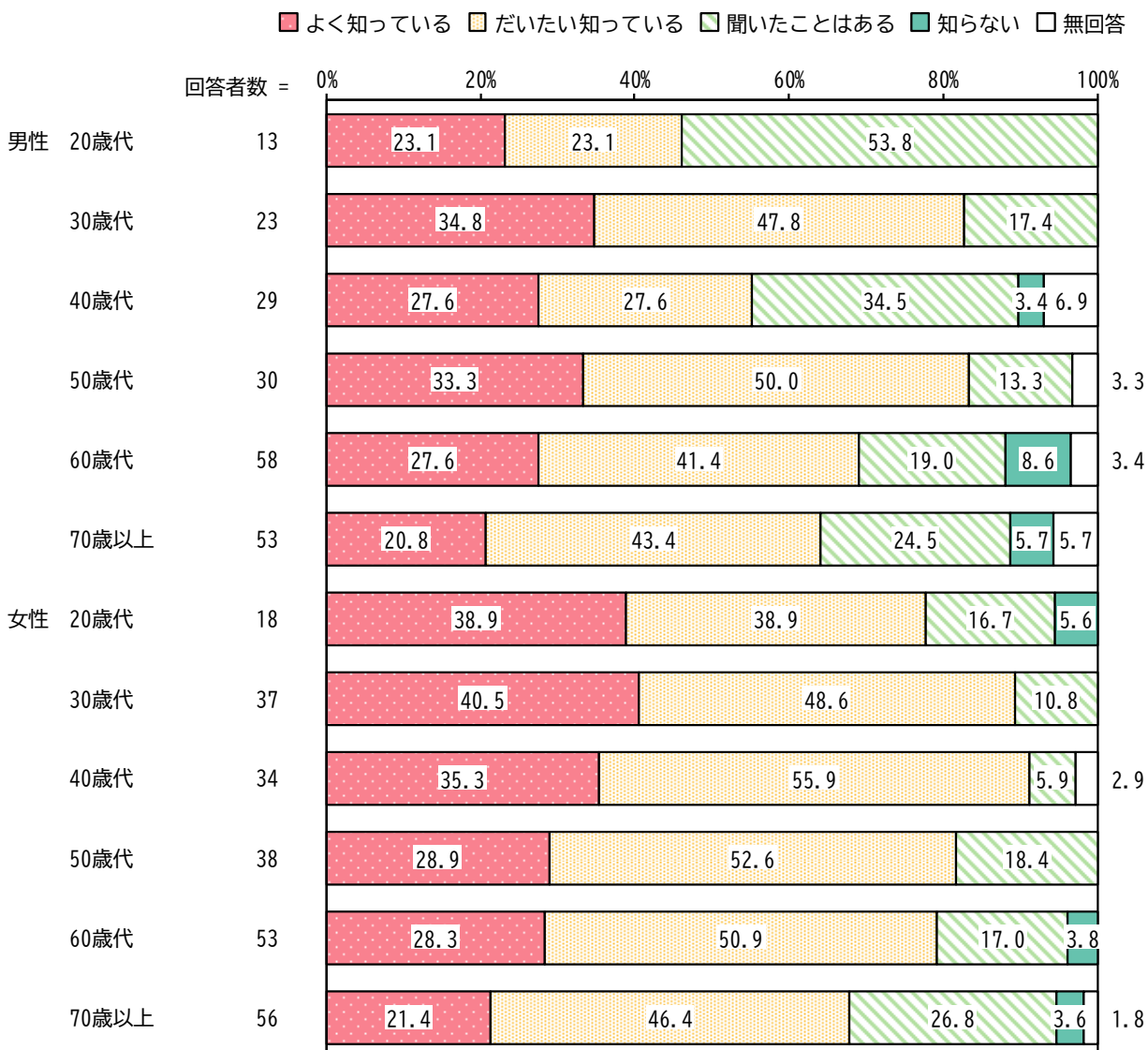
「だいたい知っている」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が 28.7%、「聞いたことはある」の割合が 20.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



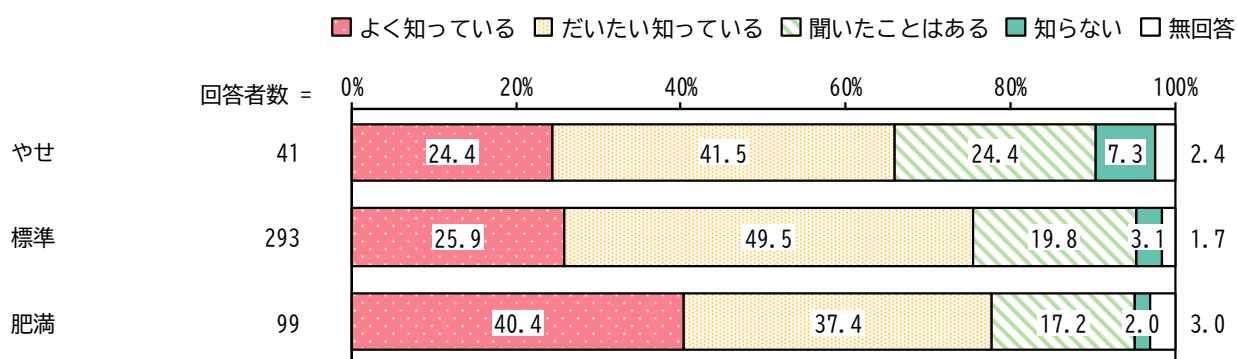
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 20 歳代、30 歳代で「よく知っている」、40 歳代で「だいたい知っている」、男性 20 歳代で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。



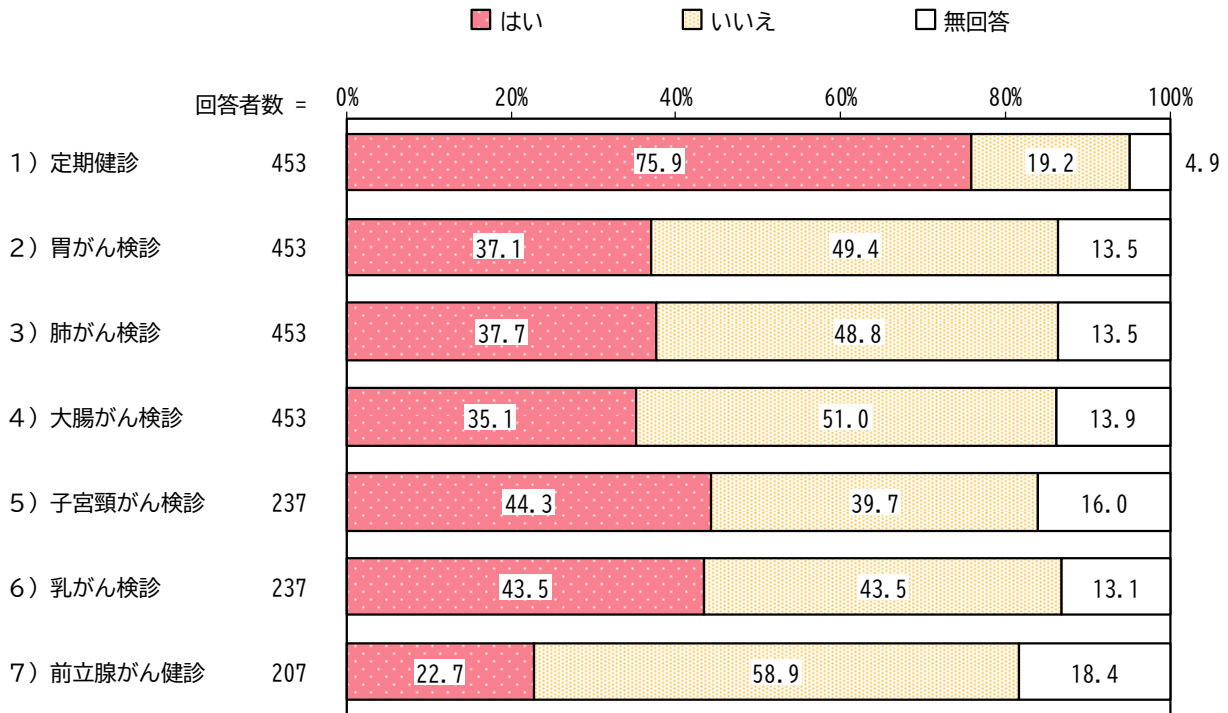
【BMI別】

BMI別にみると、BMIが上がるほど「よく知っている」の割合が高く、「聞いたことはある」の割合が低くなっています。



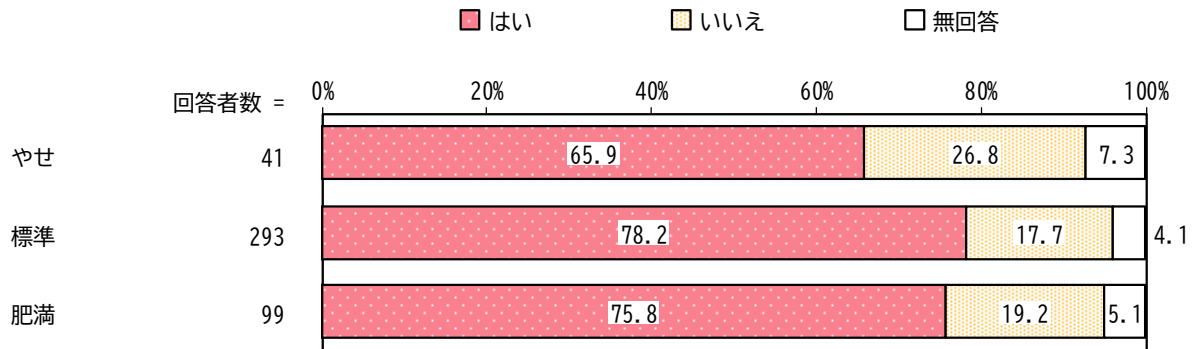
問 30 1年以内に定期健診やがん検診等を受けましたか。(胃・子宮頸・乳がんは、2年以内)(それぞれの項目について、該当するものに○をつけてください)

『1) 定期健診』で「はい」が、『7) 前立腺がん健診』で「いいえ」が高くなっています。



【BMI別】

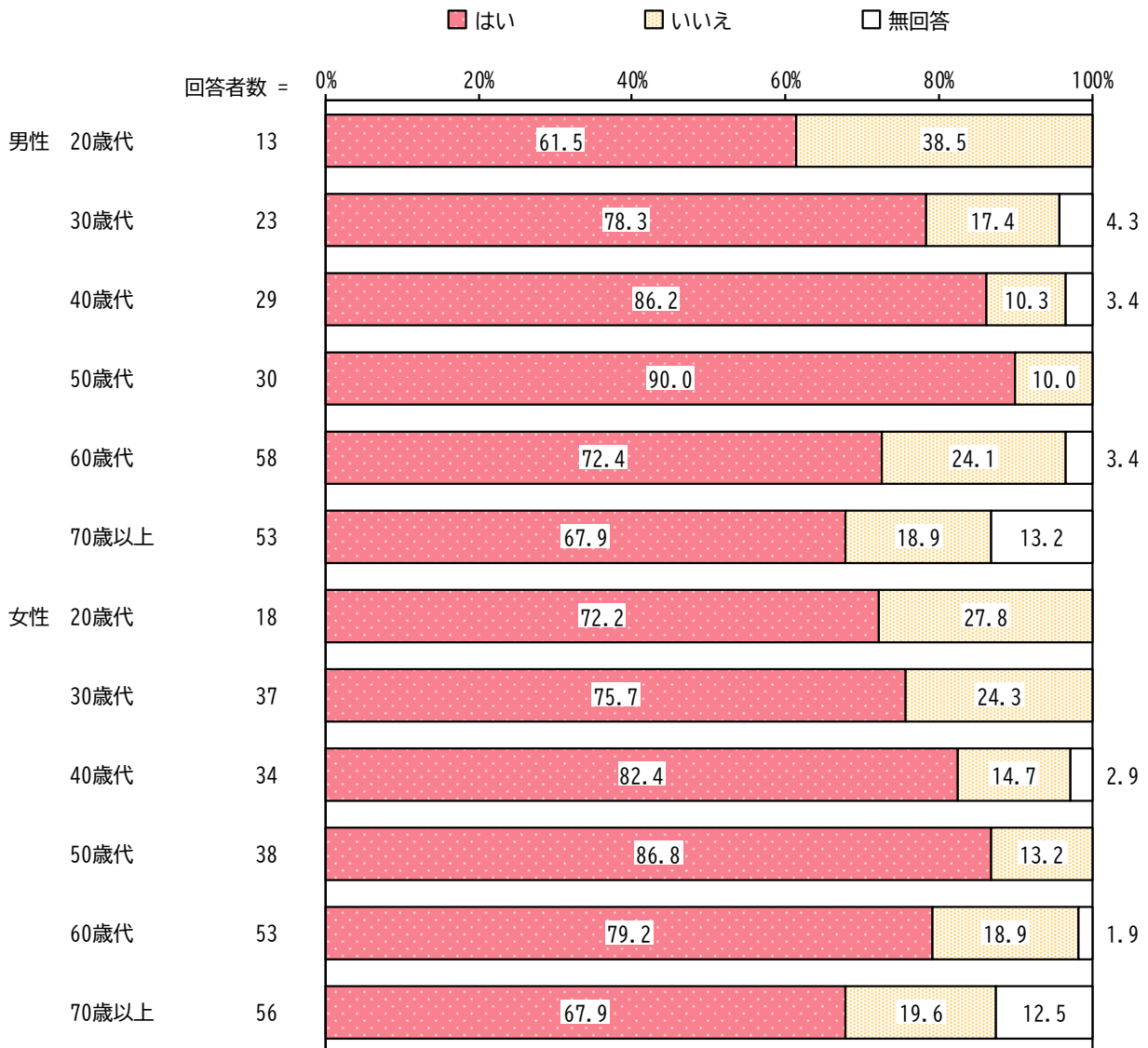
BMI別にみると、やせで「いいえ」の割合が高くなっています。



1) 定期健診

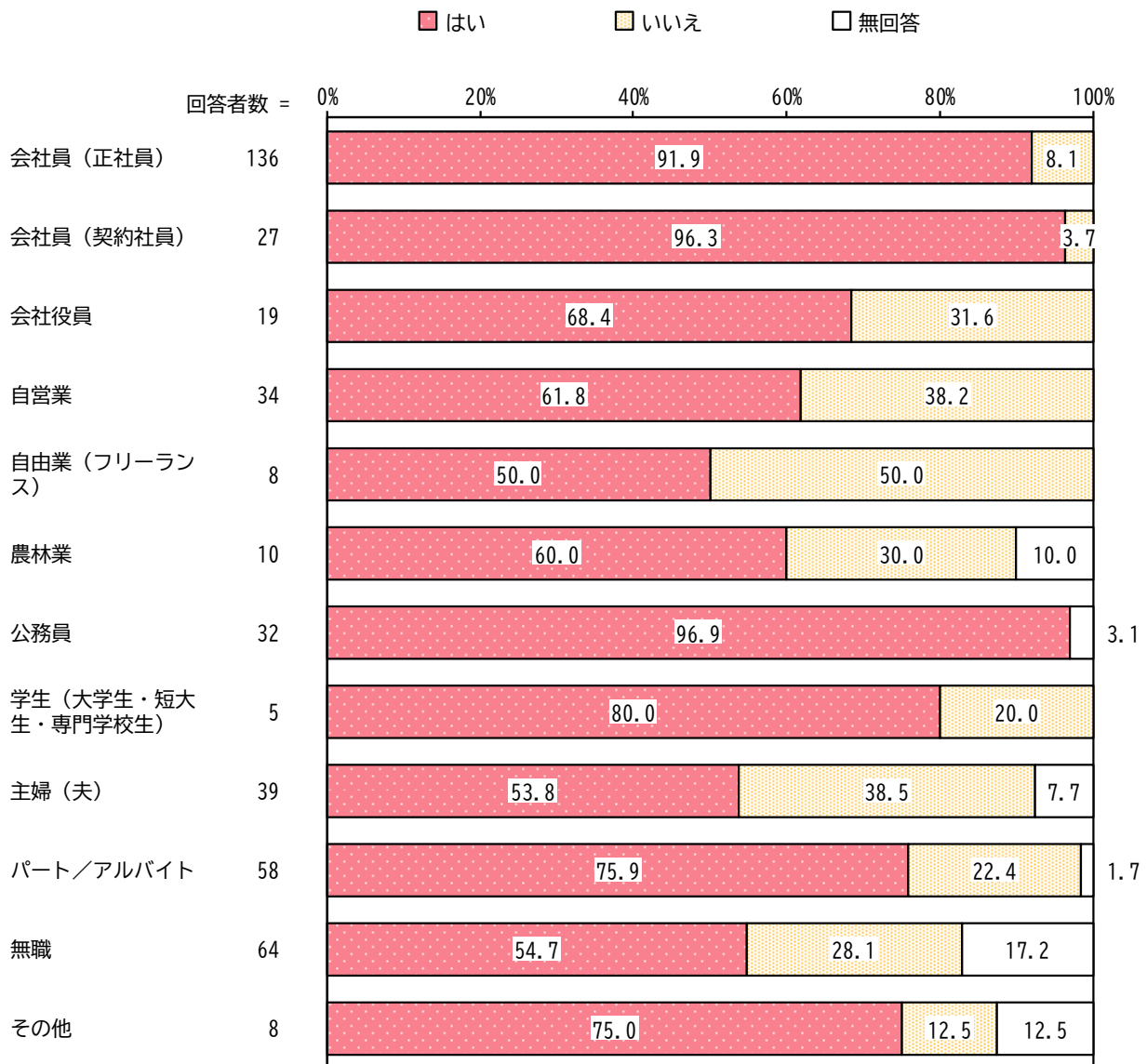
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 50 歳代で「はい」、男性 20 歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【職業別】

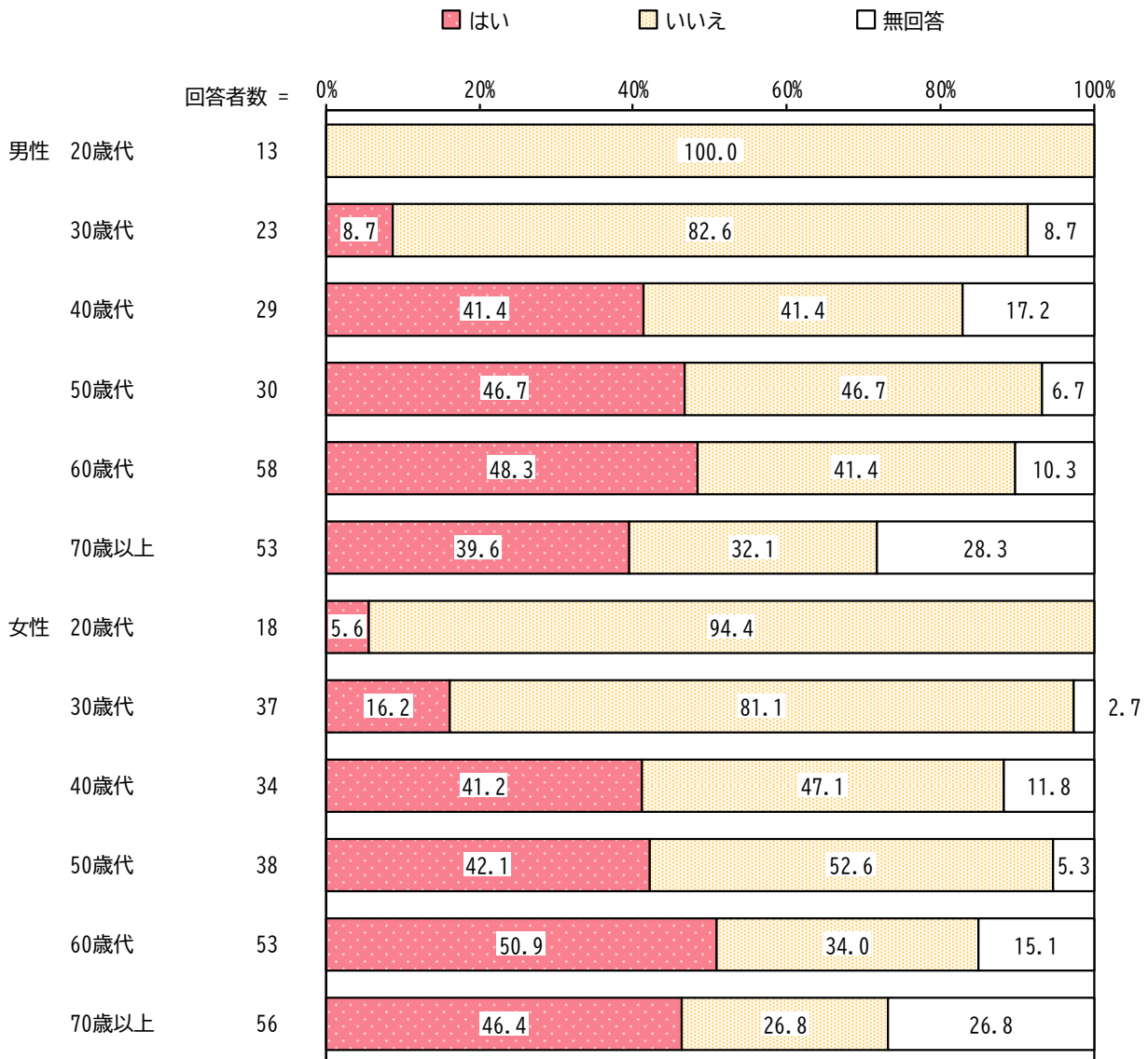
職業別にみると、会社員（契約社員）、公務員で「はい」、自営業、主婦（夫）で「いいえ」の割合が高くなっています。



2) 胃がん検診

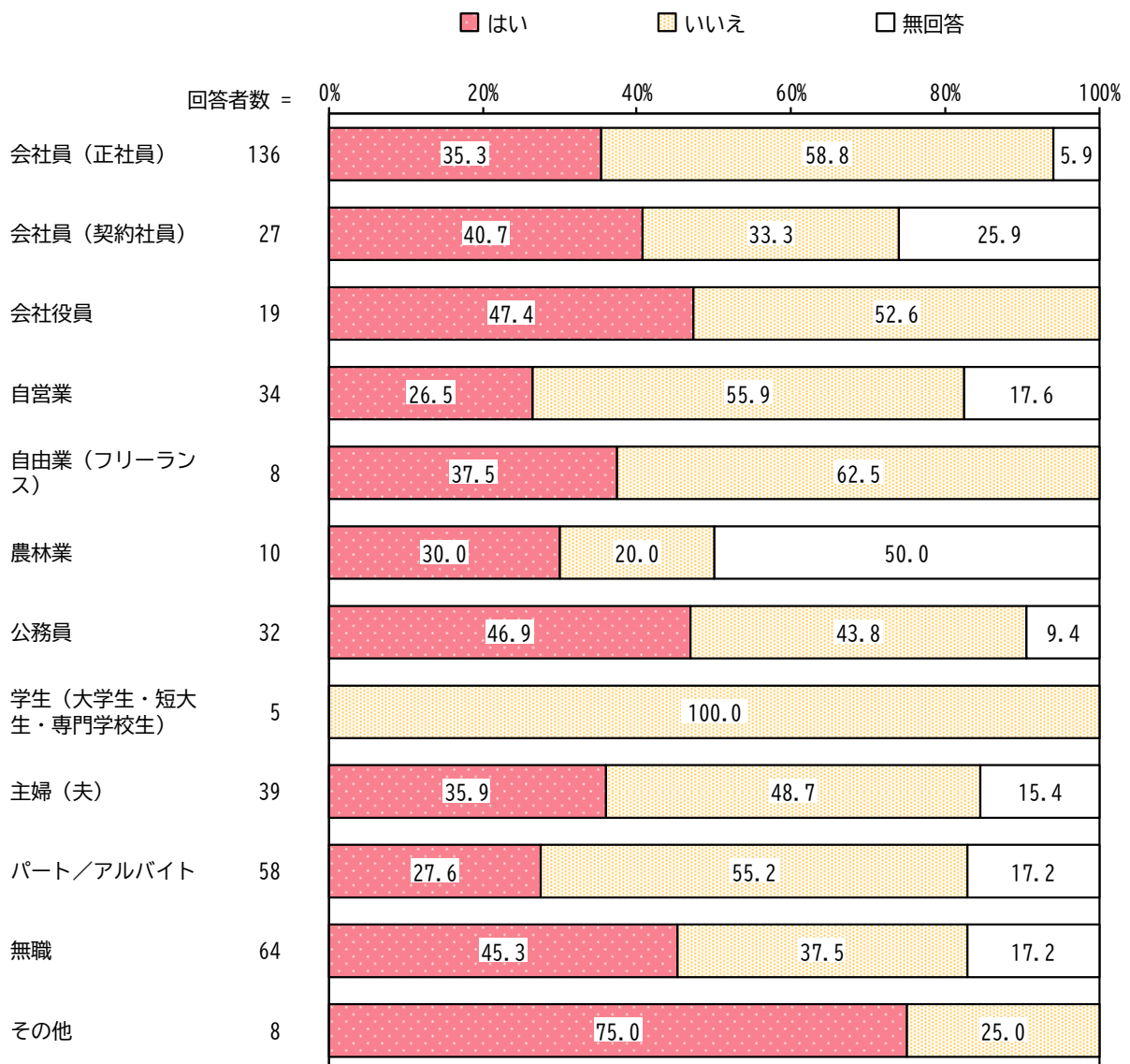
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに60歳代で「はい」の割合が高くなっています。



【職業別】

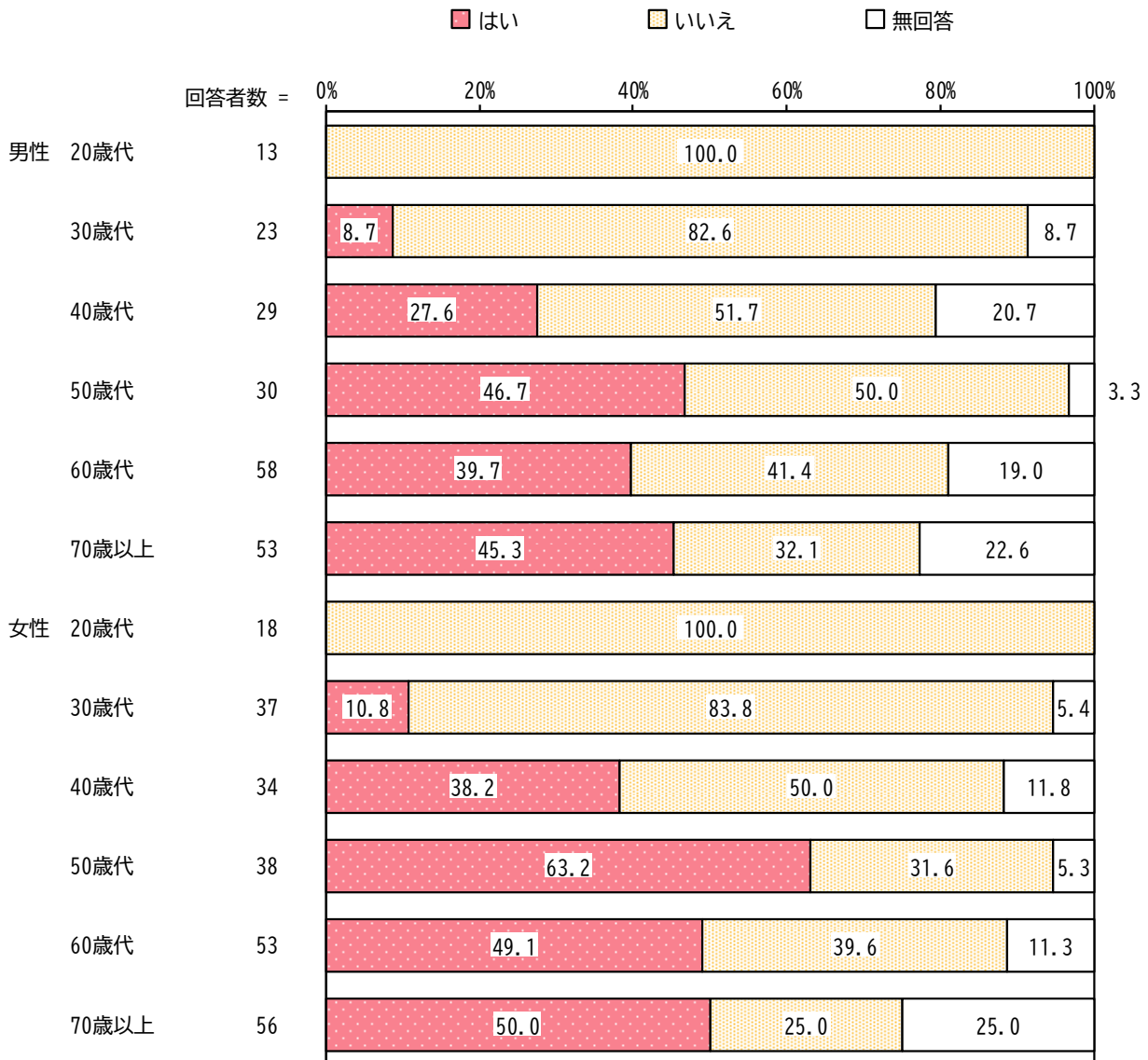
職業別にみると、会社役員、公務員で「はい」の割合が高くなっています。



3) 肺がん検診

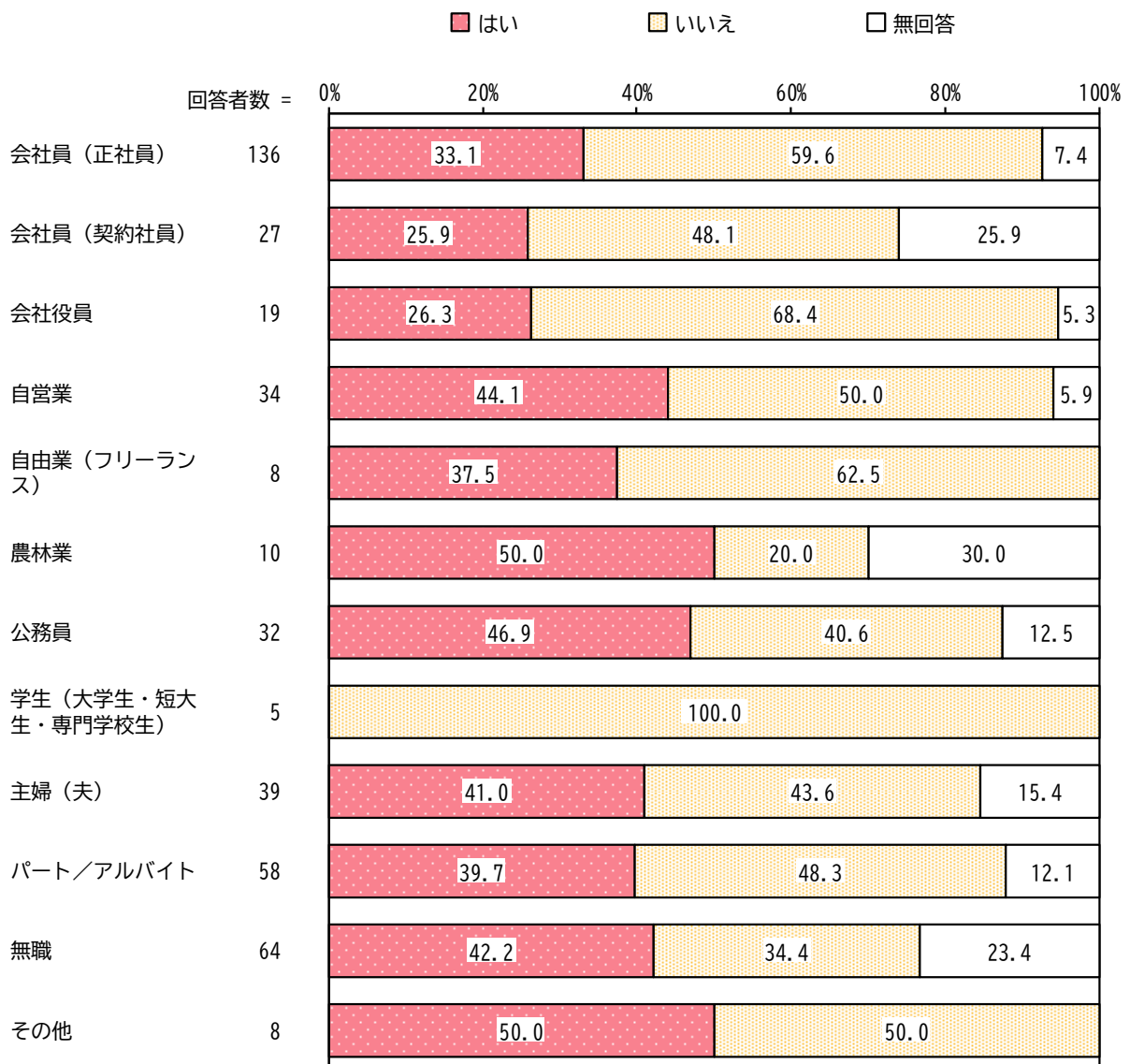
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 50 歳代で「はい」の割合が高くなっています。



【職業別】

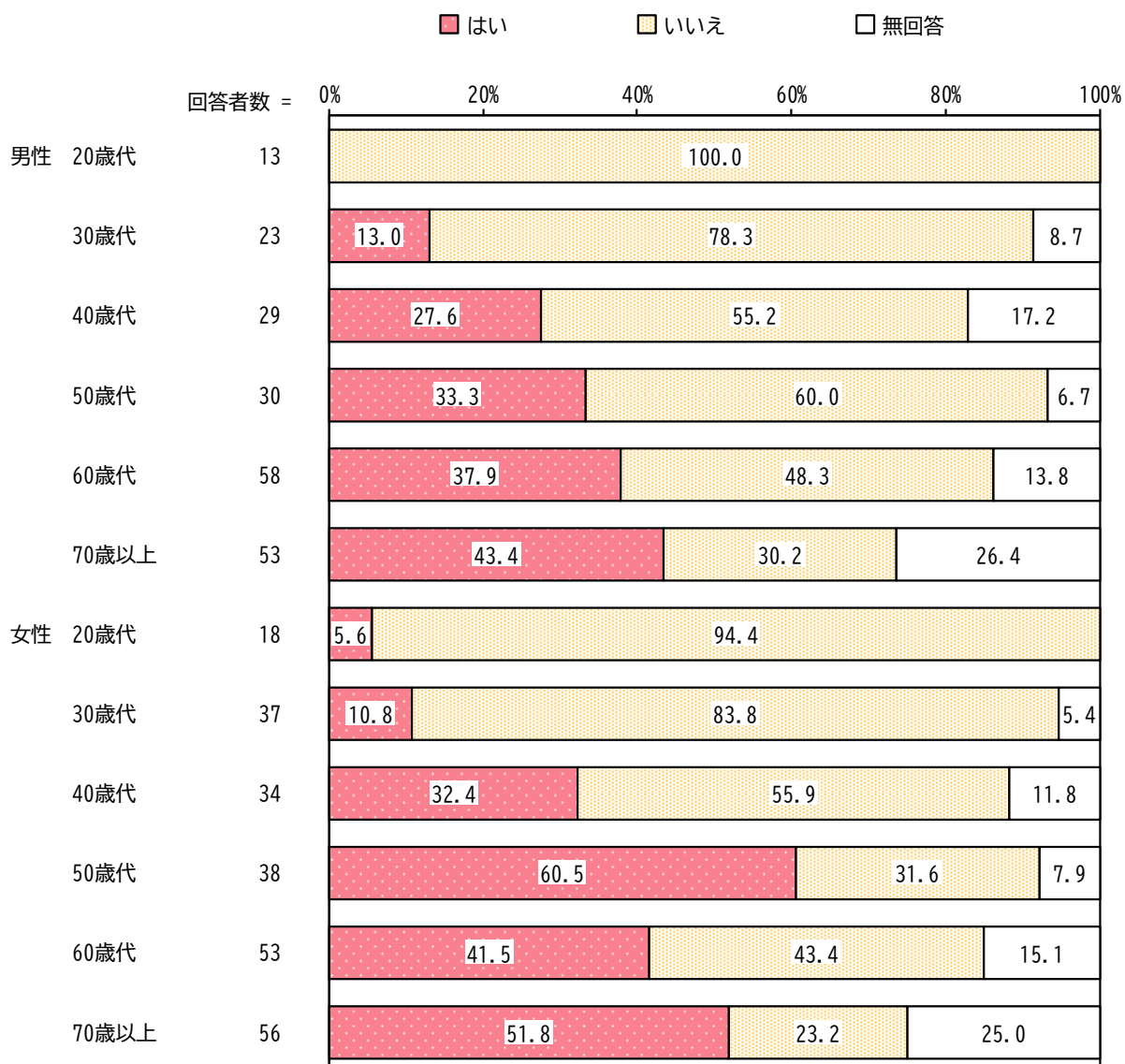
職業別にみると、農林業で「はい」、会社役員で「いいえ」の割合が高くなっています。



4) 大腸がん検診

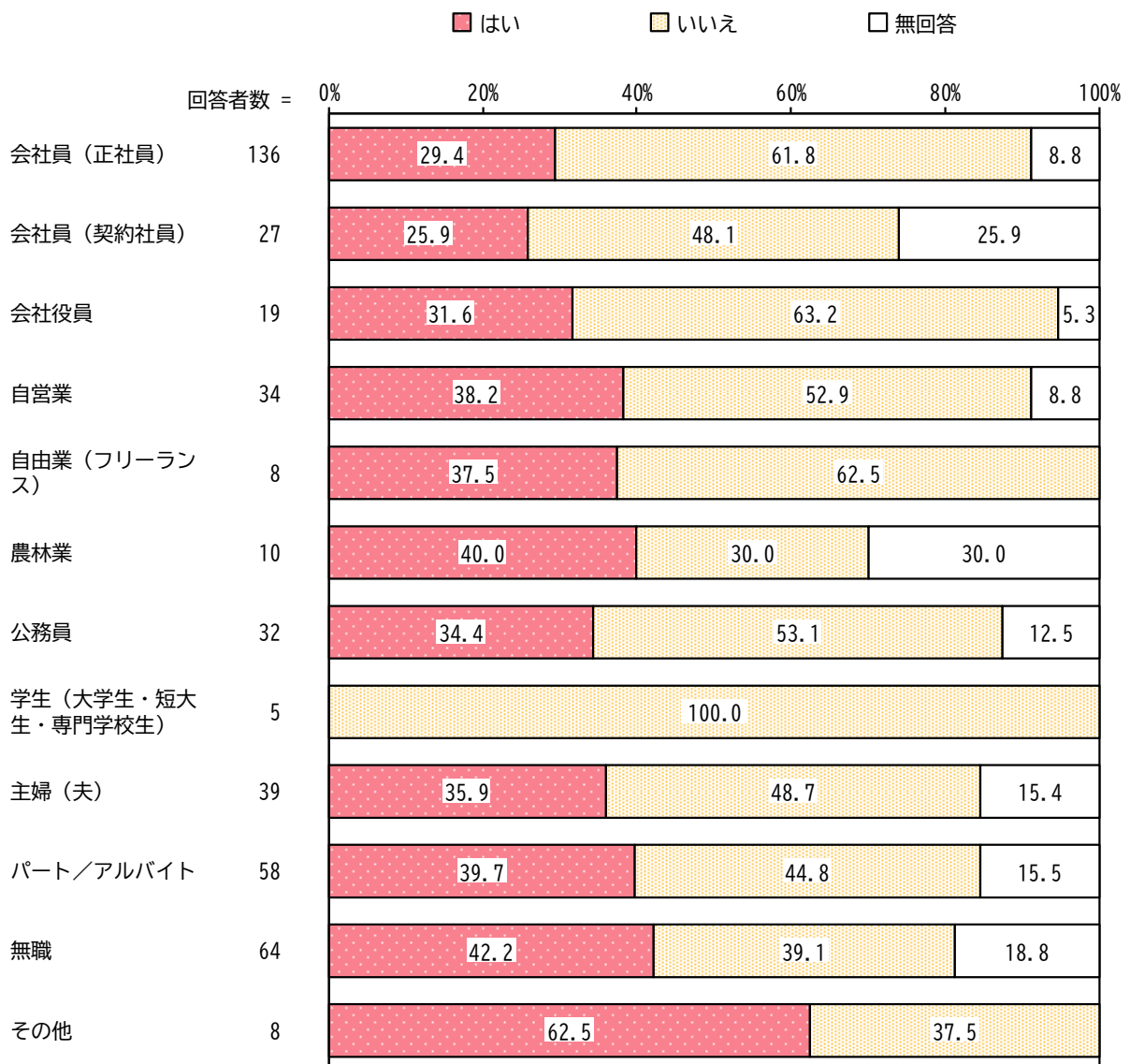
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなり、女性は50歳代で「はい」の割合が最も高くなっています。



【職業別】

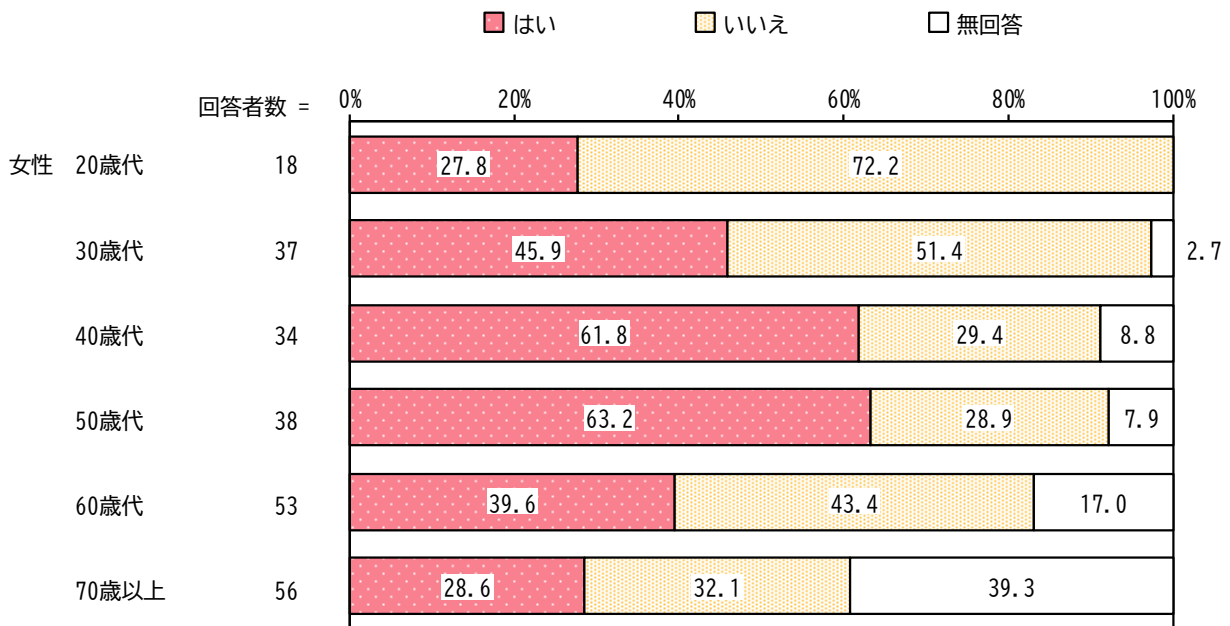
職業別にみると、会社員（正社員）、会社役員で「いいえ」の割合が高くなっています。



5) 子宮頸がん検診（女性のみ）

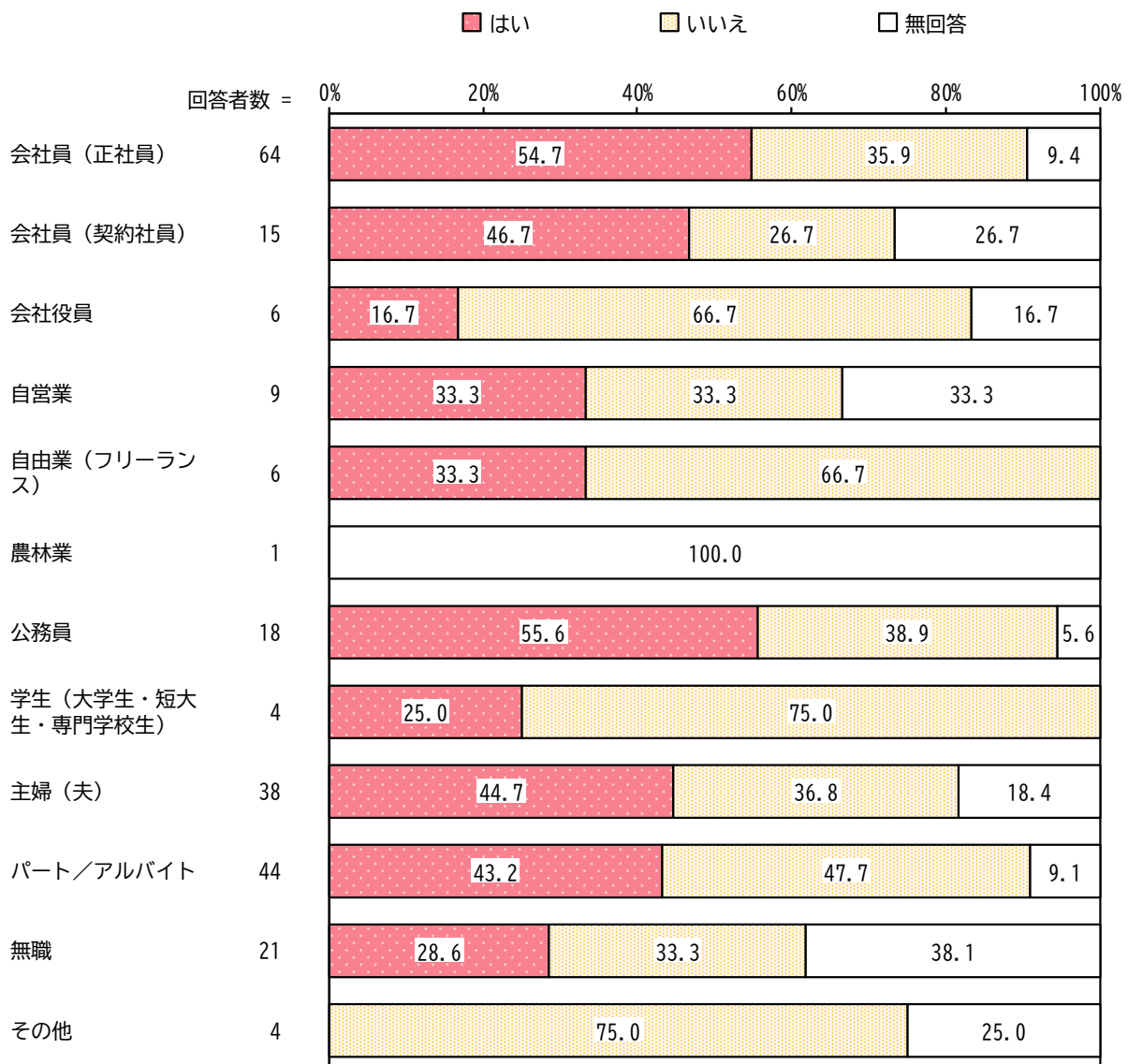
【年齢別】

年齢別にみると、40歳代、50歳代で「はい」、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【職業別】

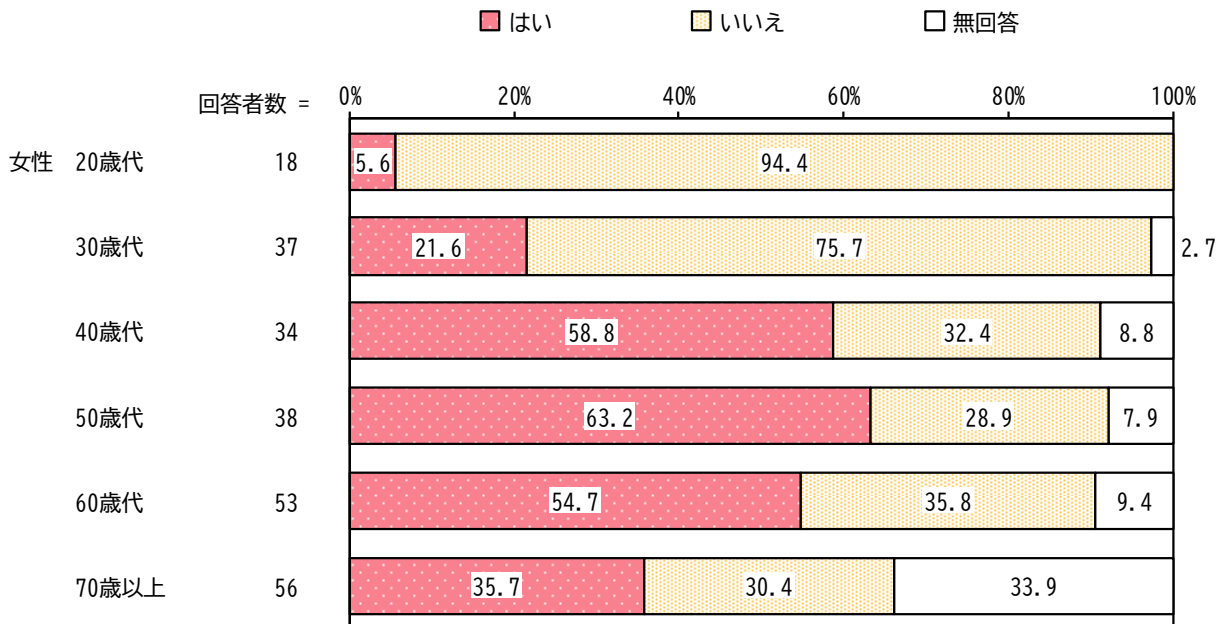
職業別にみると、会社員（正社員）、公務員で「はい」の割合が高くなっています。



6) 乳がん検診（女性のみ）

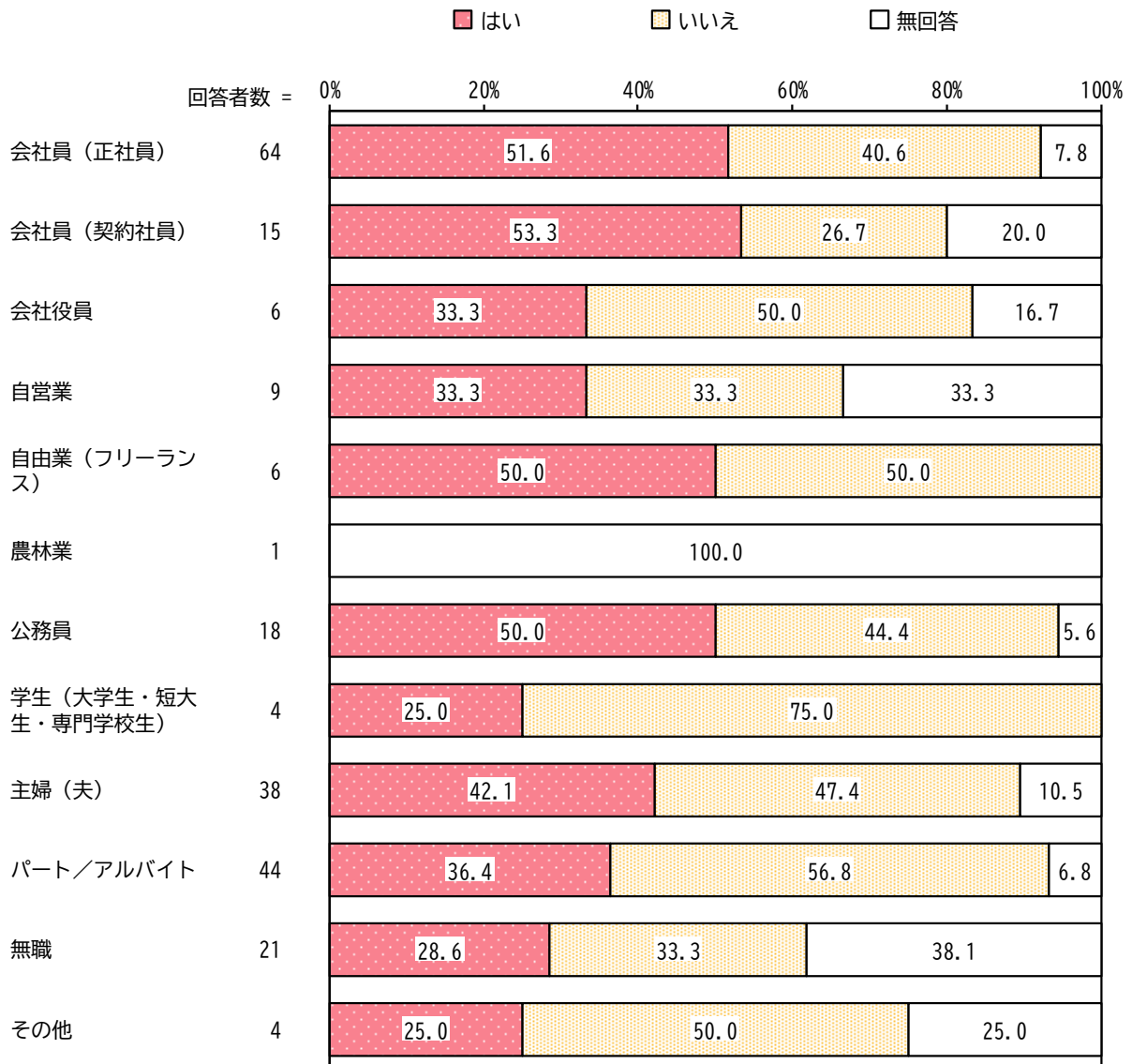
【年齢別】

年齢別にみると40歳代から60歳代で「はい」、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【職業別】

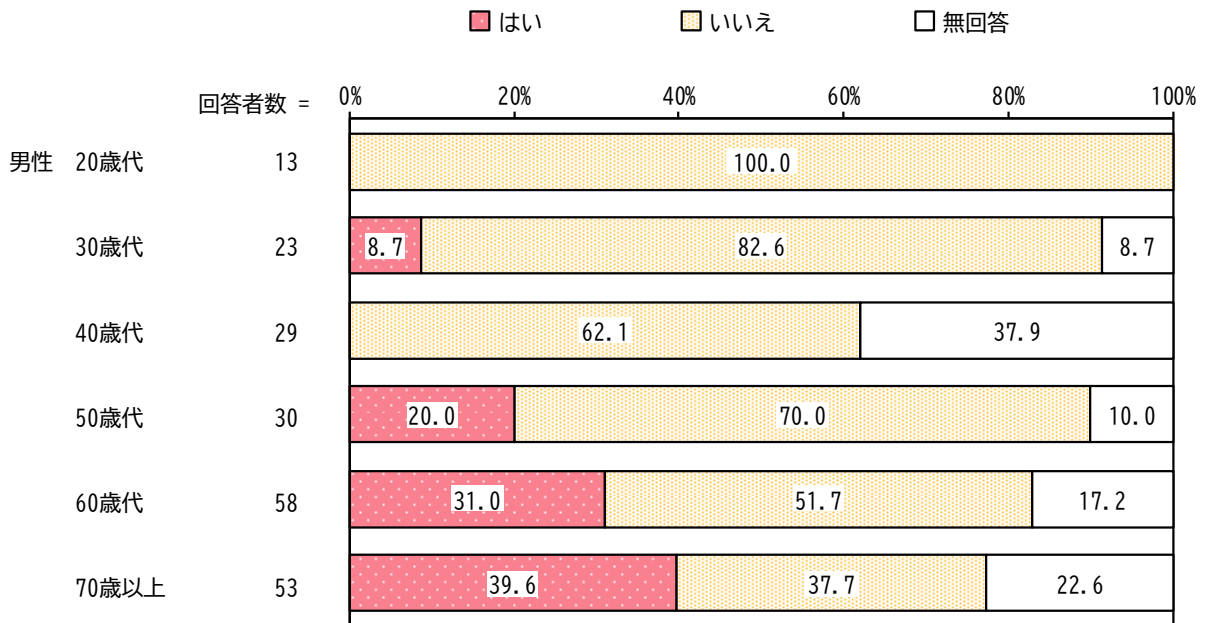
職業別にみると、会社員（正社員）、会社員（契約社員）で「はい」の割合が、パート／アルバイトで「いいえ」の割合が高くなっています。



7) 前立腺がん健診（男性のみ）

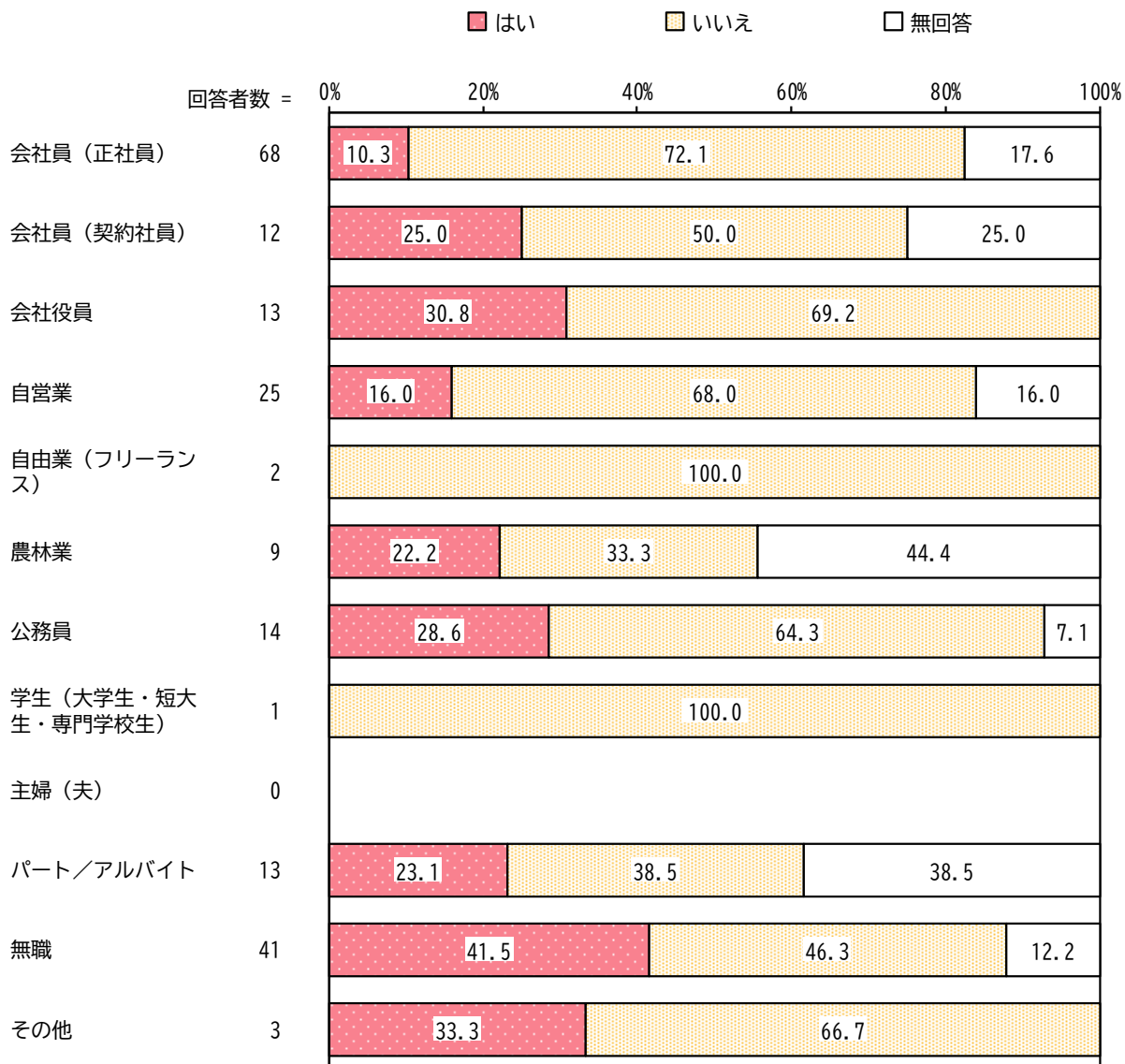
【年齢別】

年齢別にみると、50歳代から年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【職業別】

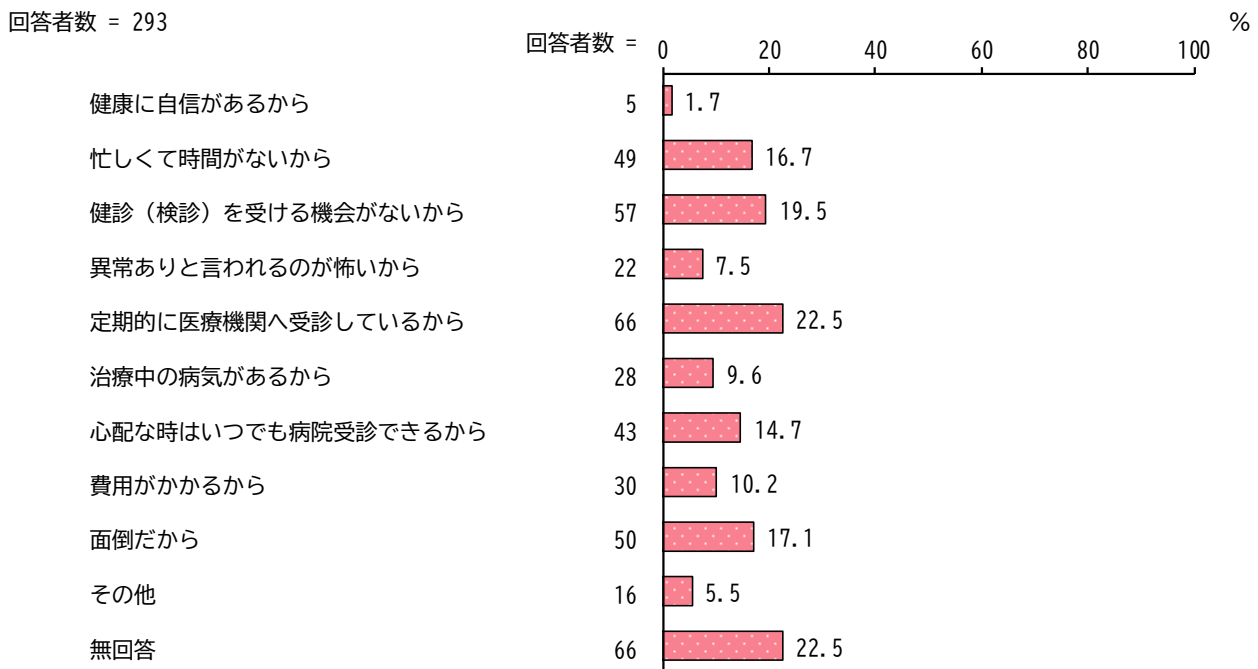
職業別にみると、無職で「はい」、会社員（正社員）、会社役員で「いいえ」の割合が高くなっています。



◆問 30 で「いいえ」と回答された方にお聞きします。

・それはなぜですか（〇はいくつでも可）。

「定期的に医療機関へ受診しているから」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「健診（検診）を受ける機会がないから」の割合が 19.5%、「面倒だから」の割合が 17.1%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 20 歳代から 40 歳代で「健診（検診）を受ける機会がないから」「面倒だから」、男性 60 歳代、70 歳以上で「定期的に医療機関へ受診しているから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	健康に自信があるから	忙しくて時間がないから	健診（検診）を受ける機会がないから	異常ありと言われるのが怖いから	定期的に医療機関へ受診しているから	治療中の病気があるから	心配な時はいつでも病院受診できるから	費用がかかるから	面倒だから	その他	無回答
全 体	293	1.7	16.7	19.5	7.5	22.5	9.6	14.7	10.2	17.1	5.5	22.5
男性 20歳代	13	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	46.2	0.0	7.7
30歳代	19	0.0	15.8	36.8	10.5	15.8	5.3	10.5	21.1	26.3	5.3	26.3
40歳代	19	0.0	21.1	31.6	5.3	15.8	0.0	10.5	15.8	26.3	0.0	21.1
50歳代	24	0.0	29.2	8.3	4.2	16.7	4.2	0.0	8.3	12.5	12.5	33.3
60歳代	34	0.0	11.8	17.6	5.9	38.2	17.6	8.8	0.0	17.6	2.9	17.6
70歳以上	25	0.0	0.0	4.0	12.0	52.0	16.0	20.0	0.0	12.0	0.0	20.0
女性 20歳代	18	5.6	16.7	33.3	5.6	11.1	5.6	11.1	5.6	22.2	11.1	16.7
30歳代	35	2.9	28.6	37.1	11.4	8.6	5.7	11.4	20.0	14.3	14.3	17.1
40歳代	23	8.7	17.4	13.0	0.0	4.3	0.0	17.4	4.3	21.7	4.3	34.8
50歳代	24	4.2	8.3	8.3	8.3	12.5	12.5	12.5	12.5	4.2	8.3	33.3
60歳代	30	0.0	16.7	10.0	13.3	23.3	13.3	20.0	10.0	6.7	0.0	26.7
70歳以上	20	0.0	0.0	0.0	5.0	60.0	25.0	45.0	5.0	15.0	0.0	15.0

【職業別】

職業別にみると、会社役員で「忙しくて時間がないから」、会社員（正社員）で「健診（検診）を受ける機会がないから」、主婦（夫）で「異常ありと言われるのが怖いから」「心配な時はいつでも病院受診できるから」、無職で「定期的に医療機関へ受診しているから」「治療中の病気があるから」の割合が高くなっています。

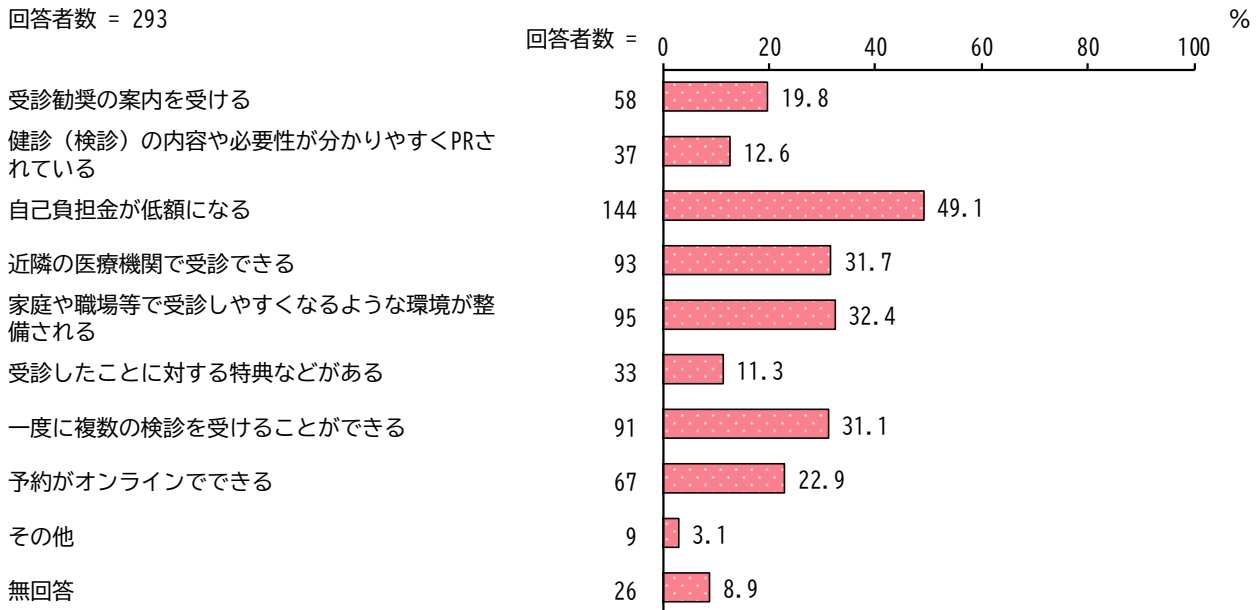
単位：%

区分	回答者数（件）	健康に自信があるから	忙しくて時間がないから	健診（検診）を受ける機会がないから	異常ありと言われるのが怖いから	定期的に医療機関へ受診しているから	治療中の病気があるから	心配な時はいつでも病院受診できるから	費用がかかるから	面倒だから	その他	無回答
全体	293	1.7	16.7	19.5	7.5	22.5	9.6	14.7	10.2	17.1	5.5	22.5
会社員（正社員）	98	1.0	22.4	30.6	7.1	13.3	4.1	10.2	13.3	25.5	6.1	23.5
会社員（契約社員）	18	0.0	11.1	16.7	0.0	27.8	5.6	16.7	5.6	5.6	0.0	38.9
会社役員	15	6.7	33.3	6.7	0.0	13.3	0.0	20.0	6.7	20.0	0.0	20.0
自営業	22	4.5	27.3	22.7	4.5	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1
自由業（フリーランス）	6	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7
農林業	5	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0
公務員	23	0.0	21.7	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3	17.4	13.0	17.4	26.1
学生（大学生・短大生・専門学校生）	5	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
主婦（夫）	21	0.0	4.8	14.3	19.0	33.3	14.3	28.6	4.8	14.3	4.8	14.3
パート／アルバイト	38	0.0	13.2	13.2	5.3	28.9	13.2	13.2	13.2	7.9	2.6	28.9
無職	34	0.0	0.0	8.8	8.8	38.2	26.5	23.5	5.9	20.6	2.9	17.6
その他	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0

問 31 どのような条件が整えば健康診断やがん検診等が受けやすいですか。(〇はいくつでも可)

「自己負担金が低額になる」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「家庭や職場等で受診しやすくなるような環境が整備される」の割合が 32.4%、「近隣の医療機関で受診できる」の割合が 31.7%となっています。

回答者数 = 293



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から60歳代で「自己負担金が低額になる」の割合が高く、70歳以上では「近隣の医療機関で受診できる」の割合が高くなっています。また、30歳代で「受診勧奨の案内を受ける」「健診（検診）の内容や必要性が分かりやすくPRされている」「受診したことに対する特典などがある」「予約がオンラインでできる」の割合が他の年齢と比べ、高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	受診勧奨の案内を受ける	健診（検診）の内容や必要性が分かりやすくPRされている	自己負担金が低額になる	近隣の医療機関で受診できる	家庭や職場等で受診しやすくなるような環境が整備される	受診したことに対する特典などがある	一度に複数の検診を受けることができる	予約がオンラインでできる	その他	無回答
全体	293	19.8	12.6	49.1	31.7	32.4	11.3	31.1	22.9	3.1	8.9
20歳代	31	22.6	16.1	54.8	35.5	51.6	9.7	22.6	16.1	—	3.2
30歳代	58	27.6	25.9	60.3	36.2	48.3	24.1	41.4	48.3	5.2	1.7
40歳代	42	9.5	11.9	54.8	26.2	42.9	11.9	26.2	23.8	4.8	7.1
50歳代	49	22.4	4.1	57.1	18.4	30.6	12.2	30.6	24.5	4.1	6.1
60歳代	64	14.1	4.7	46.9	39.1	17.2	1.6	39.1	14.1	—	10.9
70歳以上	47	21.3	14.9	21.3	34.0	12.8	8.5	17.0	4.3	4.3	23.4

【性・年齢別】

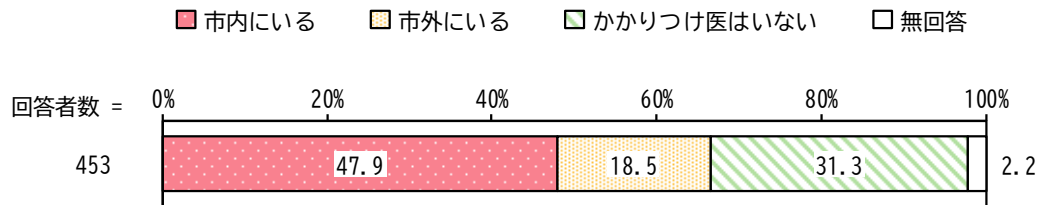
性・年齢別にみると、男性 20 歳代、女性 30 歳代で「受診勧奨の案内を受ける」「自己負担金が低額になる」「家庭や職場等で受診しやすくなるような環境が整備される」、男女ともに 30 歳代で「健診（検診）の内容や必要性が分かりやすく PR されている」、女性 60 歳代で「近隣の医療機関で受診できる」、女性 30 歳代で「受診したことに対する特典などがある」「一度に複数の検診を受けることができる」「予約がオンラインでできる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	受診勧奨の案内を受ける	健診（検診）の内容や必要性が分かりやすく PR されている	自己負担金が低額になる	近隣の医療機関で受診できる	家庭や職場等で受診しやすくなるような環境が整備される	受診したことに対する特典などがある	一度に複数の検診を受けることができる	予約がオンラインでできる	その他	無回答
全 体	293	19.8	12.6	49.1	31.7	32.4	11.3	31.1	22.9	3.1	8.9
男性 20歳代	13	30.8	15.4	76.9	38.5	53.8	7.7	23.1	23.1	0.0	0.0
30歳代	19	26.3	26.3	52.6	31.6	42.1	15.8	31.6	42.1	0.0	5.3
40歳代	19	10.5	15.8	57.9	21.1	36.8	5.3	21.1	15.8	5.3	5.3
50歳代	24	16.7	4.2	62.5	20.8	16.7	12.5	29.2	8.3	0.0	8.3
60歳代	34	17.6	8.8	41.2	32.4	11.8	0.0	41.2	11.8	0.0	17.6
70歳以上	25	24.0	12.0	32.0	32.0	8.0	12.0	16.0	0.0	4.0	24.0
女性 20歳代	18	16.7	16.7	38.9	33.3	50.0	11.1	22.2	11.1	0.0	5.6
30歳代	35	31.4	28.6	68.6	40.0	54.3	25.7	51.4	48.6	8.6	0.0
40歳代	23	8.7	8.7	52.2	30.4	47.8	17.4	30.4	30.4	4.3	8.7
50歳代	24	29.2	4.2	54.2	16.7	41.7	12.5	33.3	41.7	8.3	4.2
60歳代	30	10.0	0.0	53.3	46.7	23.3	3.3	36.7	16.7	0.0	3.3
70歳以上	20	20.0	20.0	10.0	35.0	20.0	5.0	15.0	10.0	5.0	20.0

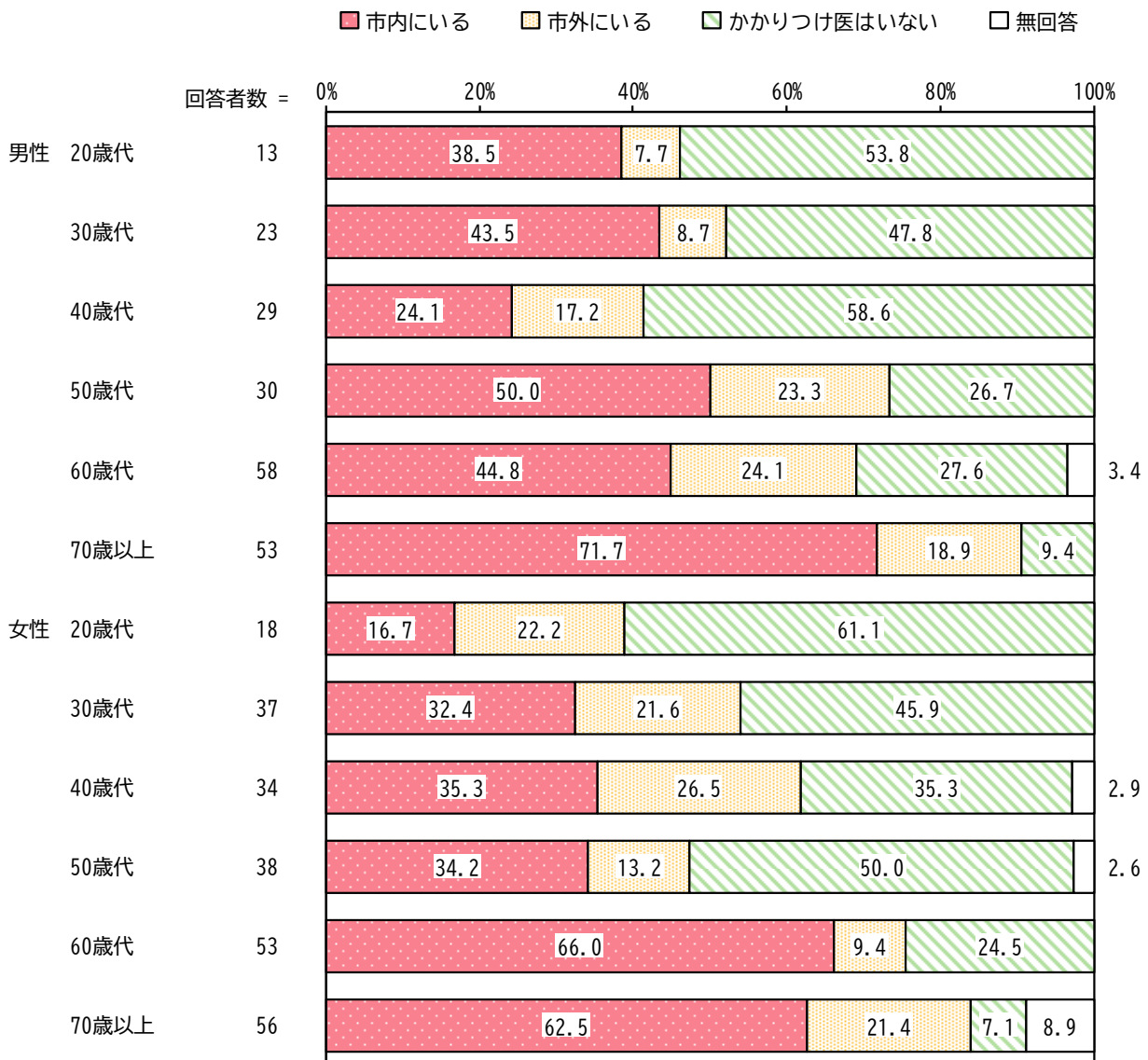
問 32 かかりつけ医がいますか。

「市内にいる」の割合が 47.9%、「市外にいる」の割合が 18.5%、「かかりつけ医はいない」の割合が 31.3%となっています。



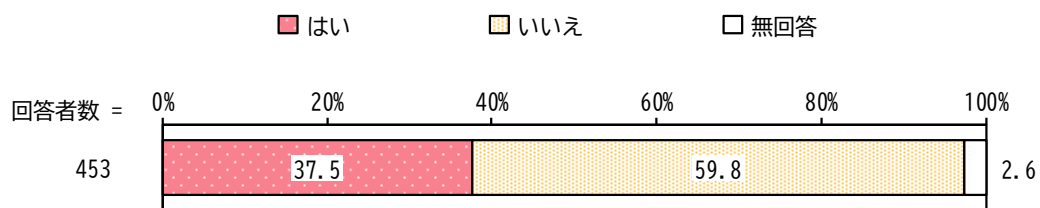
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 70 歳以上で「市内にいる」、男性 40 歳代、女性 20 歳代で「かかりつけ医はいない」の割合が高くなっています。



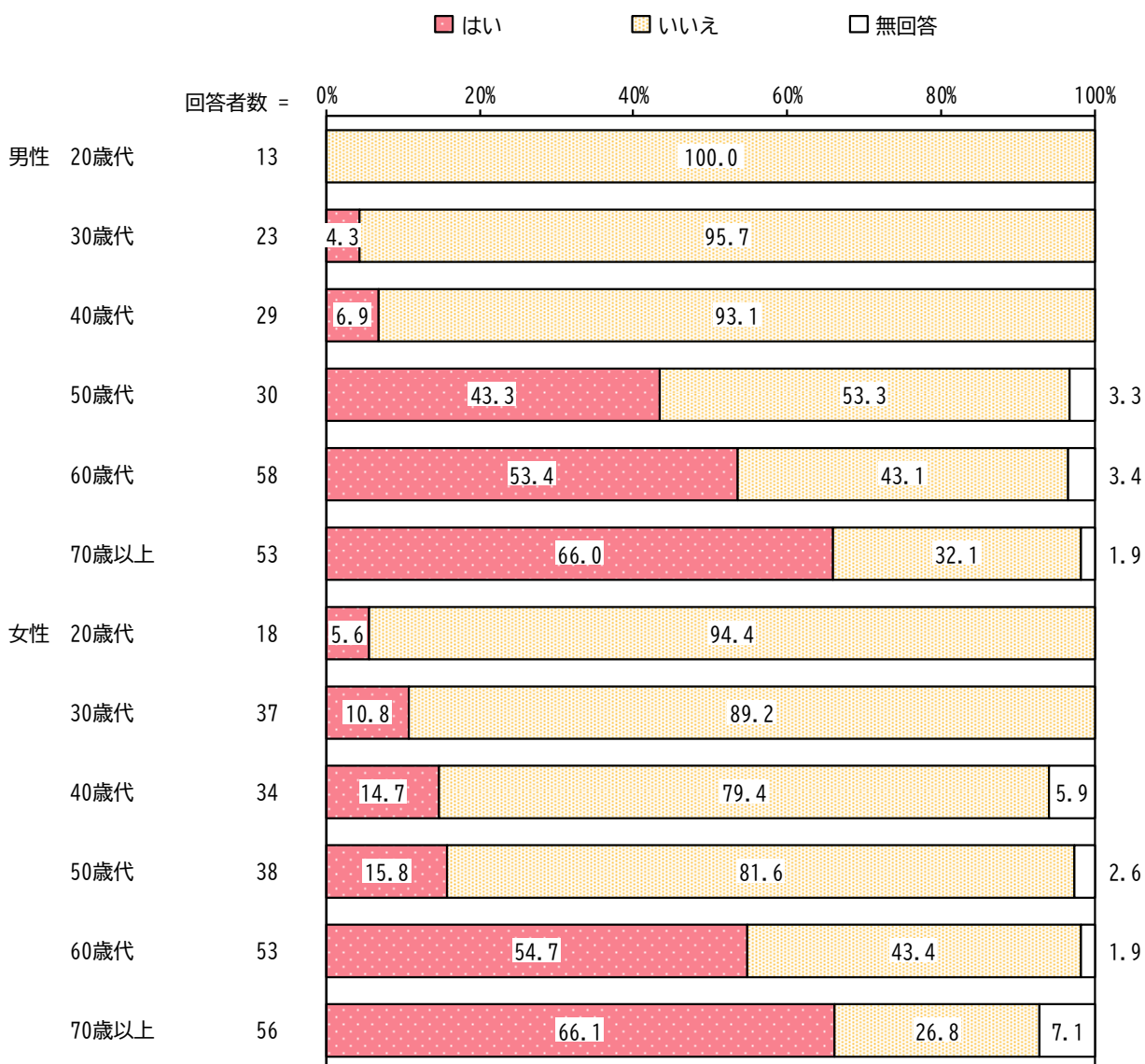
問 33 定期的に家庭血圧を測定していますか。

「はい」の割合が37.5%、「いいえ」の割合が59.8%となっています。



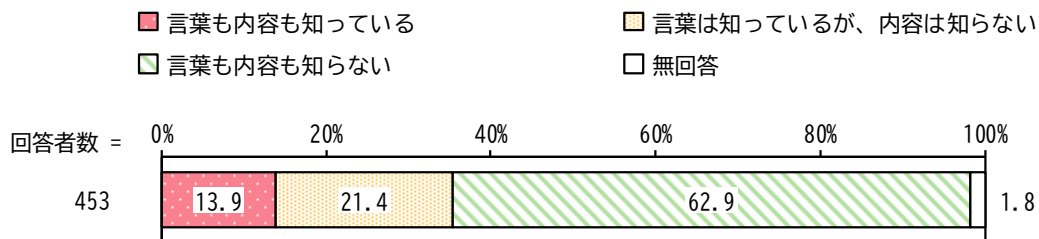
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では50歳代以上、女性では60歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。



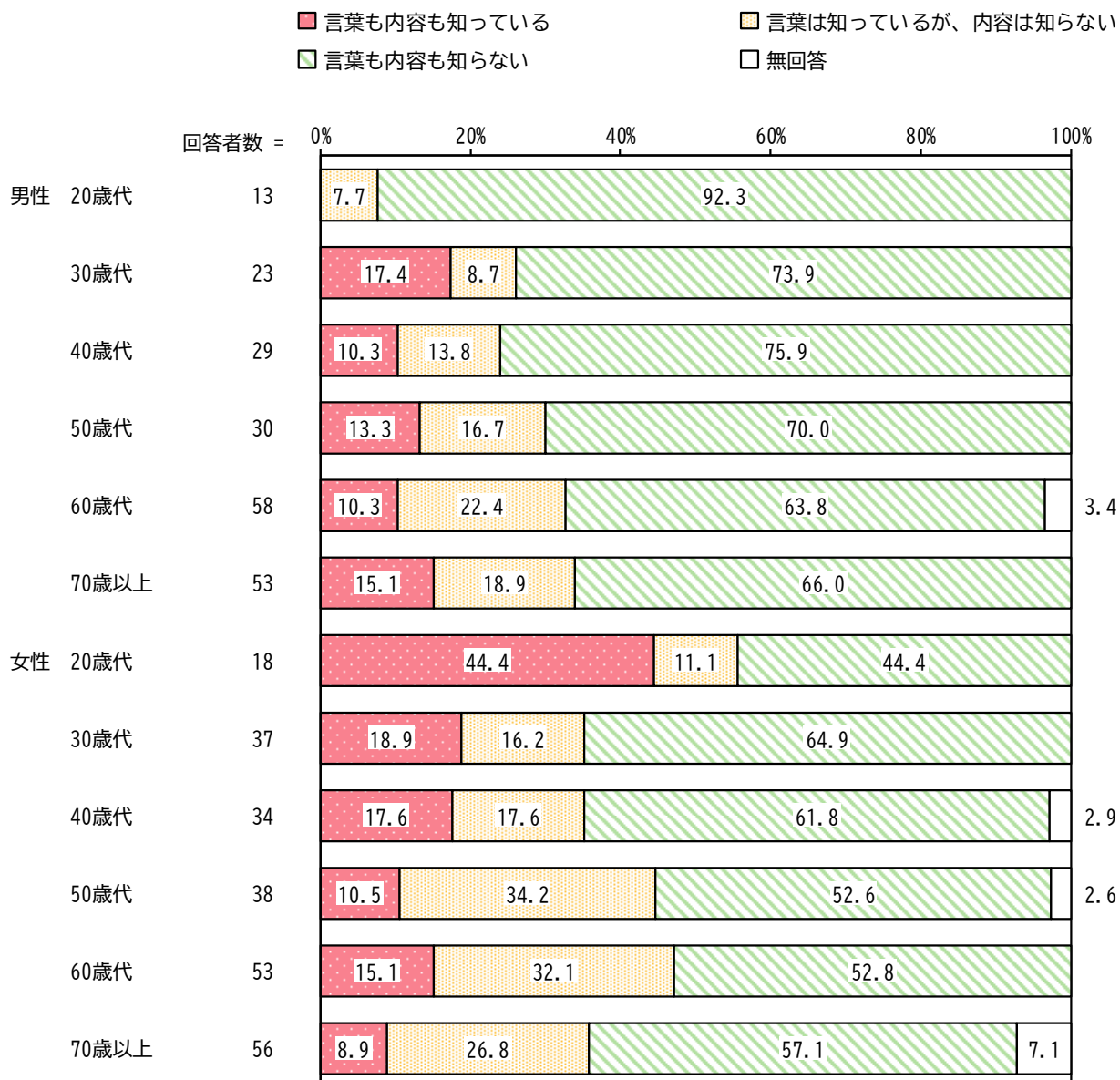
問 34 「CKD（慢性腎臓病）」という病気を知っていますか。

「言葉も内容も知っている」の割合が 13.9%、「言葉は知っているが、内容は知らない」の割合が 21.4%、「言葉も内容も知らない」の割合が 62.9%となっています。



【性・年齢別】

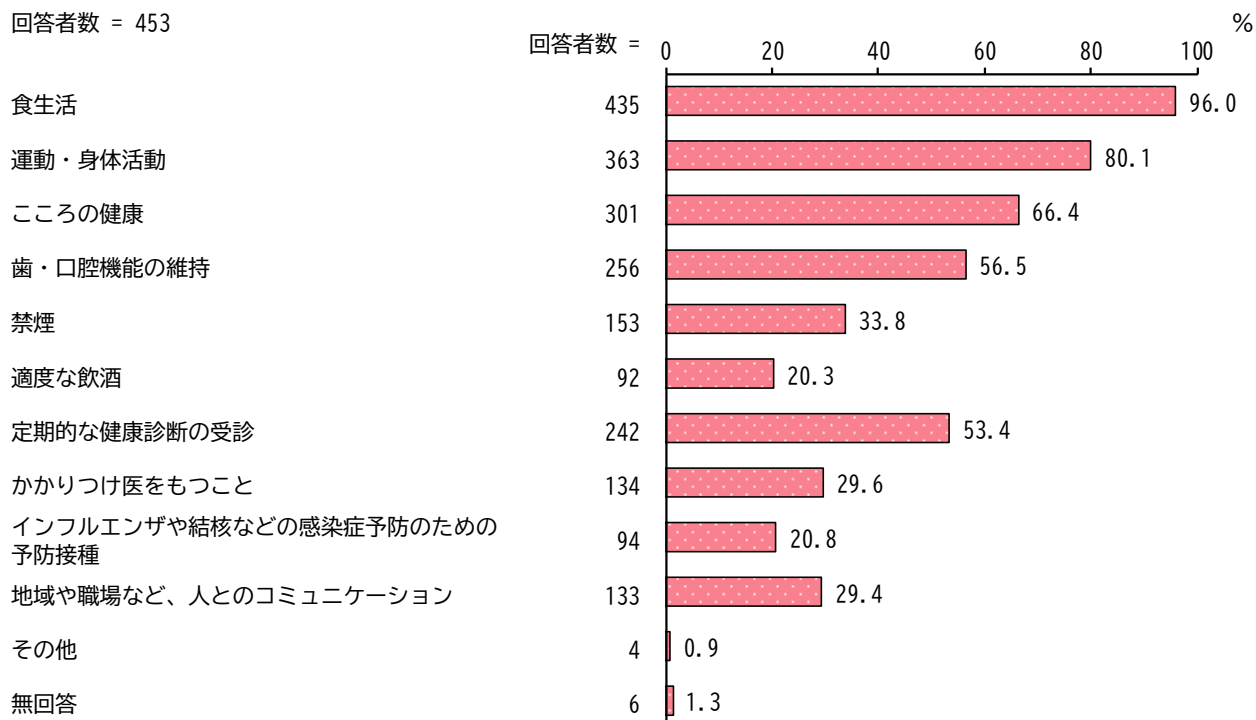
性・年齢別にみると、女性 20 歳代で「言葉も内容も知っている」、女性 50 歳代、60 歳代で「言葉は知っているが、内容は知らない」、男性 20 歳代で「言葉も内容も知らない」の割合が高くなっています。



問 35 健康で過ごすために大切だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも可)

「食生活」の割合が 96.0%と最も高く、次いで「運動・身体活動」の割合が 80.1%、「こころの健康」の割合が 66.4%となっています。

回答者数 = 453



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では 30 歳代で「こころの健康」「歯・口腔機能の維持」「定期的な健康診断の受診」、40 歳代で「禁煙」「適度な飲酒」、男女ともに 70 歳以上で「かかりつけ医をもつこと」「インフルエンザや結核などの感染症予防のための予防接種」の割合が高くなっています。

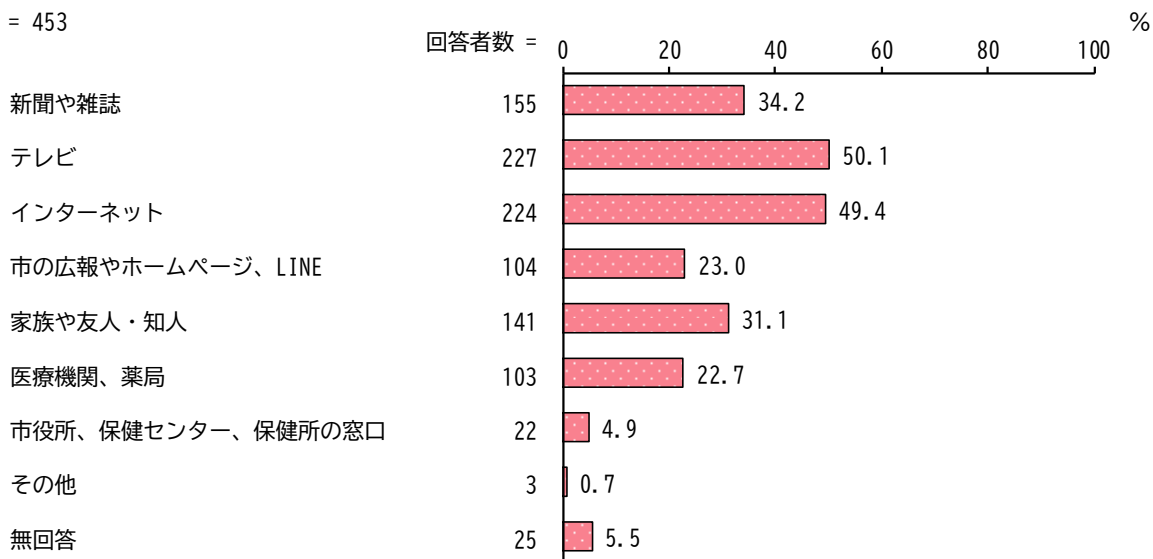
単位：%

区分	回答者数 (件)	食生活	運動・身体活動	こころの健康	歯・口腔機能の維持	禁煙	適度な飲酒	定期的な健康診断の受診	かかりつけ医をもつこと	インフルエンザや結核などの感染症予防のための予防接種	地域や職場など、人とのコミュニケーション	その他	無回答
全体	453	96.0	80.1	66.4	56.5	33.8	20.3	53.4	29.6	20.8	29.4	0.9	1.3
男性 20歳代	13	100.0	84.6	53.8	38.5	46.2	23.1	23.1	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0
30歳代	23	100.0	100.0	69.6	47.8	43.5	30.4	52.2	13.0	17.4	26.1	0.0	0.0
40歳代	29	89.7	75.9	62.1	44.8	41.4	34.5	58.6	20.7	27.6	27.6	6.9	0.0
50歳代	30	93.3	70.0	63.3	36.7	33.3	23.3	60.0	10.0	3.3	26.7	0.0	0.0
60歳代	58	93.1	75.9	55.2	56.9	32.8	25.9	50.0	32.8	19.0	22.4	1.7	3.4
70歳以上	53	98.1	66.0	41.5	47.2	26.4	22.6	58.5	37.7	37.7	28.3	0.0	0.0
女性 20歳代	18	94.4	77.8	77.8	44.4	27.8	27.8	44.4	11.1	27.8	44.4	0.0	0.0
30歳代	37	100.0	89.2	97.3	81.1	45.9	24.3	73.0	18.9	16.2	27.0	0.0	0.0
40歳代	34	94.1	91.2	79.4	67.6	50.0	32.4	52.9	32.4	14.7	32.4	2.9	2.9
50歳代	38	94.7	92.1	78.9	60.5	28.9	7.9	50.0	31.6	15.8	44.7	0.0	2.6
60歳代	53	100.0	88.7	71.7	66.0	22.6	7.5	56.6	37.7	17.0	26.4	0.0	0.0
70歳以上	56	96.4	73.2	64.3	60.7	28.6	10.7	48.2	46.4	26.8	32.1	0.0	3.6

問 36 健康づくりに関する情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも可)

「テレビ」の割合が50.1%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が49.4%、「新聞や雑誌」の割合が34.2%となっています。

回答者数 = 453



【性・年齢別】

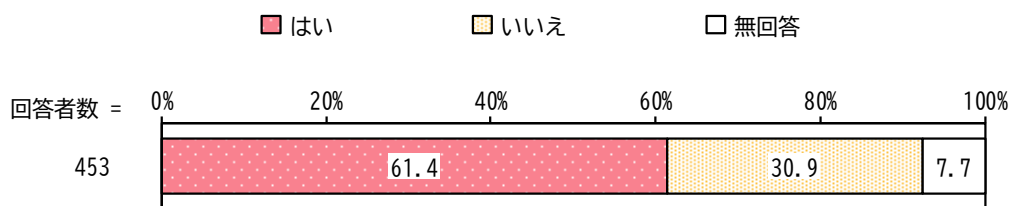
性・年齢別にみると、男性では70歳以上、女性60歳代で「新聞や雑誌」、女性では40歳代で「インターネット」、50歳代で「家族や友人・知人」、70歳以上で「テレビ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	新聞や雑誌	テレビ	インターネット	市の広報やホームページ、LINE	家族や友人・知人	医療機関、薬局	市役所、保健センター、保健所の窓口	その他	無回答
全体	453	34.2	50.1	49.4	23.0	31.1	22.7	4.9	0.7	5.5
男性 20歳代	13	7.7	46.2	84.6	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0	7.7
30歳代	23	17.4	52.2	82.6	8.7	30.4	13.0	0.0	0.0	8.7
40歳代	29	24.1	48.3	62.1	10.3	24.1	17.2	3.4	3.4	3.4
50歳代	30	30.0	40.0	63.3	6.7	16.7	23.3	3.3	3.3	13.3
60歳代	58	37.9	44.8	41.4	17.2	17.2	29.3	6.9	0.0	8.6
70歳以上	53	56.6	50.9	20.8	26.4	24.5	26.4	5.7	1.9	9.4
女性 20歳代	18	11.1	38.9	77.8	5.6	33.3	22.2	5.6	0.0	11.1
30歳代	37	13.5	37.8	81.1	32.4	43.2	32.4	5.4	0.0	0.0
40歳代	34	26.5	44.1	94.1	20.6	32.4	20.6	0.0	0.0	2.9
50歳代	38	42.1	52.6	60.5	34.2	50.0	21.1	5.3	0.0	2.6
60歳代	53	54.7	60.4	26.4	41.5	32.1	11.3	5.7	0.0	0.0
70歳以上	56	32.1	71.4	7.1	26.8	39.3	25.0	5.4	0.0	5.4

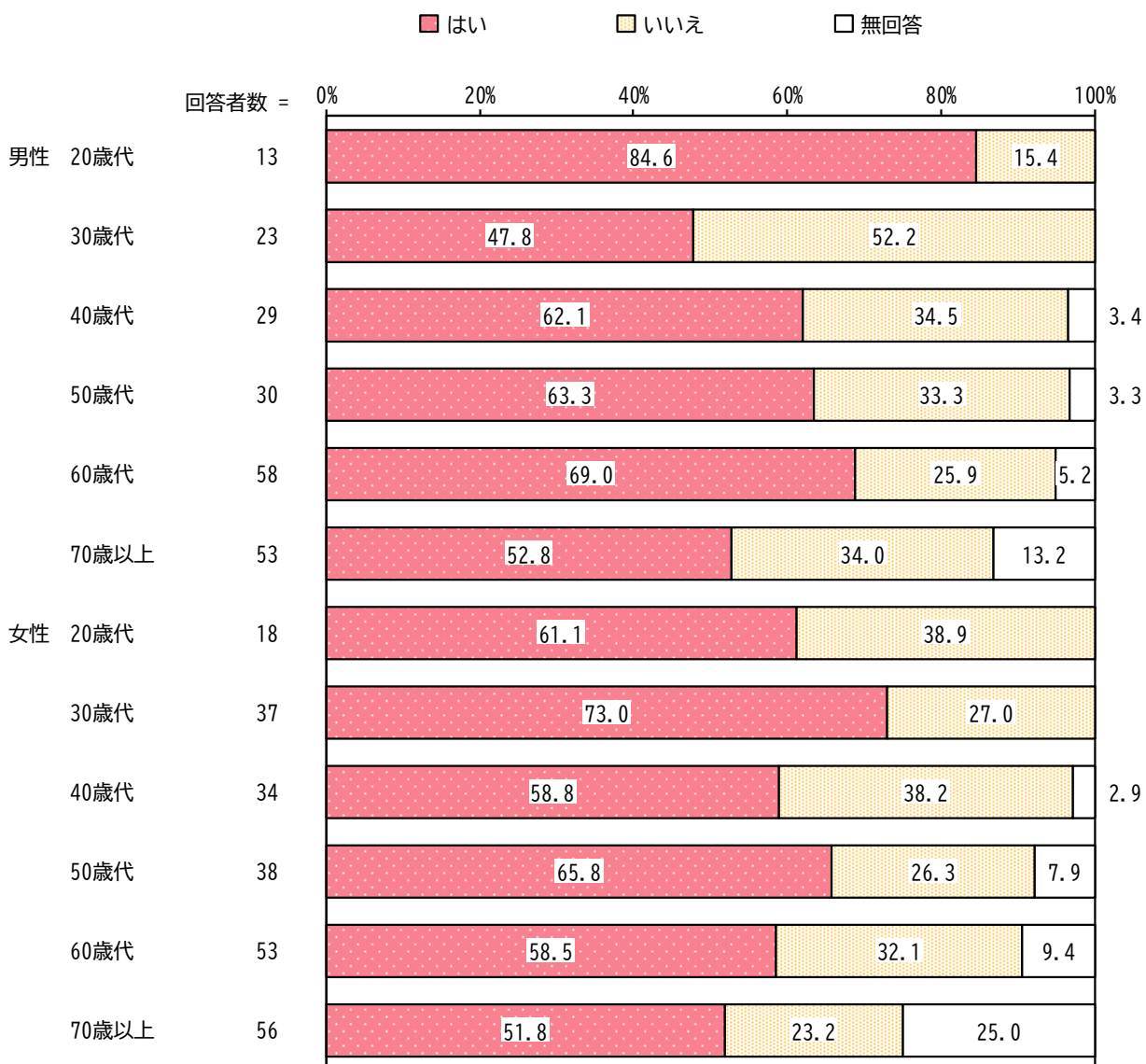
問 37 健康づくりに関する情報に満足していますか。

「はい」の割合が 61.4%、「いいえ」の割合が 30.9%となっています。



【性・年齢別】

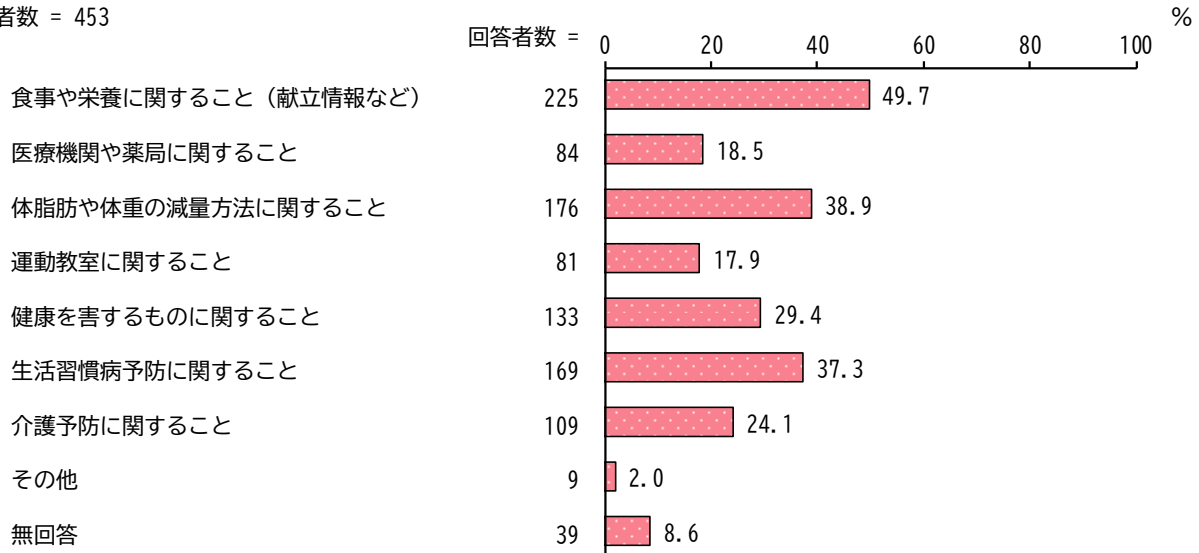
性・年齢別にみると、男性 20 歳代で「はい」、男性 30 歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 38 あなたや家族の健康づくりのために知りたいことはどんなことですか。(〇はいくつでも可)

「食事や栄養に関すること（献立情報など）」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「体脂肪や体重の減量方法に関すること」の割合が 38.9%、「生活習慣病予防に関すること」の割合が 37.3%となっています。

回答者数 = 453



【性・年齢別】

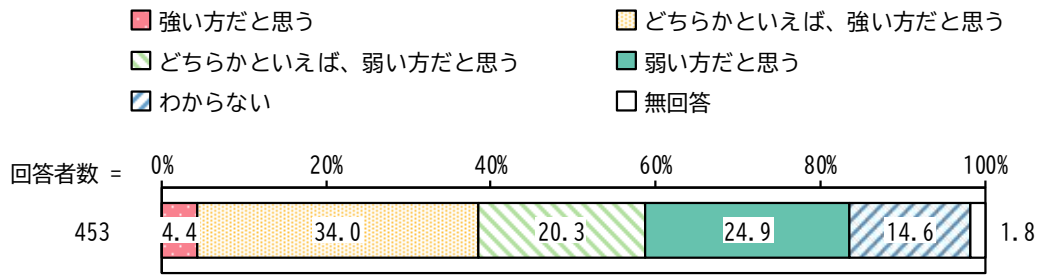
性・年齢別にみると、男性 20 歳代で「体脂肪や体重の減量方法に関すること」「健康を害するものに関すること」、30 歳代で「食事や栄養に関すること（献立情報など）」「体脂肪や体重の減量方法に関すること」、女性 20 歳代で「食事や栄養に関すること（献立情報など）」「運動教室に関すること」、40 歳代で「医療機関や薬局に関すること」、60 歳代で「介護予防に関すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	食事や栄養に関すること（献立情報など）	医療機関や薬局に関すること	体脂肪や体重の減量方法に関すること	運動教室に関すること	健康を害するものに関すること	生活習慣病予防に関すること	介護予防に関すること	その他	無回答
全体	453	49.7	18.5	38.9	17.9	29.4	37.3	24.1	2.0	8.6
男性 20歳代	13	53.8	15.4	61.5	7.7	53.8	38.5	7.7	0.0	7.7
30歳代	23	69.6	21.7	60.9	13.0	26.1	34.8	4.3	4.3	4.3
40歳代	29	41.4	13.8	34.5	6.9	41.4	41.4	17.2	10.3	3.4
50歳代	30	30.0	10.0	26.7	6.7	33.3	46.7	13.3	0.0	10.0
60歳代	58	44.8	17.2	24.1	13.8	24.1	27.6	25.9	1.7	10.3
70歳以上	53	37.7	11.3	30.2	11.3	32.1	47.2	28.3	0.0	15.1
女性 20歳代	18	66.7	16.7	38.9	44.4	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0
30歳代	37	48.6	27.0	48.6	21.6	29.7	43.2	13.5	2.7	8.1
40歳代	34	64.7	38.2	41.2	41.2	26.5	29.4	29.4	2.9	8.8
50歳代	38	52.6	13.2	44.7	15.8	34.2	36.8	21.1	0.0	13.2
60歳代	53	58.5	11.3	50.9	22.6	22.6	35.8	39.6	0.0	1.9
70歳以上	56	48.2	21.4	32.1	19.6	28.6	35.7	28.6	0.0	12.5

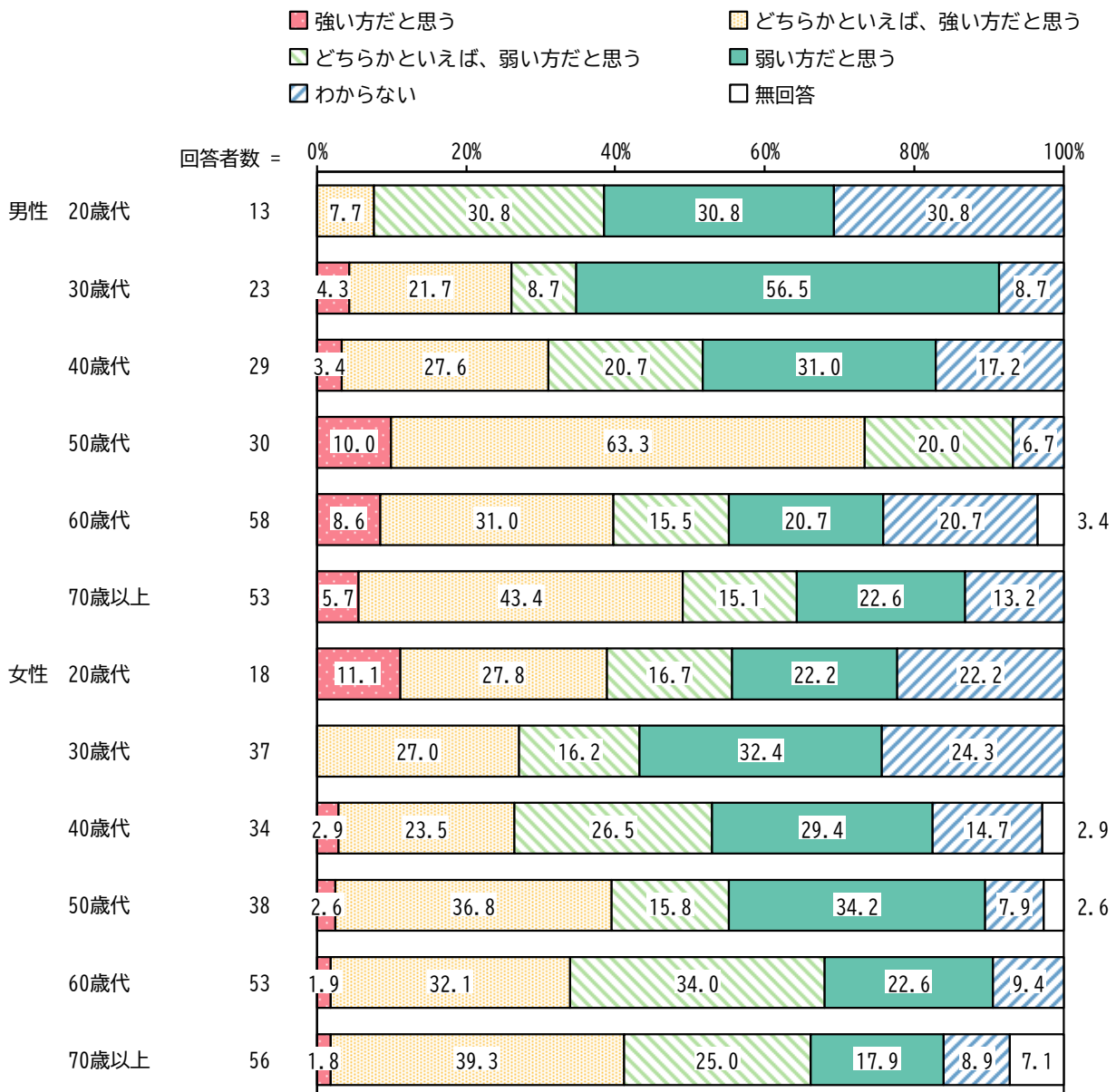
問 39 あなたと地域の人たちとのつながりは、どれに当てはまりますか。

「どちらかといえば、強い方だと思う」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「弱い方だと思う」の割合が 24.9%、「どちらかといえば、弱い方だと思う」の割合が 20.3%となっています。



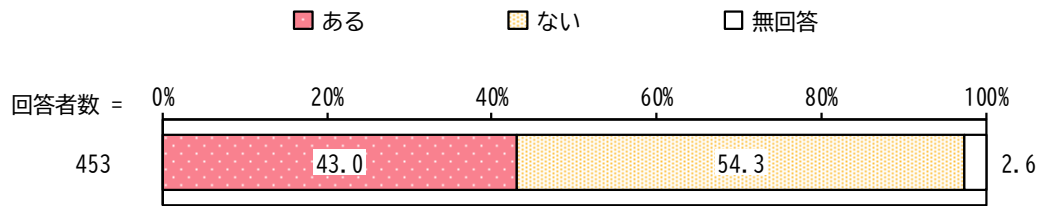
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 50 歳代で「どちらかといえば、強い方だと思う」、男性 30 歳代で「弱い方だと思う」の割合が高くなっています。



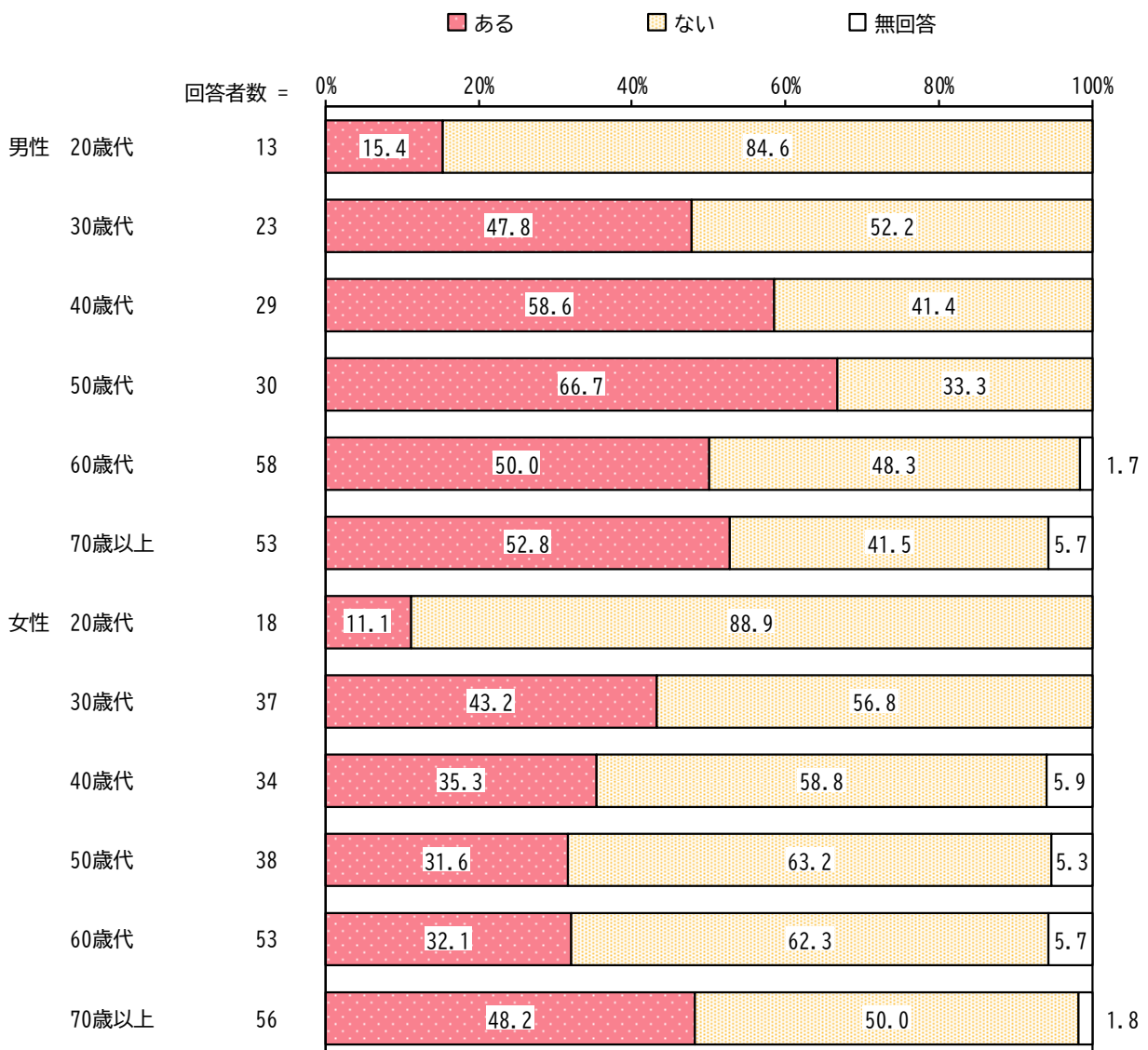
問 40 ここ1年間で、地域活動（市内行事、公民館活動、ボランティア活動、サロンなど）に参加したことはありますか。

「ある」の割合が43.0%、「ない」の割合が54.3%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性50歳代で「ある」、女性20歳代で「ない」の割合が高くなっています。



問 41 大野市の健康づくり事業について、自由にご意見をお書きください。

健康づくり事業に関する意見として、68 人の方から計 79 件の意見が出されました。

カテゴリ	件数
行政・政策・事業改善への要求	22
運動関連（ウォーキング・健康イベント・施設整備等）	13
現行事業の評価・コメント	13
医療・健康診断・継続支援	12
地域交流・子育て・地域支援	7
広報・予防・健康意識向上	3
その他	3
特になし・わからない	6
総数	79

【自由記載でいただいた意見】

※市民の方からいただきました内容をそのまま記載しております。

<p>医師が少ない。よって同級生の医師（福井市及び県外）に相談する。特に歯科医がいない。市外の歯科医に私も含めて通院している。大野市の補助金で Doctor の育成をするべきである。薬剤師も少ない。大野高校の進路指導に難あり。市会議員の人数、報酬を減らすべきだ。何もしない議員が多すぎる。具体的な意見を直接市長に教育長に言う機会が欲しい。</p>
<p>若い女性が行きやすいようなジムがあると嬉しい。カーブスは年配の方向けのイメージ。V i o 内の 24H のジムはスタッフがいないのでなんとなく行きづらい。</p>
<p>毎日、歩くことを心がけている。大野市の歩く運動は、とてもよいと思う。</p>
<p>一人暮らしの人への健康についてどんな活動をしていますか？時々ショッピングセンターで身長、体重、血圧など測定してくれるといいかなーと思います。</p>
<p>歩数計を持ち歩いてポイントになる活動に参加してみたいと思ったが、気軽に参加できますか？ 申請方法などを聞きに行きたいと思うが、時間や機会がないので残念・・・です。</p>
<p>ラジオ体操などの取り組みのアピール。</p>
<p>アンケートは、初めてなんですけど、健康づくりは、大切なんですけどこの内容をどうするんですか。</p>
<p>町内では、あまり話をする機会がない。信用できる方がいなくて、他の人の家まで行ってまではしない。友達に相談しています。</p>
<p>毎日亀山を歩いています。すれちがう人々の笑顔とおはようの声、自然の中でちょうど良い散歩コースを楽しんでいます。しかし、トイレ状況が気になります。使えないトイレ、故障中のトイレ、障がい者用トイレ、県外からもかなり亀山に登ってこられます。駐車場、トイレなど、もう少し使う人のために考えていただきたいと思っています。自然豊かな大野の城下町を、みんなで大切に守っていきたいと思っています。</p>
<p>健康でいたいと思うが、毎日の生活に追われなかなかなかゆとりある生活が出来ない。重い病気になると気付くものだと思うが、予防となるとなかなか実践が難しいのが、今の私の現状です。</p>
<p>「子ども見守り活動」を今年で 17 年目になります。朝 30 分ですが毎日行く事により健康にも注意しています。子供たちのためにも、自分のためにも地域活動は大切だと思います。</p>
<p>健康づくりとは関係が無いかも知れませんが勝山にはこども食堂や、サンプラザの中にサロンきっさみたいな場所がありますが、なぜ大野にはないのですか？ 私は一人暮らしです。地域（町内）のつながりはあ</p>

りません。持病が3つもあり、半うつ状態になる事があります。子供も母子家庭の方が多いはずです。だから、大野にもそういう居場所が出来たらと思います。
健康づくりにかかわる事業イベントの企画、啓発、参加募集等をしてほしい。ミニ運動能力測定会、小規模なジョギング大会、ミニ登り、ウォーキングイベント（公民館等の関連行事も含む。）
ヘルスウォーキングの特典の金額が6,000円→3,000円に減ったのが少し残念に思いました。
市民のスポーツ行事、公園内の遊具、子供から大人、高齢者が取り組める運動、スポーツ（遊び）施設の整備をすると思います。市広報誌（市のホームページ）等に、軽い体操やストレッチの紹介を掲載して下さい。
参加しやすい事業を増やして欲しい。
市の〇〇教室とかあっても、時間に都合が合わなかったりして、なかなか参加できず残念です。主催者の方々は苦労して工夫して行事に取り組んでおられると思うと申し訳ない気持ちです。腰や肩に故障があるので、負担にならないようなウォーキングとか、軽運動などが、週1回とか、2週に1回とかあれば良いかなと思います。また、体の都合が悪くて病院やお医者に行ったりしますが、何とたくさんの薬が出るのか。病に効くだろうけど、他の部分には悪いということもよく聞きます。薬の出し方や飲み方に不安があります。孫達も高校卒業後は県外に行く子が多いです。市内でも若い人達が働けて住み続けられるような仕事や仕事場、学校などがあれば良いかなと思います。それも心の健康の元ですね。
ヘルスウォーキングに参加させてもらっています。歩数計を持ったことで、普段どの程度歩いていたか認識でき、いかに身体を動かすことが少なく、運動不足であるか、知ることができました。下肢筋力がおちて、歩くことも疲れるようになり、フレイルを感じ、心配になって来ていた時だったので、ヘルスウォーキングをきっかけに、意識して身体を動かし、歩く機会をもつようになりました。ありがとうございました。
地球環境と健康をハイブリッドした事業づくり。
ウォーキングプログラム？ ご年配の方が、歩数計をつけている所をよく見かけるので、とても良いことだと思います。
誰もが健康でいたいと願っていると思うが、元気な時は、それがあたり前に感じていて、食生活や生活習慣を気をつけようとしないので、定期的に、「自分は本当に健康なのか」を確かめられるような機会があればいいと思う。身体の健康だけでなく、心の健康にも気をつけていくことが大事だと実感している。特に、高齢者の方に対しては、割とゆっくりめな健康体操や、フレイル予防のようなものが多いが、元気な高齢者も、もちろんあまり元気じゃない高齢者も、たまには、大昔に流行ったであろう、ダンスミュージックなどをガンガンかけて、踊ったり飲食したりして、元気をとり戻す場があってもいいと思う。
十分活動されていると思う。
簡単に参加できるような、健康づくりの場をもっと増やして欲しい。市の健康診断の日も、土曜日にも受けられるように増やして欲しい。
環境問題や周辺住民の方の迷惑問題はあるが、大野城の遊歩道は体づくり、健康づくりにはすごく良いウォーキング道路です。ただ、仕事していると、夜歩こうと思うにも（毎日続けるためにも）遊歩道が暗すぎて怖いので、もっと明かりをつけて神々しく亀山を光らせて、夜でも歩き易い環境作りをすると良いのではと思います。夏も昼は高温でウォーキングしづらい状態でもあるので、19:00～22:00 ぐらいまで明るいと、歩いてみようかなと思う方々も増えると思われます。周辺の駐車場もきちり整備されているので、車でお越しの方もどんどん挑戦出来ると思えます。
講師を迎えての講座もあり、参加できると自分のためになるな～と思いながらもなかなか参加しにくく、未だ何も参加できておりません。コレステロールや中性脂肪の値が高めの方対象！！など、はずかしさもありなかなか参加できずにいます。Webで参加できたりするといいなと思うので、オンライン講座など定期

的にあれば、参加できる時間帯であれば参加したいです。
現在大野市に在住しているが、市内のそういった活動には参加した事はありません。買い物をしていると若い世代の方も多く見かけます。地域活動はどちらかというとな配の皆様が参加しており、参加しやすいのではないかと勝手な考えがあり、あまり関心がありませんでしたが、もっと若い世代にも興味を持てる様な内容の活動が増えていけば良いと思います。また、V i oなどで掲示板を見て初めて知るなんて事もよくあり、知る機会も少ないのではないかと思います。もう少しグローバル化すればより一層関心を集め盛り上がると共に、健康力の向上にも繋がっていくのではないかと思います。大野が大好きなので、日常にもっと面白い事が増え、より良い街になると嬉しく思います。
色々、やっている事は知っているが、時間的な事もあり、参加出来ずにいる。自分にもう少し時間的余裕があれば参加してみたい。
検診の時、骨密度検査も必ずできるとよい。降雪時、亀山で歩けるようにしてほしい。道はばはせまくてもよいので、除雪をしてほしい。
規定の歩数をクリアした方に商品券がプレゼントされる事業は非常に良いと思います。付加価値を付けることで運動する意欲が沸きます。もっと上記のような運動のイベントを増やしてもらえれば、健康づくり事業に参加する方も増えると思います。
専門家に気楽に相談でき、解決策と一緒に考えてくれる人がいると安心だろうと思います。体質改善、生活習慣を変えるのには、時間がかかるので一度や数回の相談で終わらずに、長期で継続できるような仕組が大切な・・・健康や病気に関する常識が大きく変化してきていると思います。新しく正しい情報が求められます。
市の広報等に春、夏、秋、冬の健康アドバイスがあれば良いかな？
30年以上同じ会社に働いていました。その時の友人とのつながりが深く、とても安心材料になっています。シルバーセンターにも登録し、家を出て働く楽しみもあります。家にいるだけではなく、人とのつながりが一番大切だと思います。それが、心と体の健康につながっています。
熊が怖いので夜散歩できない。登山する会があったら、日が合えば参加したい。こんなに山に囲まれているのに、山やブナ林などに行く機会がない。詳しくないから一人ではいけない。
つながりが無い。
住民検診の日程の予約がインターネット等で出来るようになると良いと思います。
人口の少ない中、高齢化もあり高齢者だけの生活人口も多く、心配な世の中になりました。一人でも多く高齢になる前に備えての健康管理など工夫された活動を考えて下さり、大変感謝しています。
大野市がやっているヘルスウォーキングはとても良い事業だと思います。夫婦で楽しく参加させてもらっています。これからもずっと継続してほしい健康づくり事業です。
参加してみようかなと思うけど、なかなかできないし、それほど魅力もない、失礼。なまけもの（自分のこと）は、なかなか行こうと思わん。
女性の方は健康づくりに積極的に参加している方々が多いと思います。男性の方はどうでしょうか？ 高齢者の方ももっと参加して健康に意識を持ってほしいと思います。男性の方々が参加しやすい工夫があると良いかと思います。
健診をあまり勧めると、医者や、税金で潤っているみたい。
血糖値測定プログラムがよかった。
健康は自分や周りが健康ではなくなって初めて気にすることが多いと思います。強制とまでは言いませんが、市が押し付けるぐらいのアピールをして、年配の方や子どもたちを中心に健康な街を目指せると素敵な街になるかもしれませんね。自分のような独身達から税金を徴収して、健康に苦しんでいる方や施設等に役

立てるといいのではないですか。
他市の友人から羨ましがれるくらい情報提供、参加機会を得る事業をされていると感じております。ただ情報弱者の方々や市の事業に参加するのが気恥ずかしい方々が、地域に存在するので、積極的に広報してゆく人材になりたいと日頃から思っております。
看護師として市外ではたらいっていますが、大野市の健康促進のための活動に携わりたいと思っています。そういう医療職が、仕事以外でボランティアとして参加できるイベントなどがあるといいと思います。そして、もっと私たちのような世代に分かりやすいように周知をしていく必要があると思います。県外の大学を出て、せっかく大野に帰ってきたのに、あまり大野に貢献できてないと感じている部分があるので…。地域医療の課題はかなりあると思います。かかりつけ医からの中枢病院（県立、済生会、日赤など）への紹介は推奨されているのでしょうか？ もっと活発に市外の病院とやりとりすることが、今後の高齢者の医療につながると思います。
頑張っていると思います。ただ、参加者に若い人が少なそう。健康づくりは習慣づける事が大事だと思うので、若い時にやっておいたほうが良いのかな、と思います。なので、若い人向けの事業をやってはどうでしょうか？
地域や年齢などの隅々までサポートされていると思います。ウォーキングの取り組みも職場で何人か参加しており、やりがいがあって楽しんで参加できる仕組みだと聞いています。楽しんで健康になるアイデアをこれからも期待しております。ありがとうございます。
健康づくりは大事だと思う。子育て中だと、自分の時間が取りにくい。週末は習い事もある。自宅で隙間時間にできる、ながら運動、ストレッチみたいのを知ることができたらいい。健康づくりと同時に将来どうしたいか（最期まで自宅で過ごしたい、施設に入りたいとか：ACP）を考えることも必要だと思う。病気になってから考えるのは遅い。
やっていることが中途半端で統一性がない。高齢者目線ではない。目線が低い。
以前あったような、骨密度測定や血流検査等が通常的に出来る所があると嬉しいです。今年あった、癌講座などもこれからもあると嬉しいです。
職員さんも優しいし充実していると思います。
人間ドックの補助金をアップしてください。年金暮らしでは負担が大きいです。
校区の体育イベントが種目中心で、参加しにくいように感じる。健康作りウォーキングなど企画してほしい。
市の検診について土日またはオンライン上からでも予約や受付ができるようにしてほしい。
仕事をしていると平日の行事には参加できない事が多い。ポイント性のウォーキングなどもあるようですが、参加の期限があるため出来なかった。
地域住民の繋がりに行政の積極的な介入が必要。
大野ヘルスウォーキング事業は大変いい事業だと思います。目標を持って歩けること、目標に達成するとご褒美がもらえること、人はたとえわずかなご褒美でももらえると、達成感があって、続けることができると思います。これからも続けてください。
健康ヘルスウォーキング、とても良い事業だと思います！ ぜひ継続をお願いします！ 講演会や運動教室など、高齢者向けが多く、子育て世代や若者世代向けのものにもぜひ参加してみたいです！
病院に行って受診して、自分から聞かないと、各病院特有の病院の良さがわからない。例えば、眼科のコンタクトレンズのキャンペーン。定期的に通っていないと分からないし、買うとならないと知らされないから、分からない。SNSなど広報をしていてくれれば分かるのに。内科について、コロナの検査や発熱外来が翌朝にならないと受けられないという病院なのか、夜間でも対応してくれる病院なのか、1件1件に連絡

しないと分からない。しかも、大野には無くて、勝山ならある。病院は、基本的に市外が多く、市内には頼れる病院、クリニックが少なすぎる。健康に関する、病院に関する広報が充実していれば違うと思う。YouTube、SNS、noteなどの広報サイトの運用が必要だと思う。

広瀬歯科も閉院し、歯科医院が少なくなり、歯医者に行きたくても予約がかなり先になってしまう。健康づくり事業の前に歯科医院の数を増やす努力をして欲しい。

ヘルスウォーキングプログラムの目的は評価するが、予算をかけ過ぎていると思う。高齢者はあまり健康診断を受けないため、健康診断の補助に予算を増やしてもいいのではないかと思う。

歯科検診、がん検診などの費用負担がありがたかった。各種検診の推進を継続してほしい。

大野市内でスポーツや運動などを行うサークルやクラブ、教室、ジムなどの案内をして欲しいです。例えば、私たちアラフィフが気軽に参加できるものを探しても、どこでやっているのか、何曜日にやっているのか、いくらかかるのかなどの情報を見つけることができず、結局勝山や福井まで行くしかないのか一みたいな感じになっています。大野市のサイトなどで一覧で見ることができるページがあるといいのにな、とも思っています。

健幸おおの21アンケート

調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：大野市 健幸福祉部健康長寿課
保健医務グループ

〒912-8666 福井県大野市天神町 1-19

電話：0779-66-1111